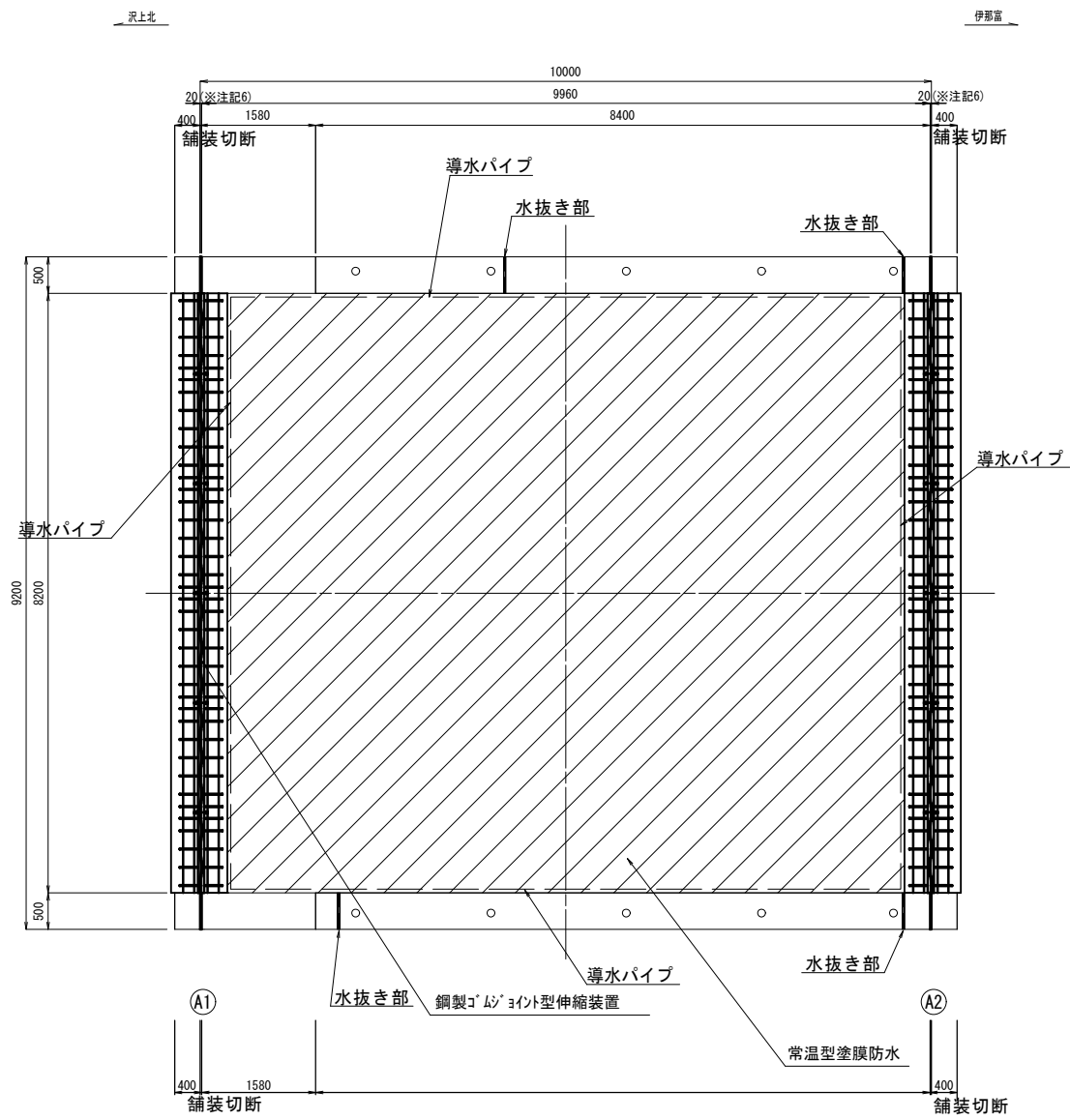


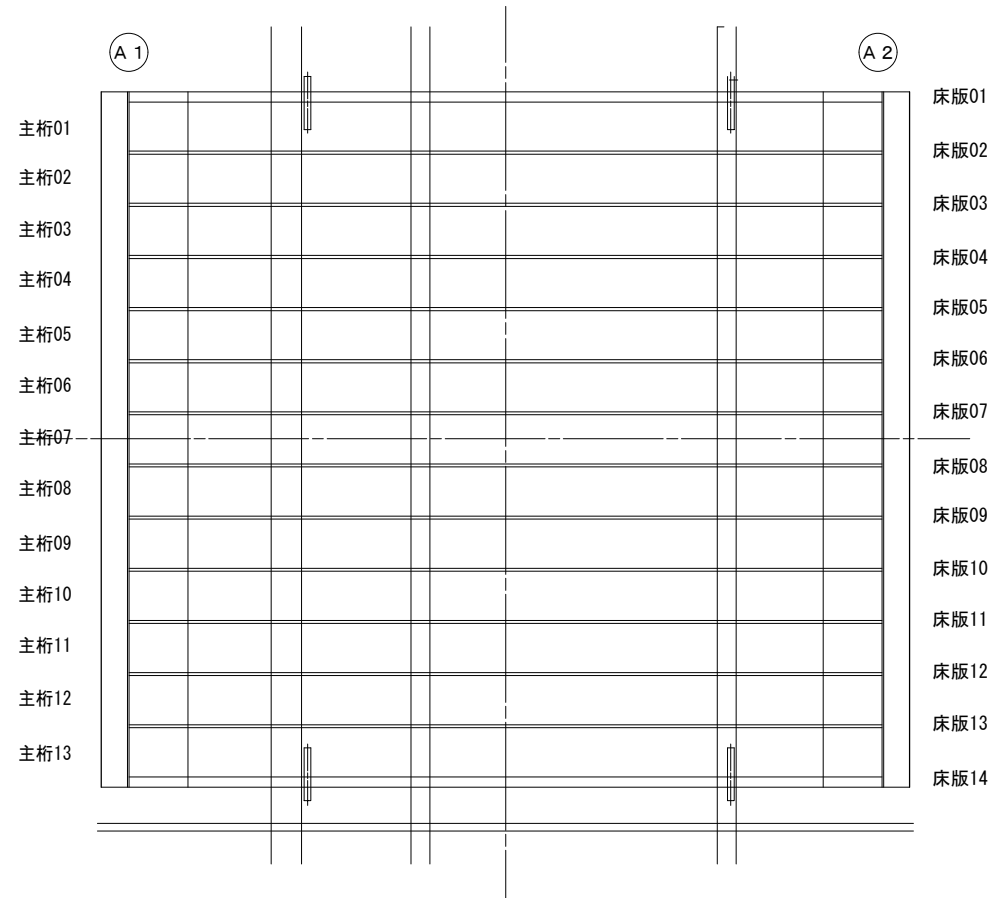
西開橋補修概要図

橋面 S=1/100

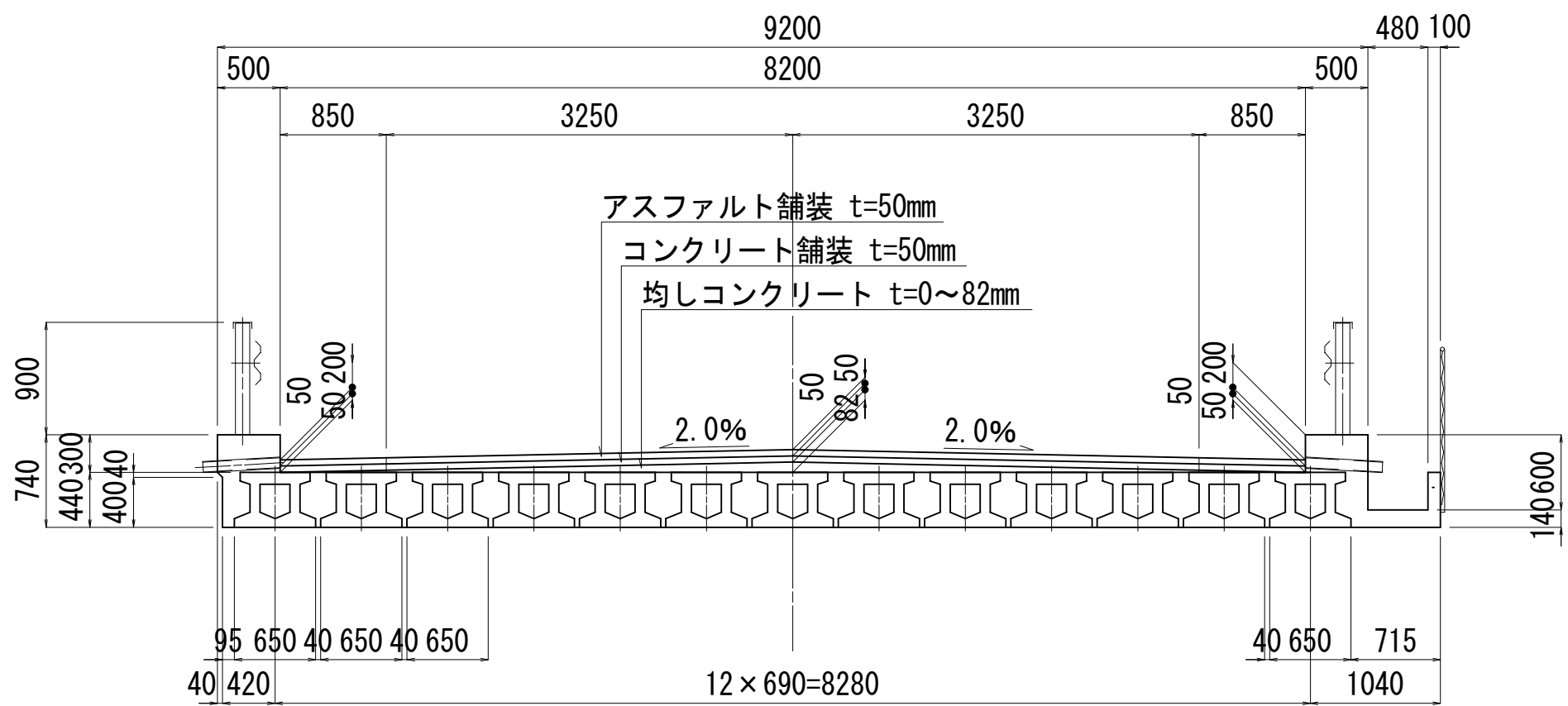


水抜き部

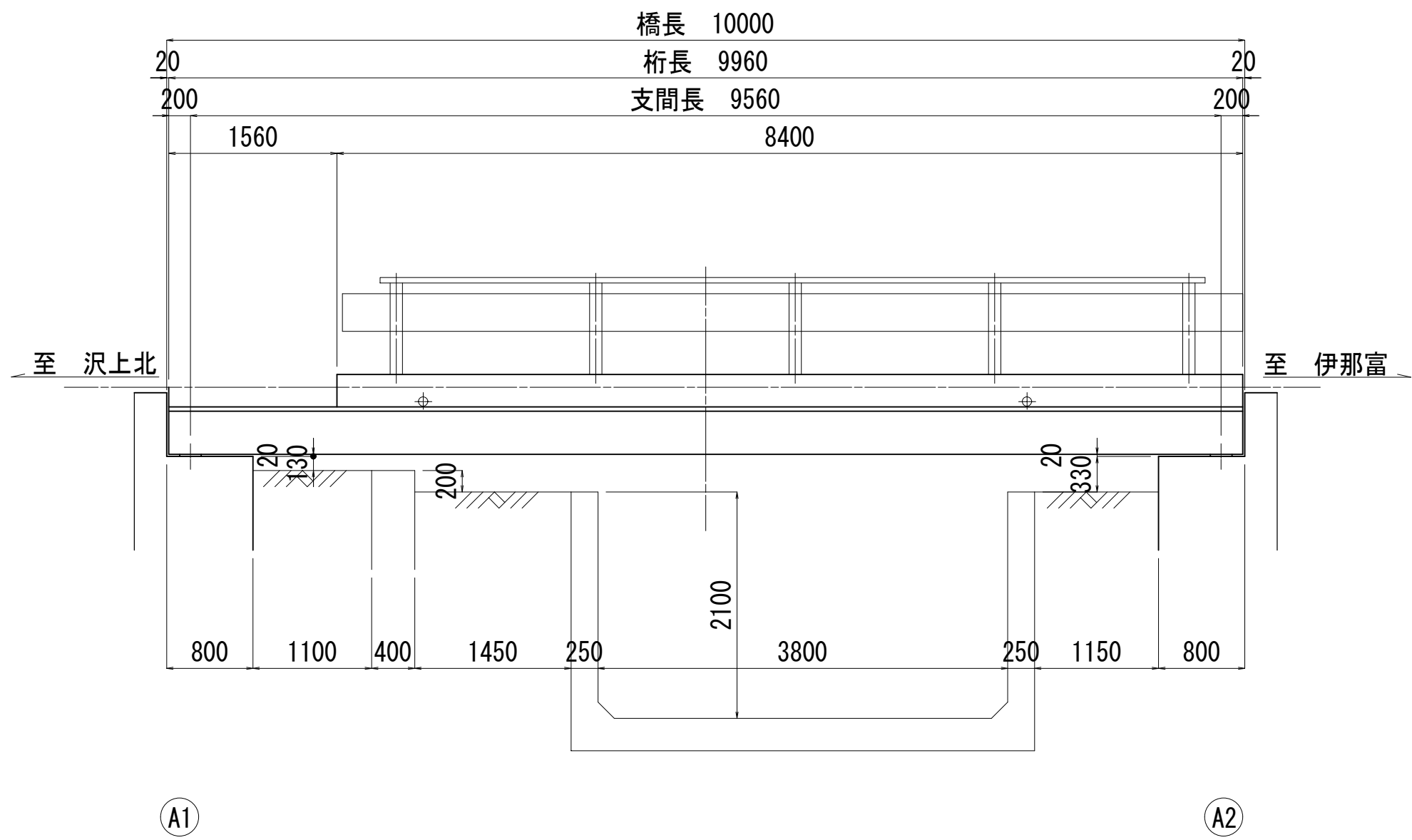
橋面 S=1/100



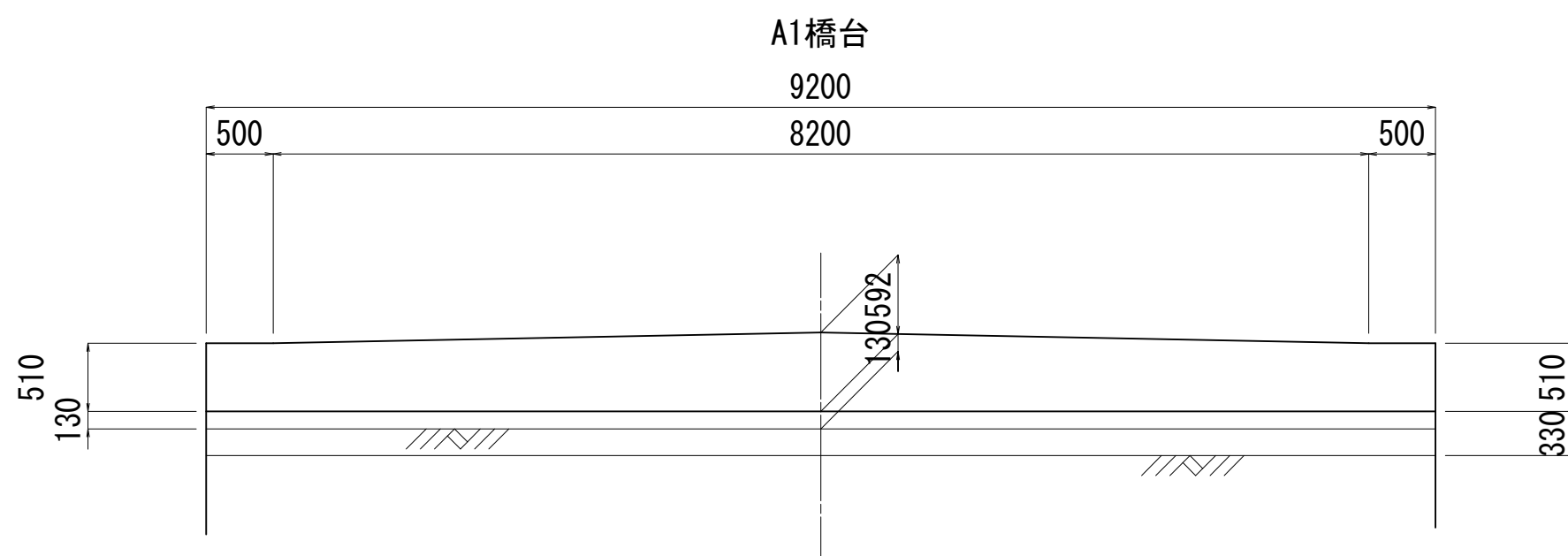
断面図 S=1/50



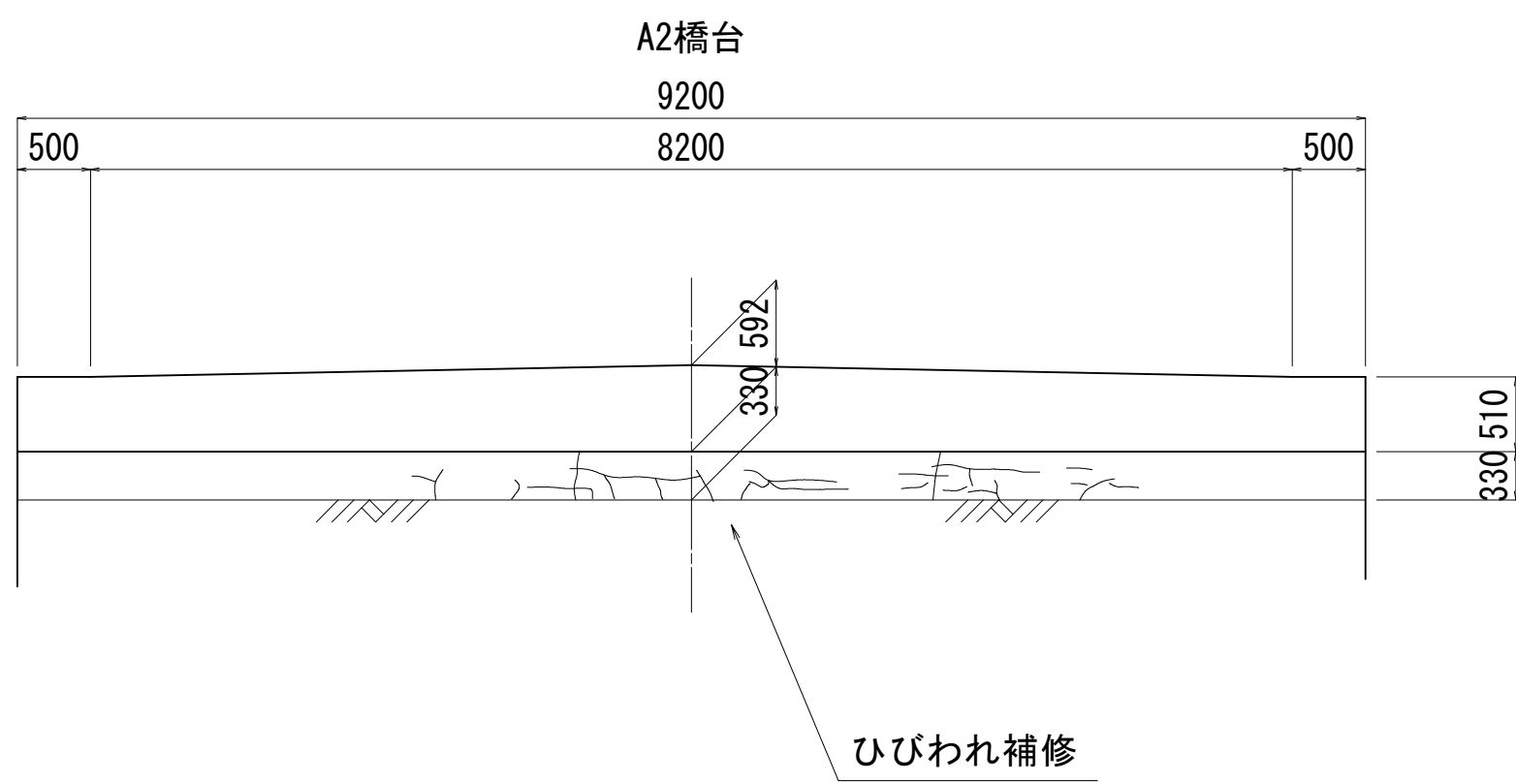
側面図 S=1/50



下部工 S=1/50



下部工 S=1/50

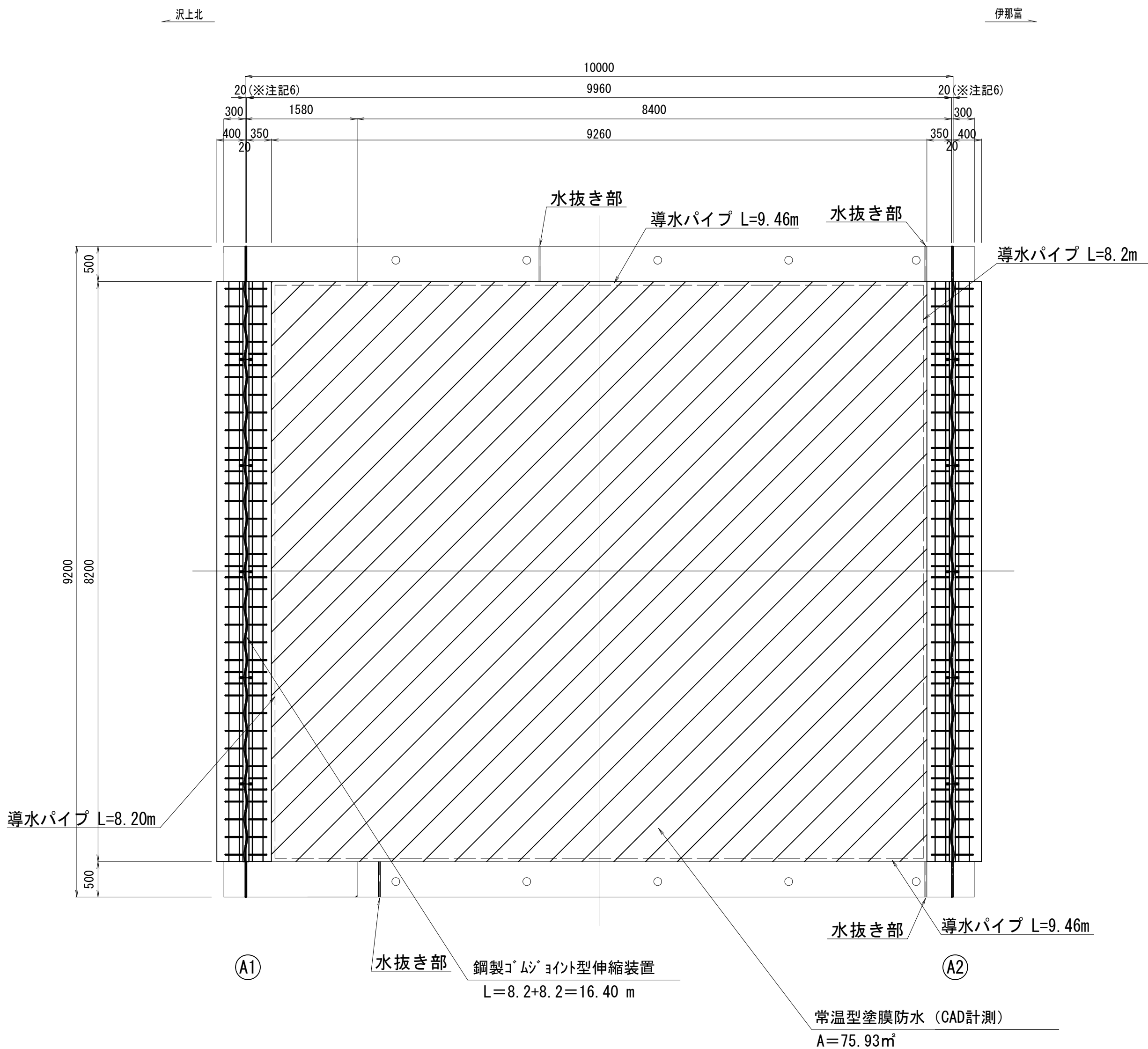


設計条件	
橋種	プレキャストPCC床版橋
架設	不明
橋格	不明
橋長	10.000 m
桁長	9.960 m
支間長	9.560 m
幅員構成	0.50+8.20+0.50=9.20 m
勾配	横断勾配：2.0%直線 縦断勾配
設計荷重	主荷重 100% 添架物荷重 —
地震係数	水平震度 kh=
斜角	θ=90°

令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事				
番号	1/21	西開橋補修概要図	縮尺	図示
町道1号線他 箕輪町 西開橋他3橋				
所長	課長	照査	設計	
箕輪町役場 建設課				
設計会社	(株)エース	管理技術者	赤羽 千男	
		照査技術者	治郎丸 啓	
測量会社		主任技術者		
調査会社		主任技術者		

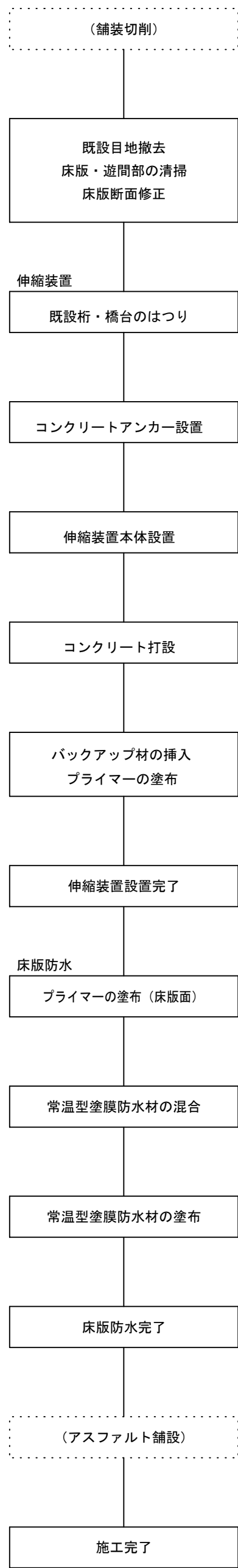
西開橋補修図その1

平面図



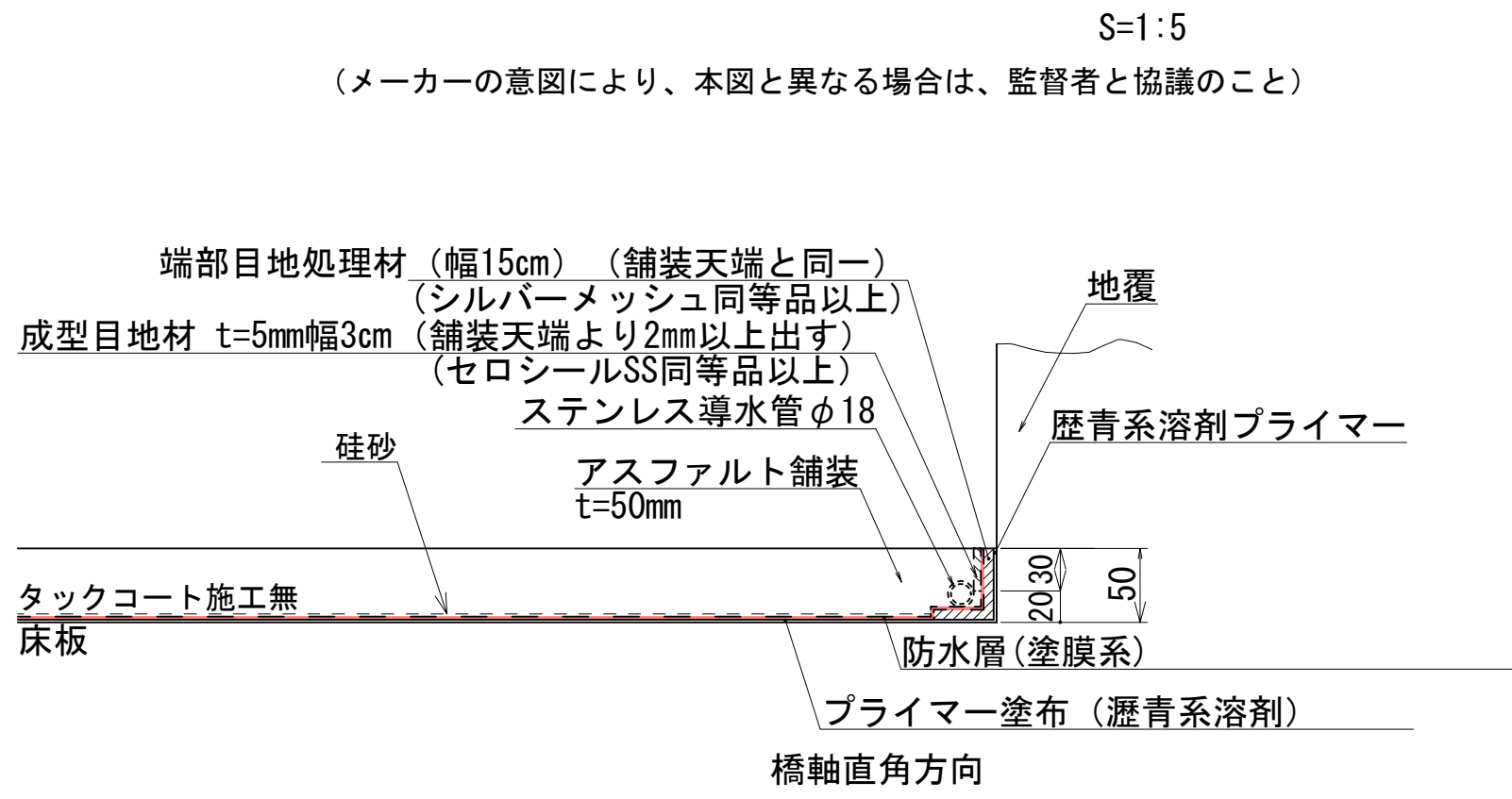
名称	計算式	単位	数量
埋設型伸縮装置		m	16.40
常温型塗膜防水		㎡	75.93

施工フロー図



※施工前、各工種とも現地詳細調査を実施し施工寸法及び数量を確定すること。

橋面防水・舗装端部処理詳細図



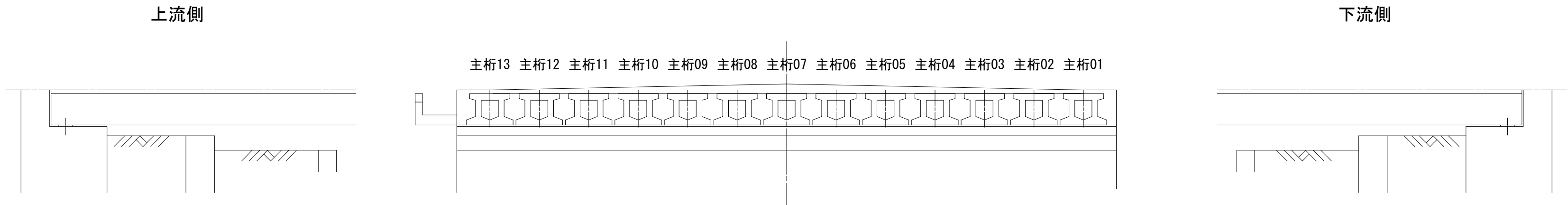
※拡大して詳細をご確認ください。

※橋面防水工は、塗膜系防水（長野県実施単価）による

令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事				
番号	2/21	西開橋補修図その1	縮尺	1/50
町道1号線他				
箕輪町 西開橋他3橋				
所長	課長	照査	設計	
箕輪町役場 建設課				
設計会社	(株)エース	管理技術者	赤羽 千男	
		照査技術者	治郎丸 啓	
測量会社		主任技術者		
調査会社		主任技術者		

西開橋補修図その2

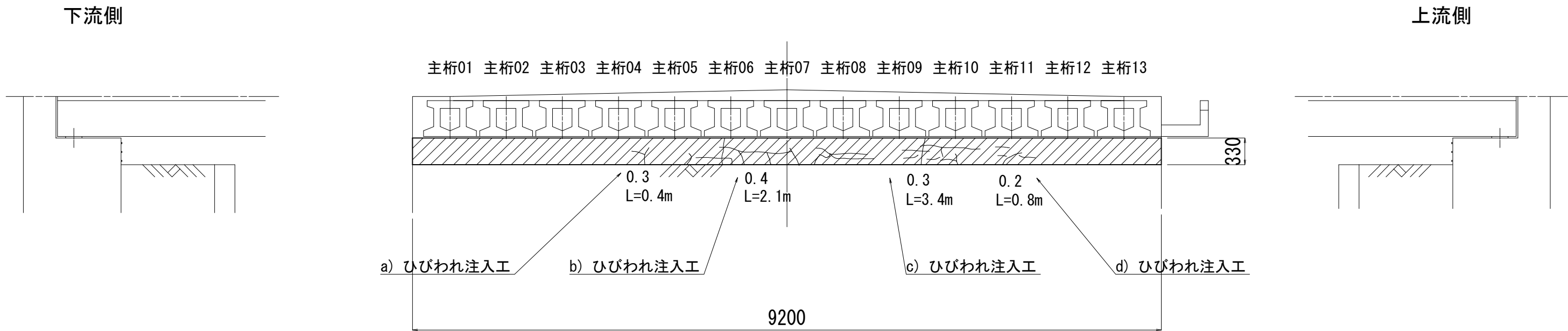
A 1 橋台 s = 1 / 5 0



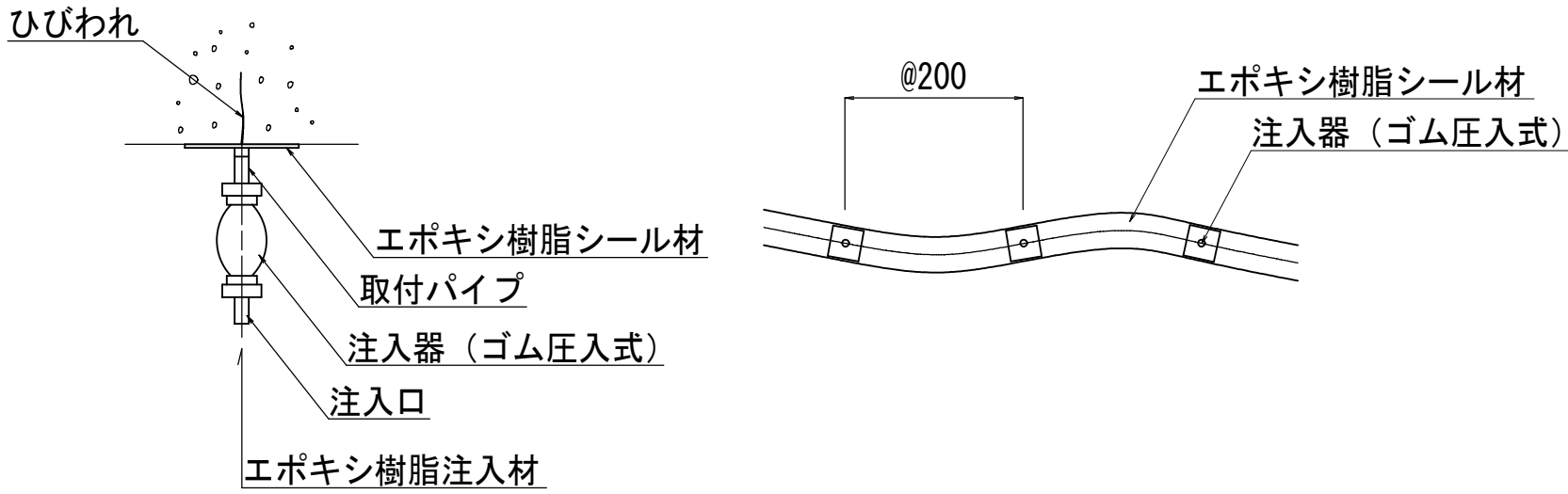
ひびわれ集計表

ひびわれ長さ (m)		
番号	ひびわれ注入工	ひびわれ充填工
a	0.4	
b	2.1	
c	3.4	
d	0.8	
合計	6.7	

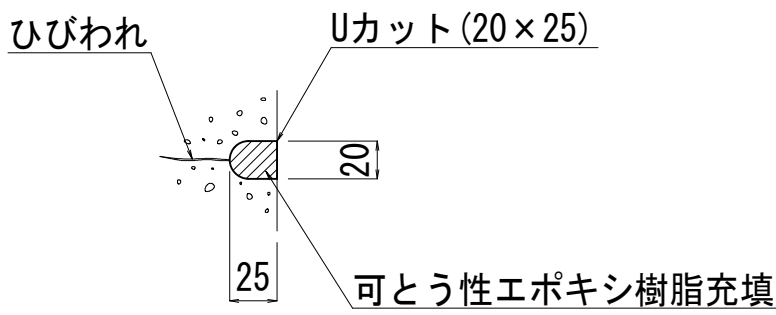
A 2 橋台 s = 1 / 5 0



ひびわれ注入工詳細図 s = 1 / 4  
(ひびわれ幅0.5mm未満)



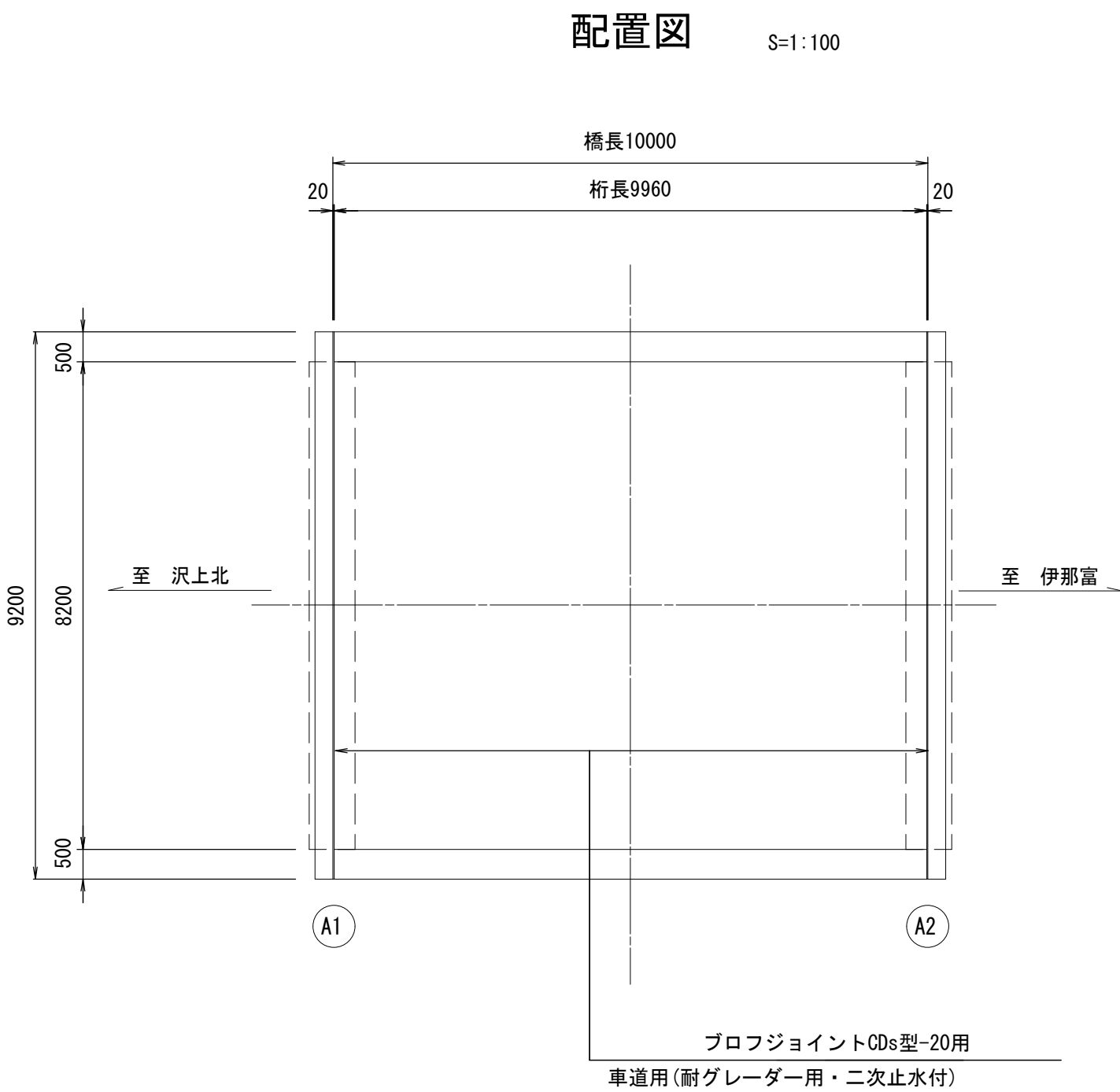
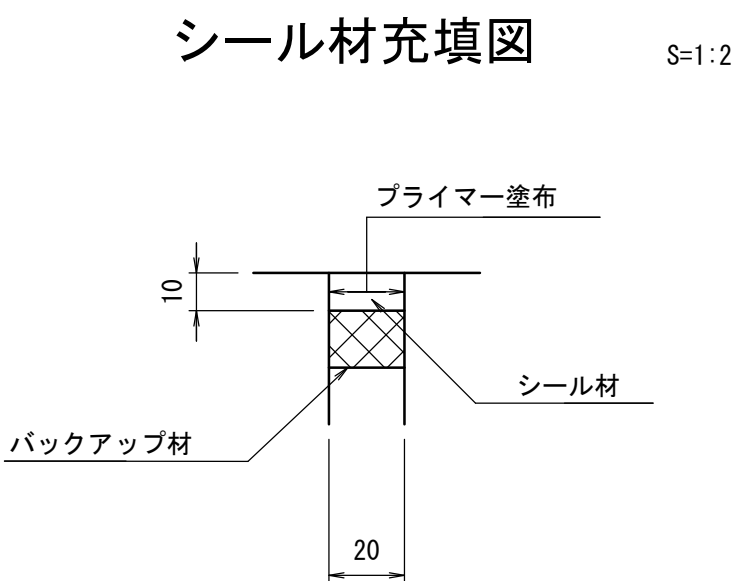
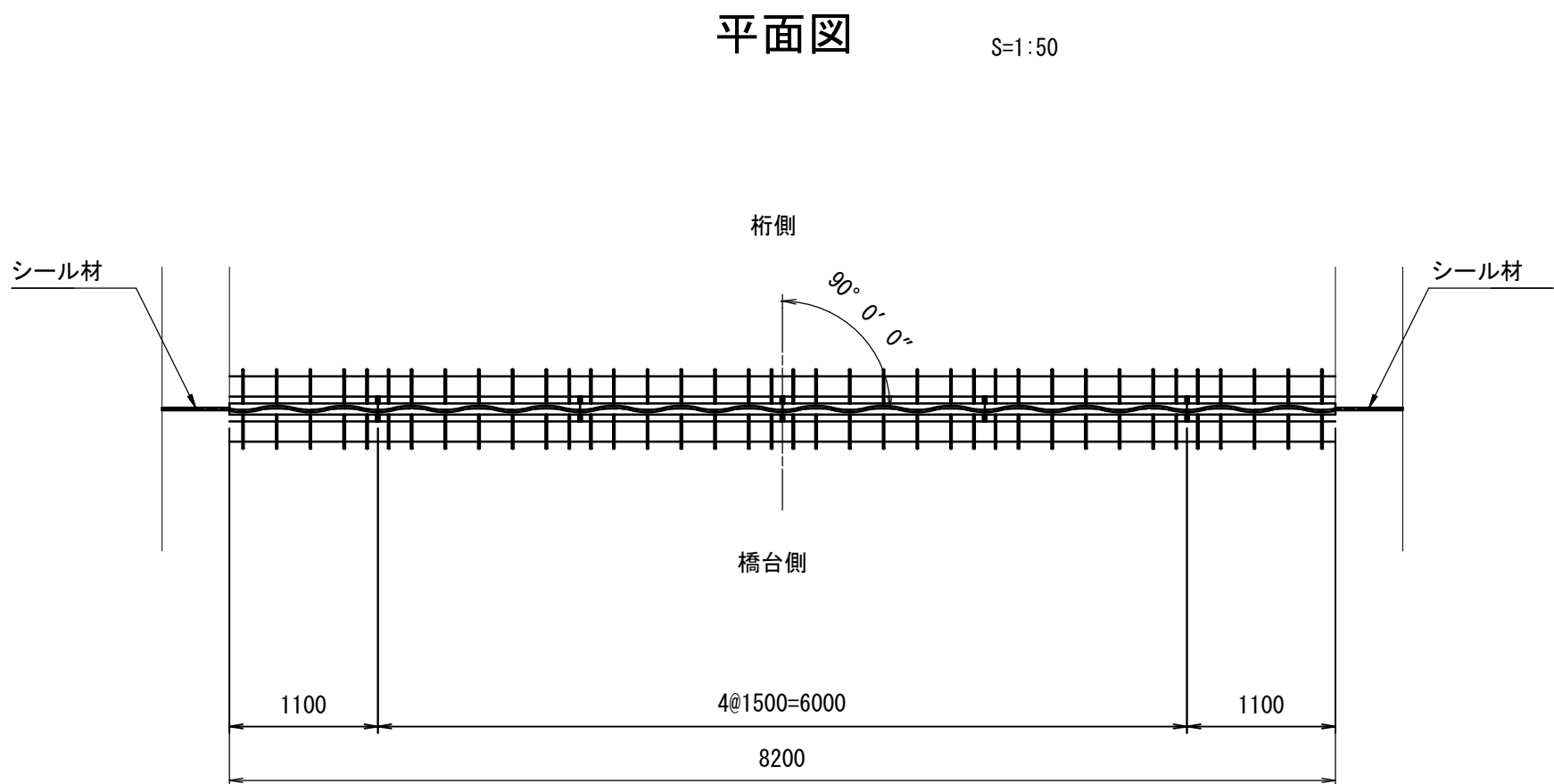
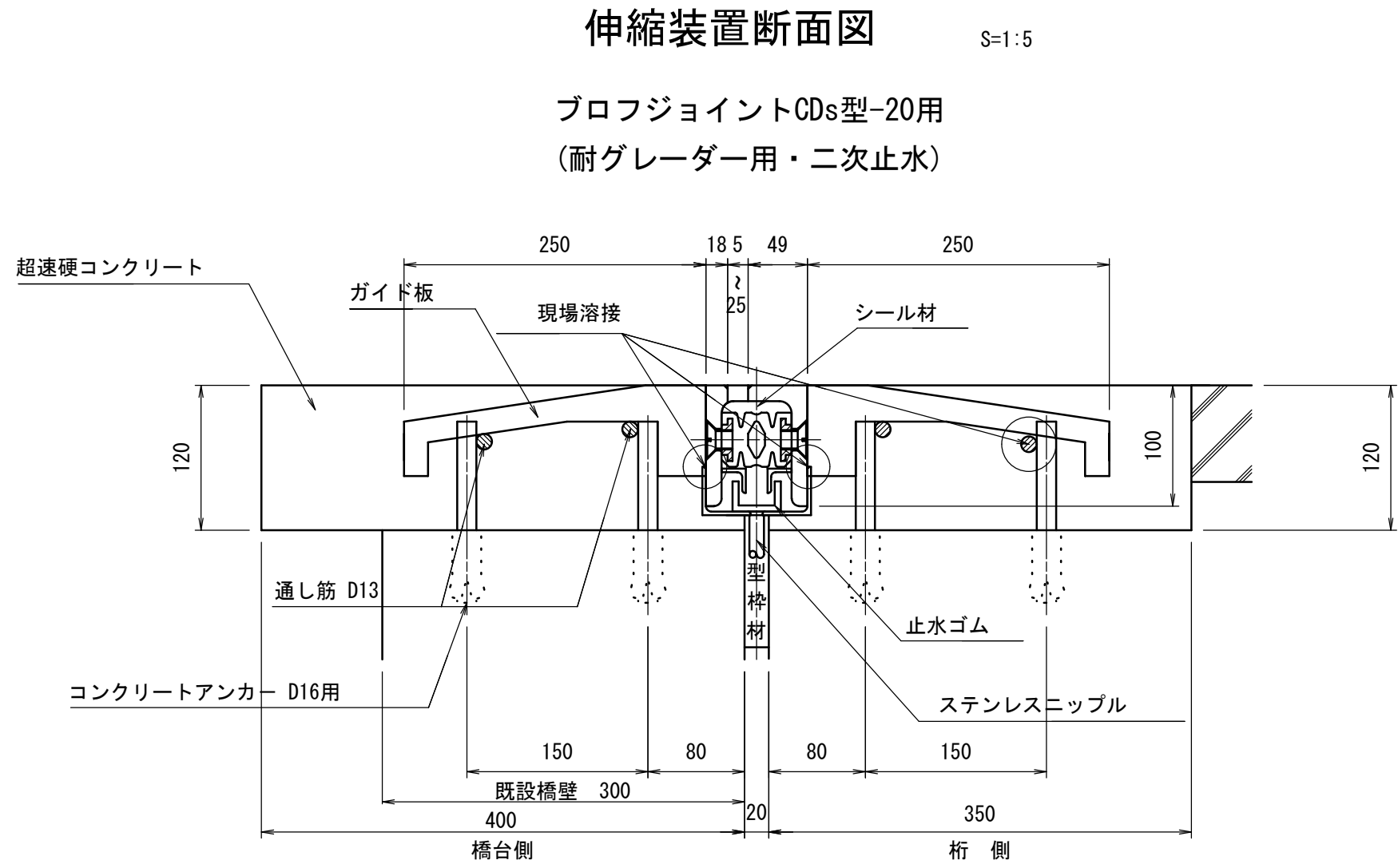
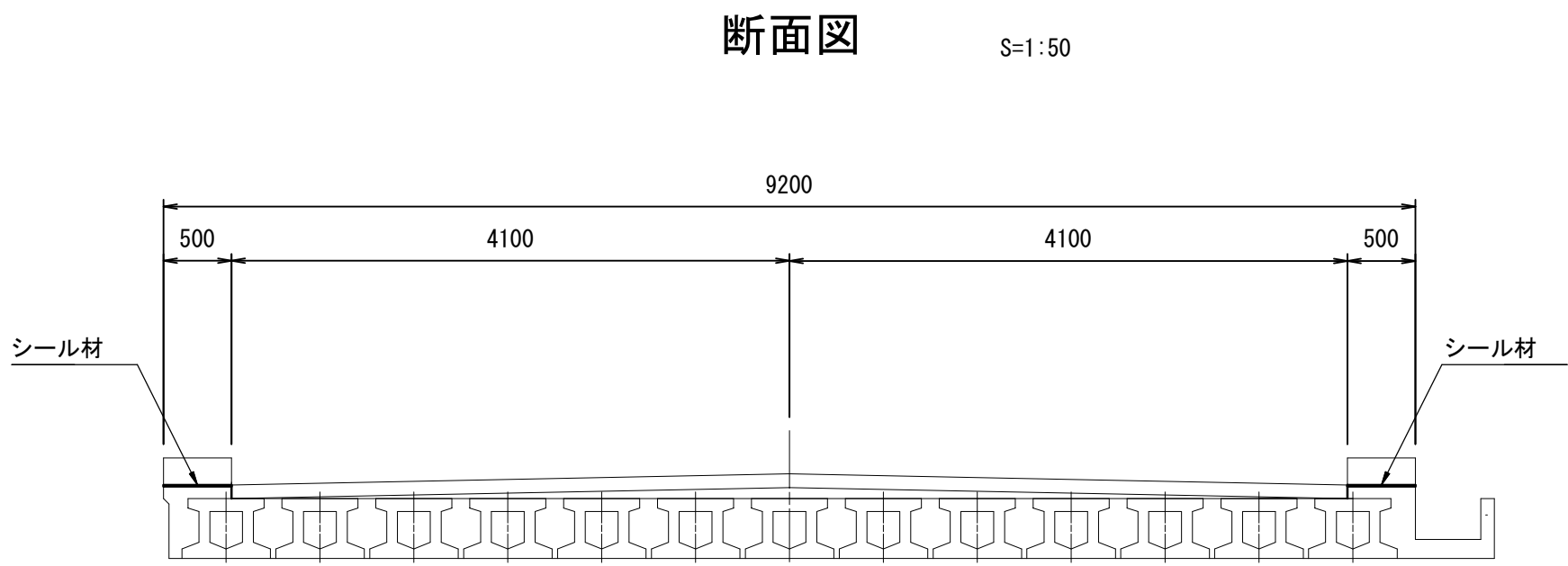
ひびわれ充填工詳細図 s = 1 / 4  
(ひびわれ幅0.5mm以上)



- 注記) 1. 補修対象は0.2mm以上のひびわれとする。  
2. ひびわれ幅0.5mm未満はひびわれ注入工、ひびわれ幅0.5mm以上はひびわれ充填工とする。  
3. 施工に際しては、ひびわれ幅、ひびわれ長さを実測の上、計上のこと。  
4. 施工寸法は、現地実測の上決定のこと。

令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事				
番号	3/21	西開橋補修図その2	縮尺	図示
町道1号線他				
箕輪町 西開橋他3橋				
所長	課長	照査	設計	
箕輪町役場 建設課				
設計会社	(株)エース	管理技術者	赤羽 千男	
測量会社		照査技術者	治郎丸 啓	
調査会社		主任技術者		

西開橋 伸縮装置図



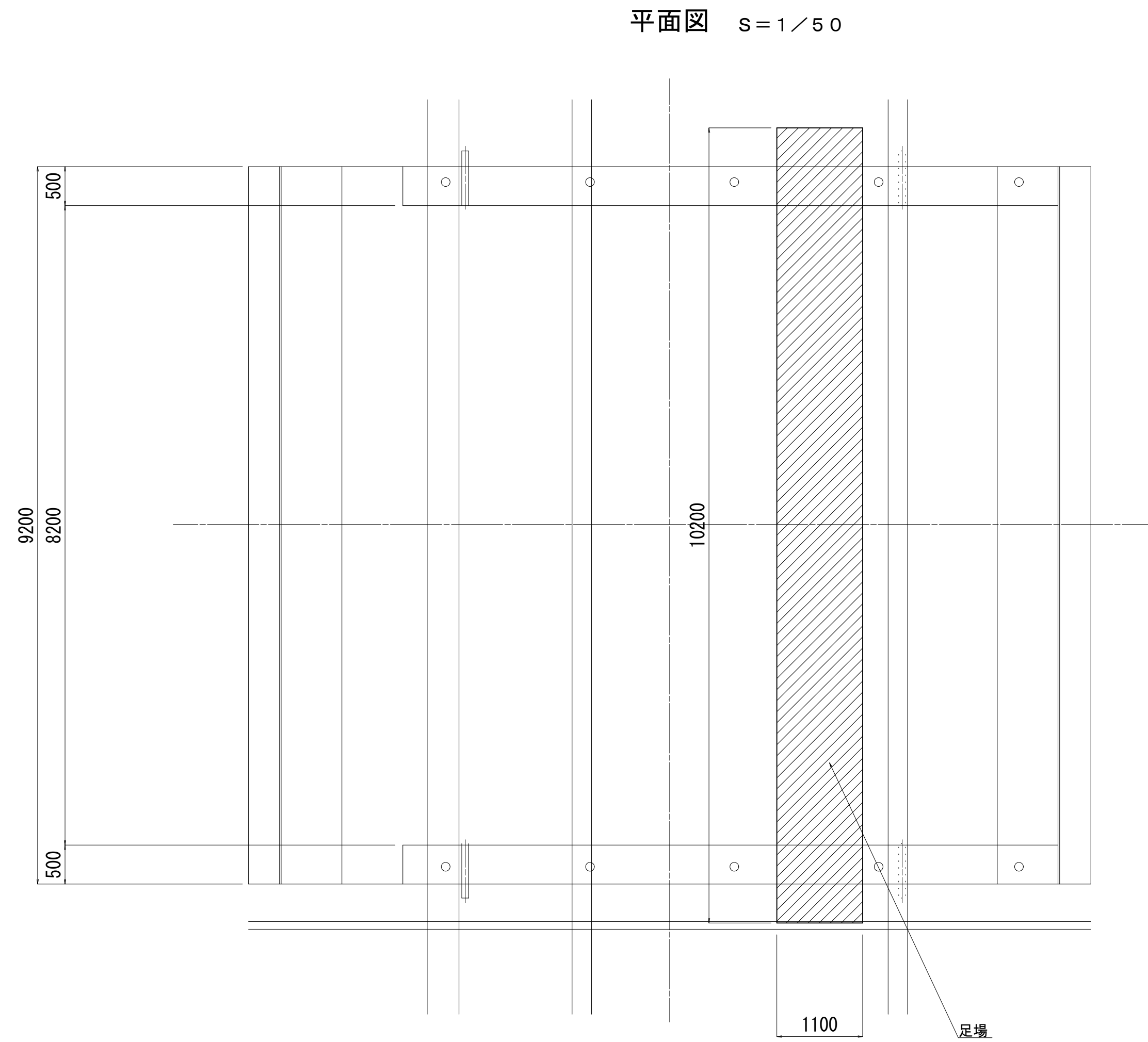
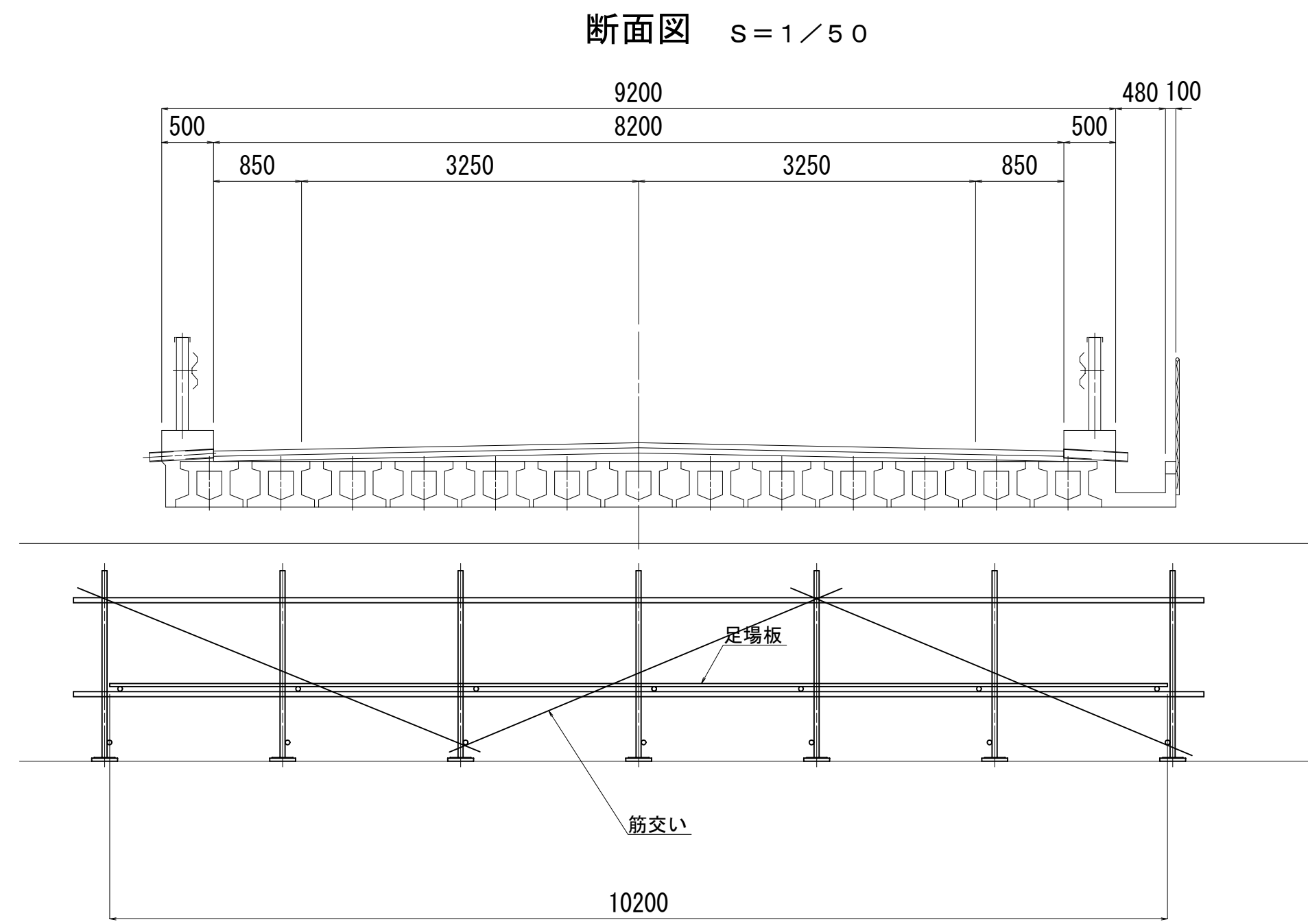
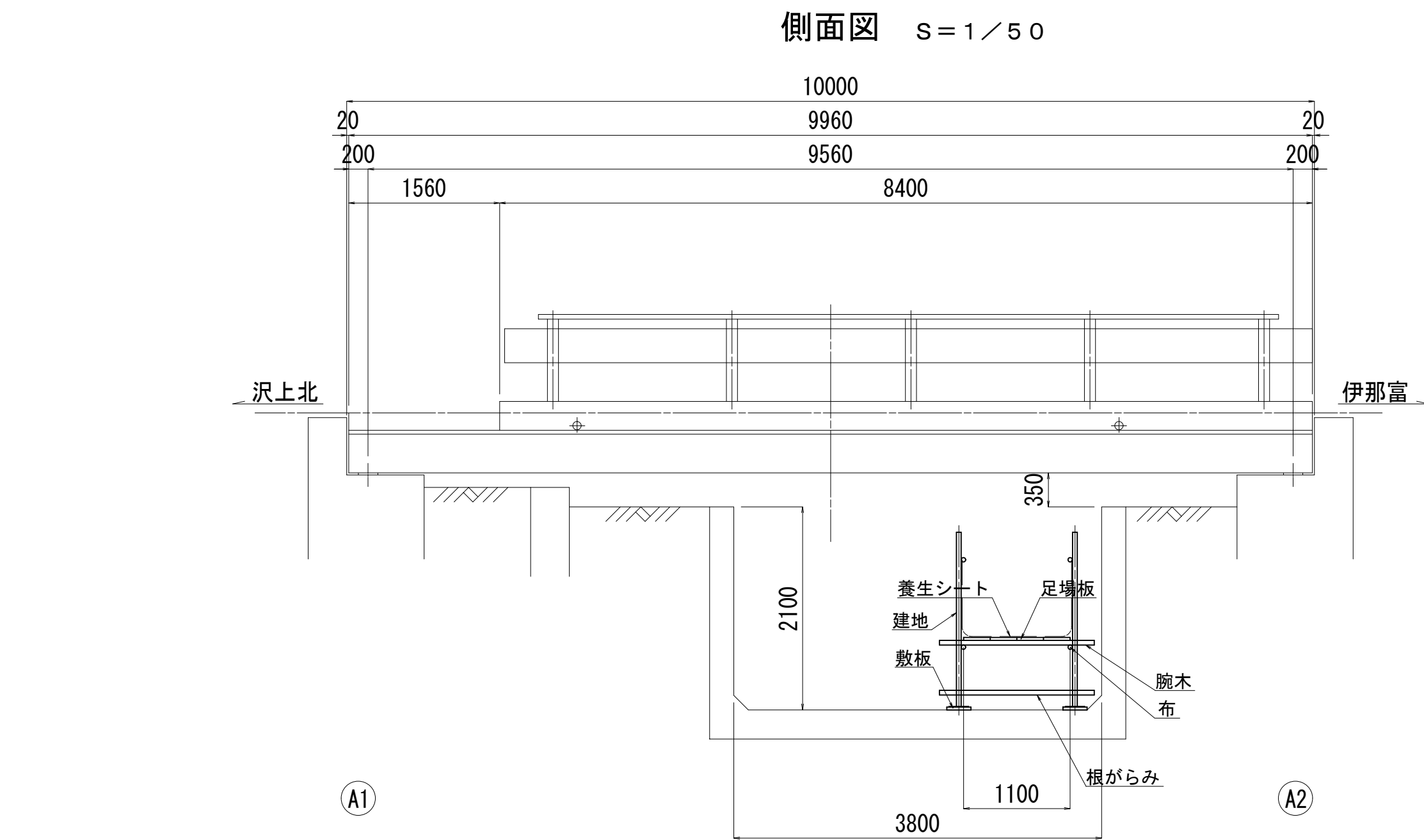
伸 縮 継 手 材 料 表

名 称	材 質	A1数量	A2数量	合計数量	備 考
プロフジョイントCDs型-20用	SS400 合成ゴム SD345 弾性シール材	8.200 m	8.200 m	16.400 m	車道用(耐グレーダー用・二次止水付)
シール材	シリコン系	0.20 リッター	0.20 リッター	0.40 リッター	
超速硬コンクリート		0.738 m3	0.738 m3	1.476 m3	
コンクリートアンカー D16		152 本	152 本	304 本	

※現地実測のうえ、寸法決定を行うこと。

令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事					
番号	4/21	伸縮装置図	縮尺	1/50	
町道1号線他					
箕輪町 西開橋他3橋					
所長	課長	調査	設計		
箕輪町役場 建設課					
設計会社	(株)エース	管理技術者	赤羽 千男		
		調査技術者	治郎丸 啓		
測量会社		主任技術者			
調査会社		主任技術者			

西開橋足場図

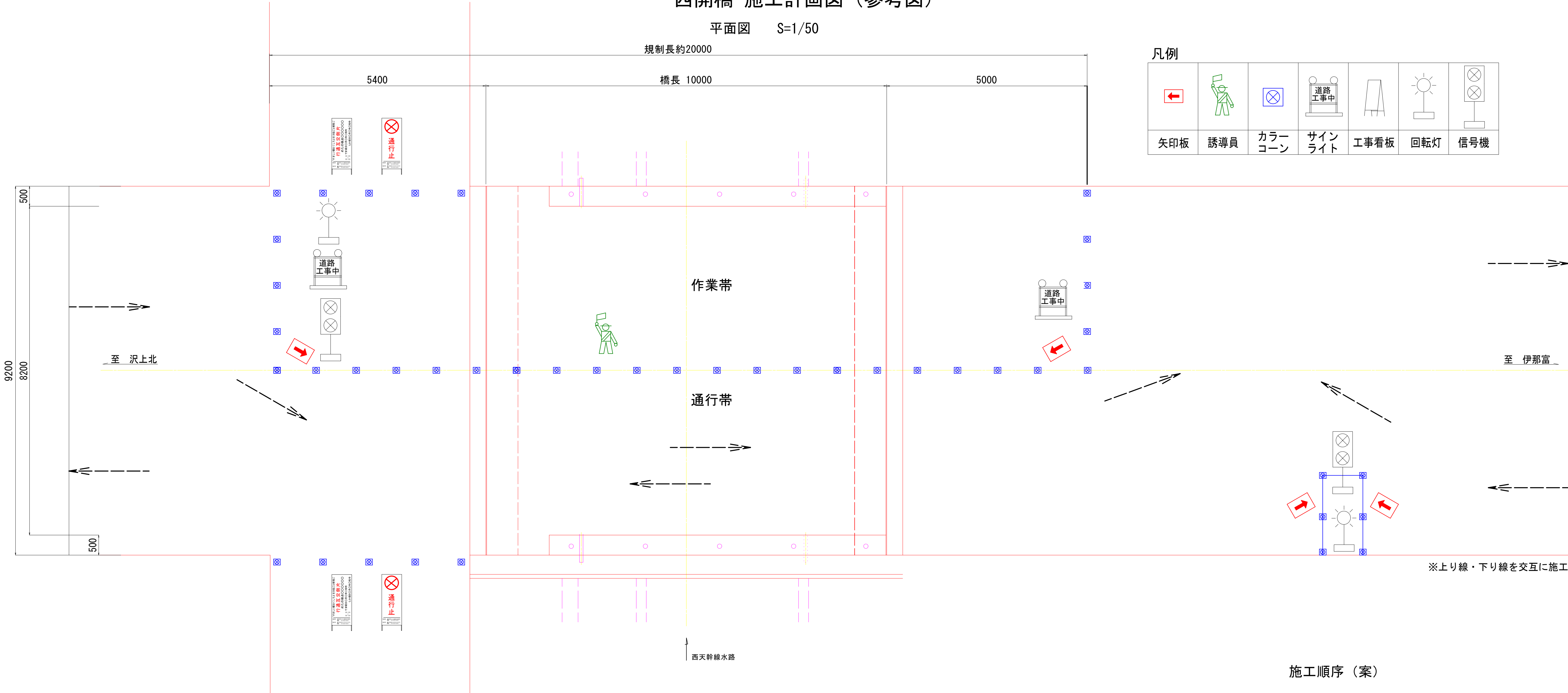


令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事				
番号	5/21	西開橋足場図	縮尺	図示
町道1号線他				
箕輪町 西開橋他3橋				
所長	課長	照査	設計	
箕輪町役場 建設課				
設計会社	(株)エース	管理技術者	赤羽 千男	
		照査技術者	治郎丸 啓	
測量会社		主任技術者		
調査会社		主任技術者		

西開橋 施工計画図（参考図）

平面図 S=1/50

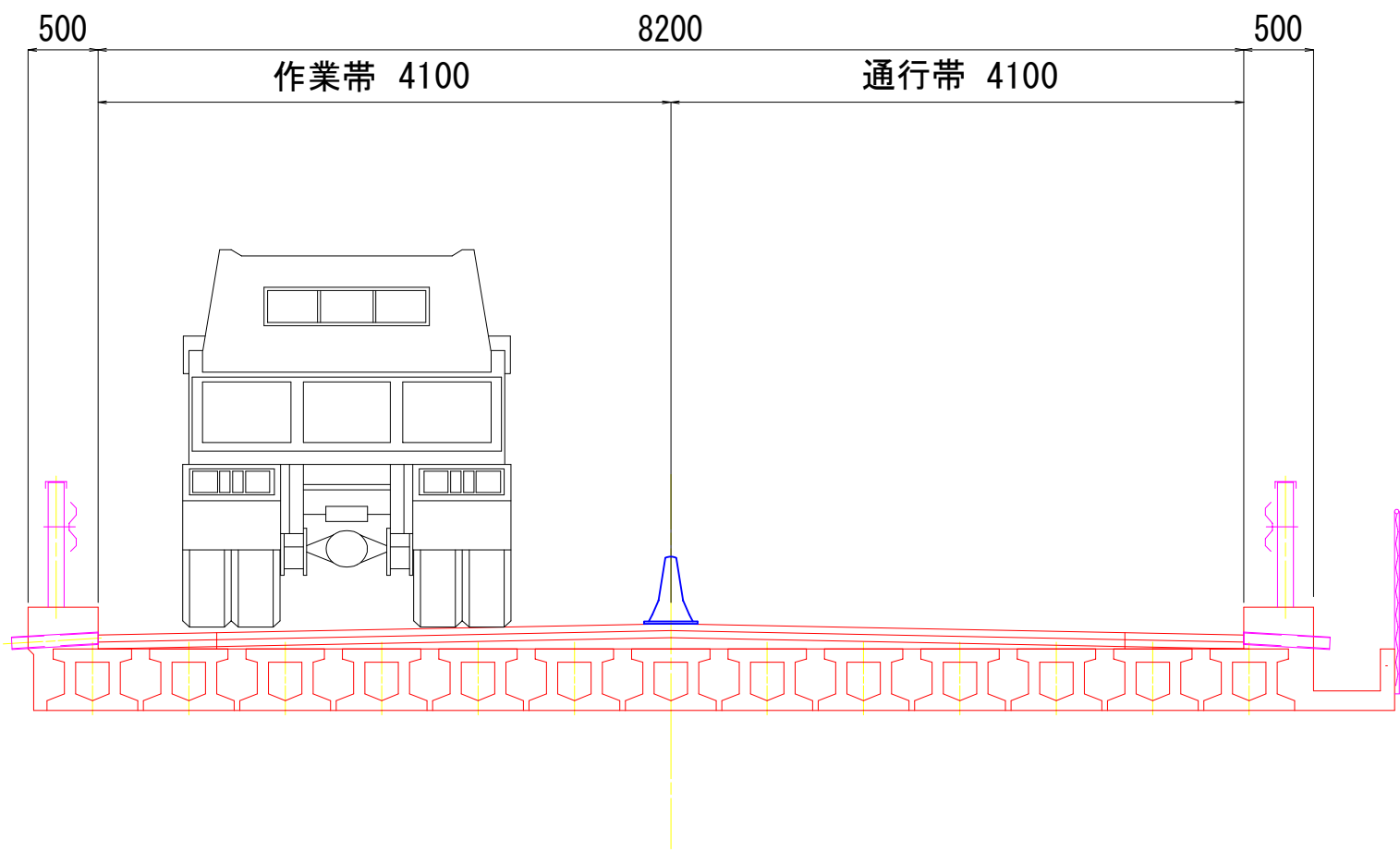
規制長約20000



凡例

矢印板	誘導員	カラーコーン	サインライト	工事看板	回転灯	信号機

作業帯 断面図 S = 1 / 5 0

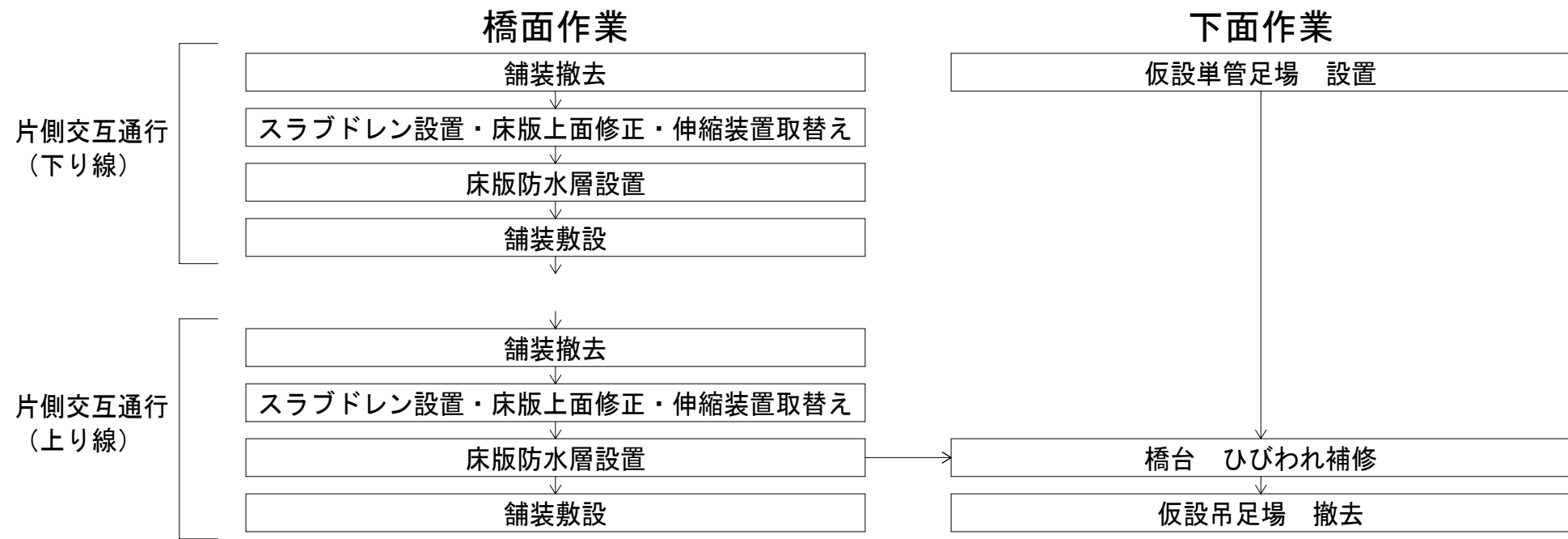


概略工程表（案）

（悪天候時の休工は除く）

工 種	5	10	15	20	25	30	35	40
準備工								
舗装切削・撤去								
伸縮装置取替								
ドレンパイプ設置								
床版上面修正								
床版防水								
舗装敷設								
仮設単管足場設置								
橋台 ひびわれ補修								
仮設単管足場撤去								
片付け								

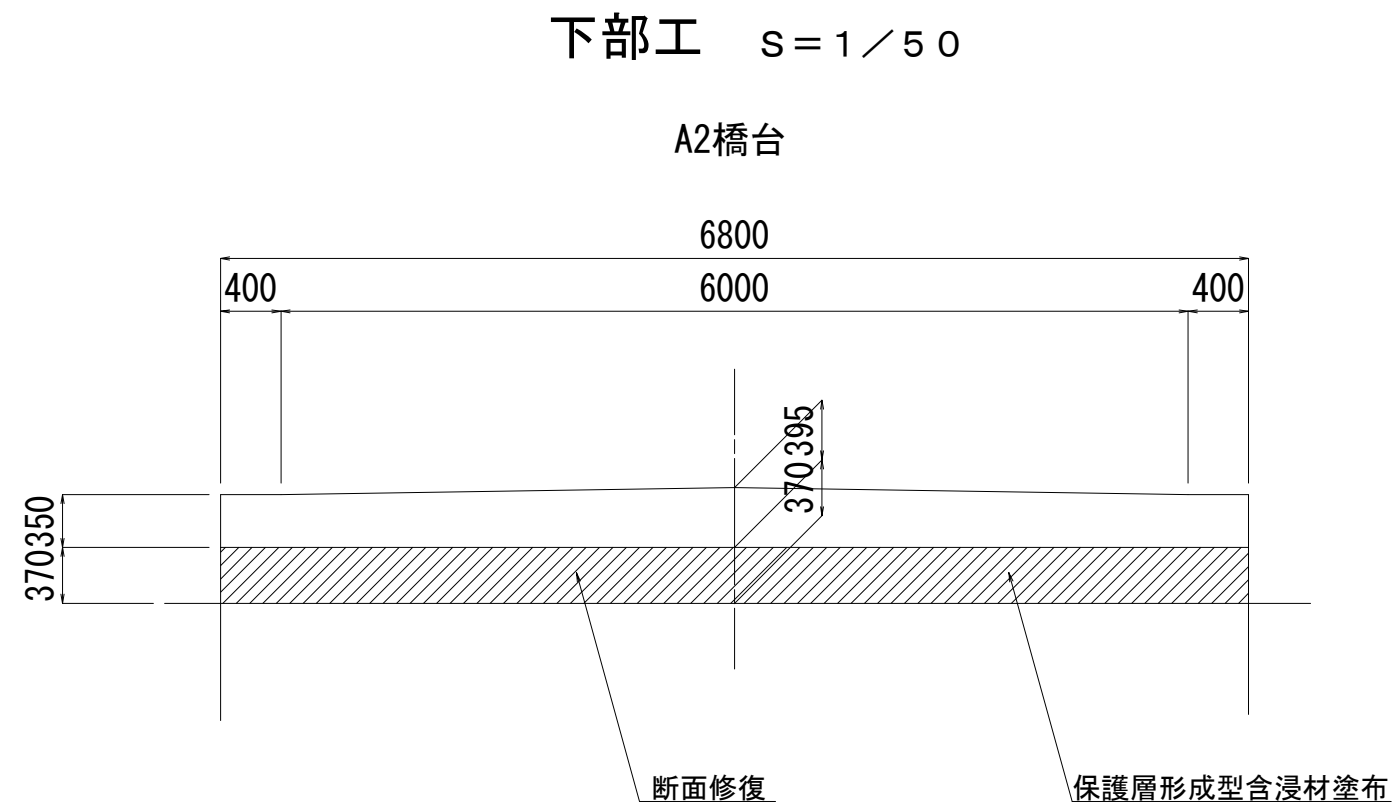
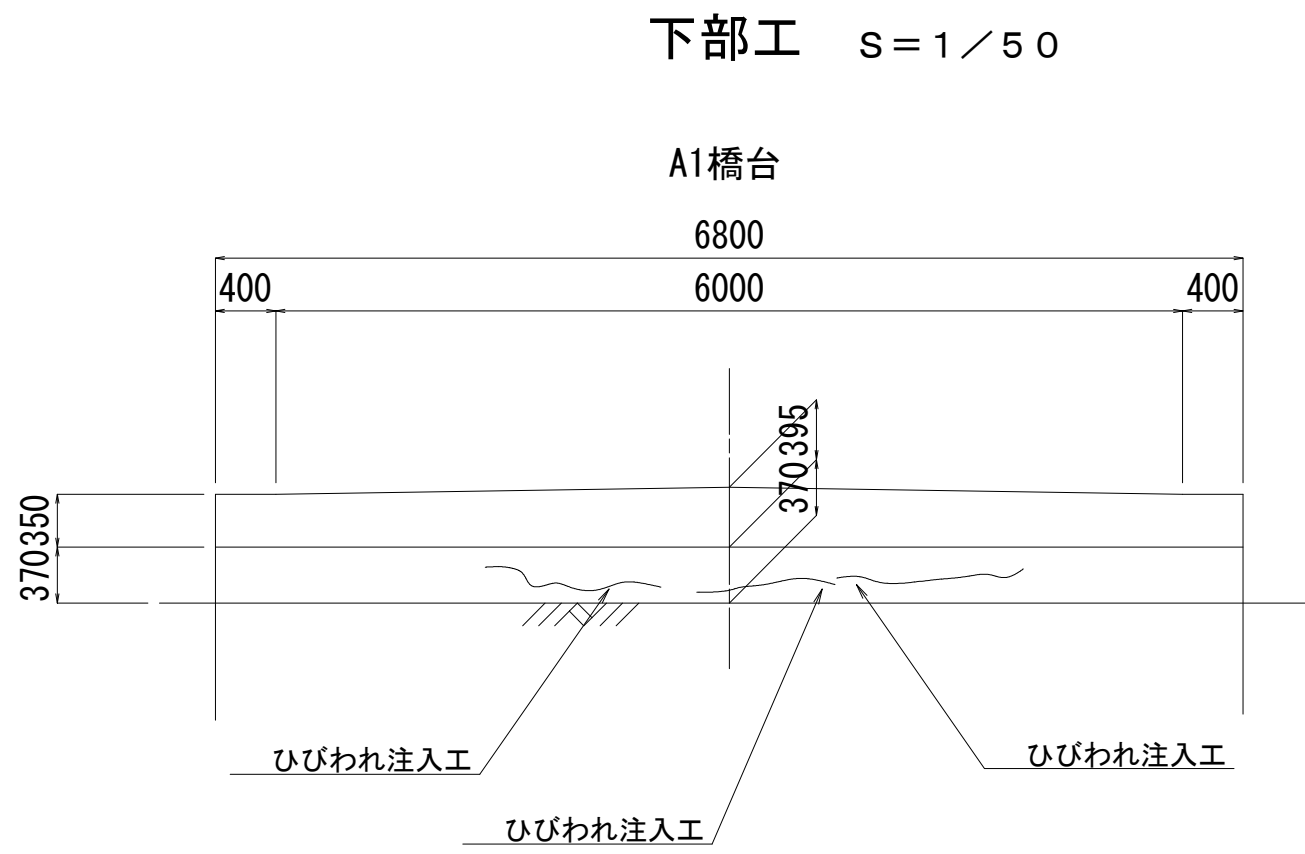
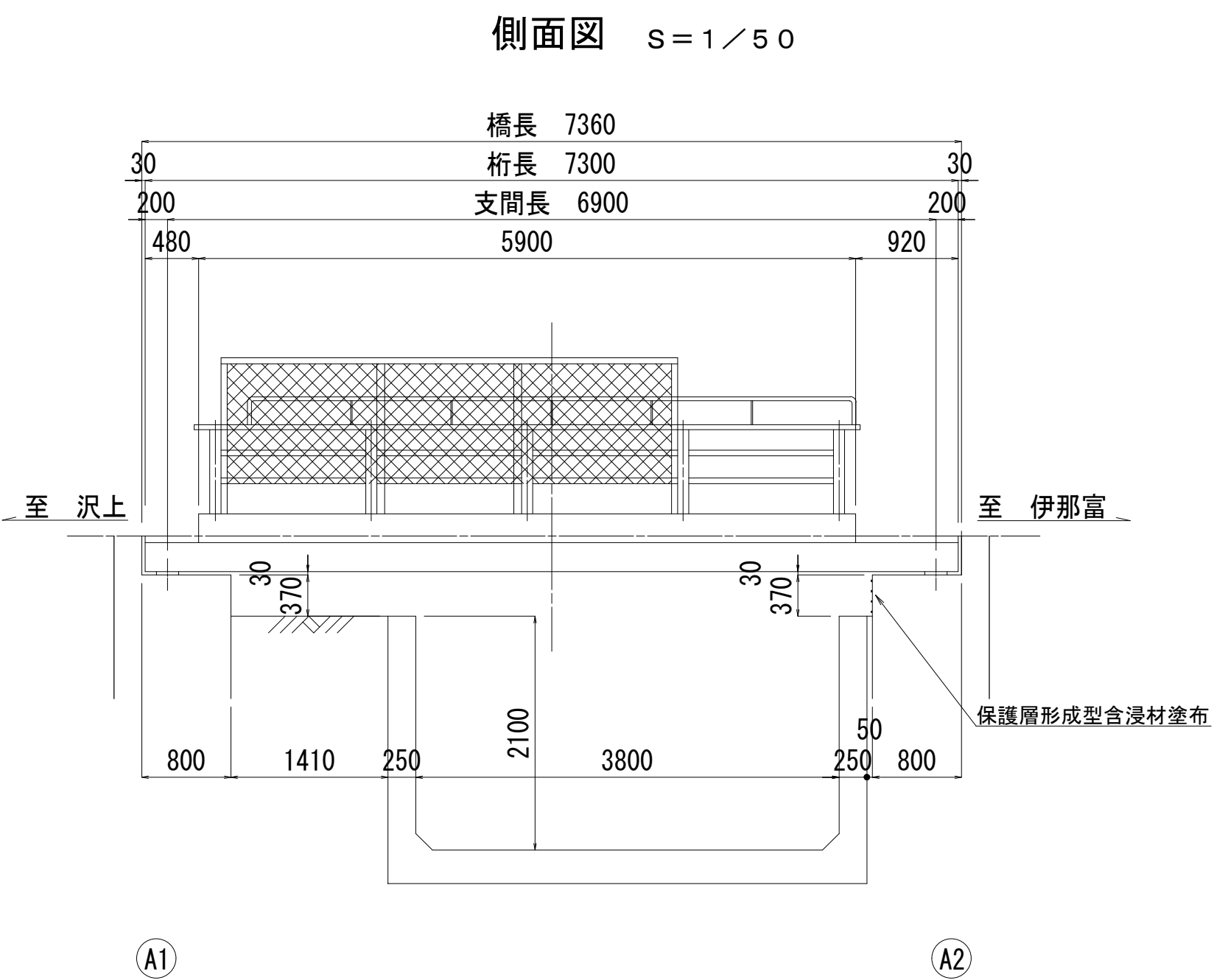
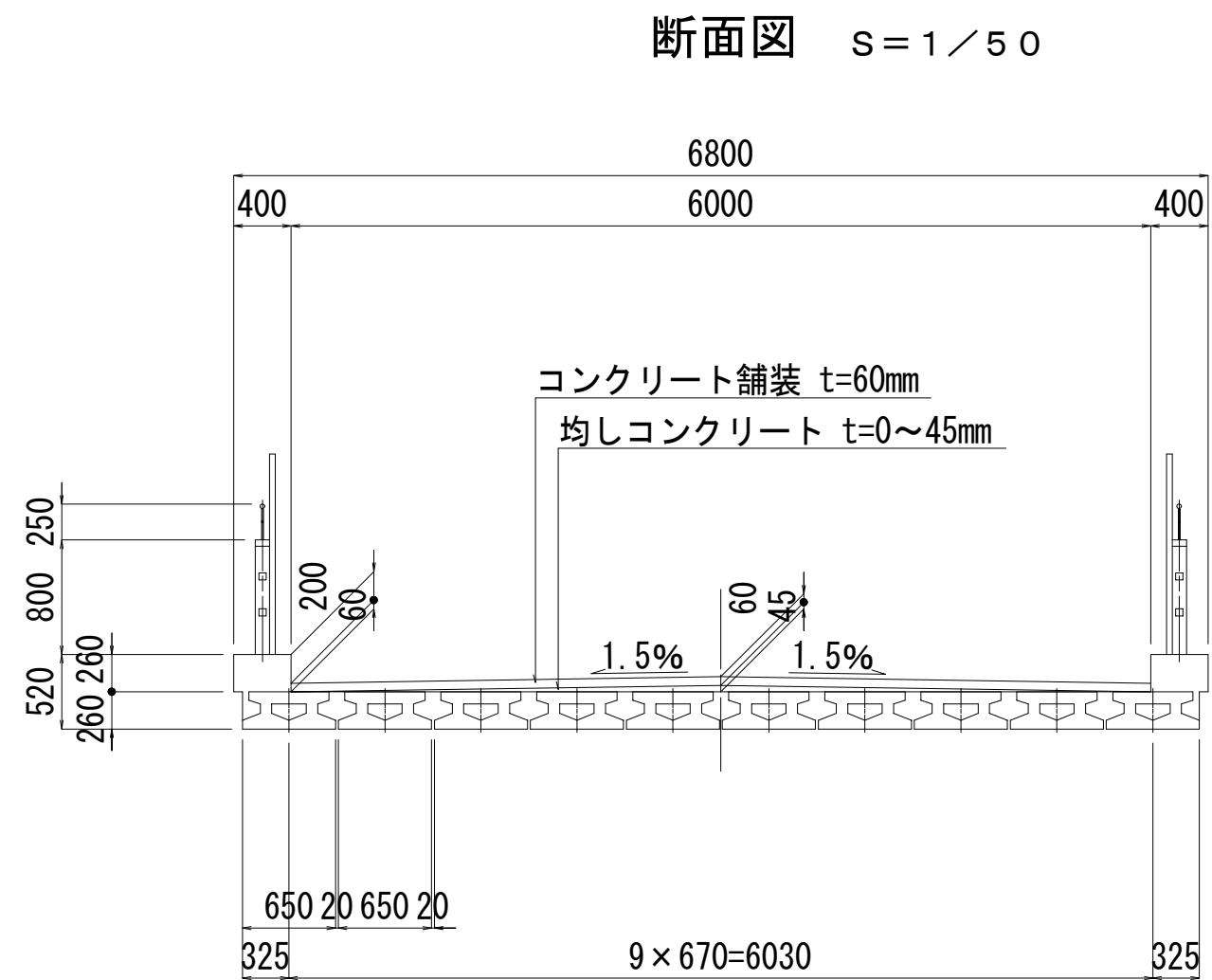
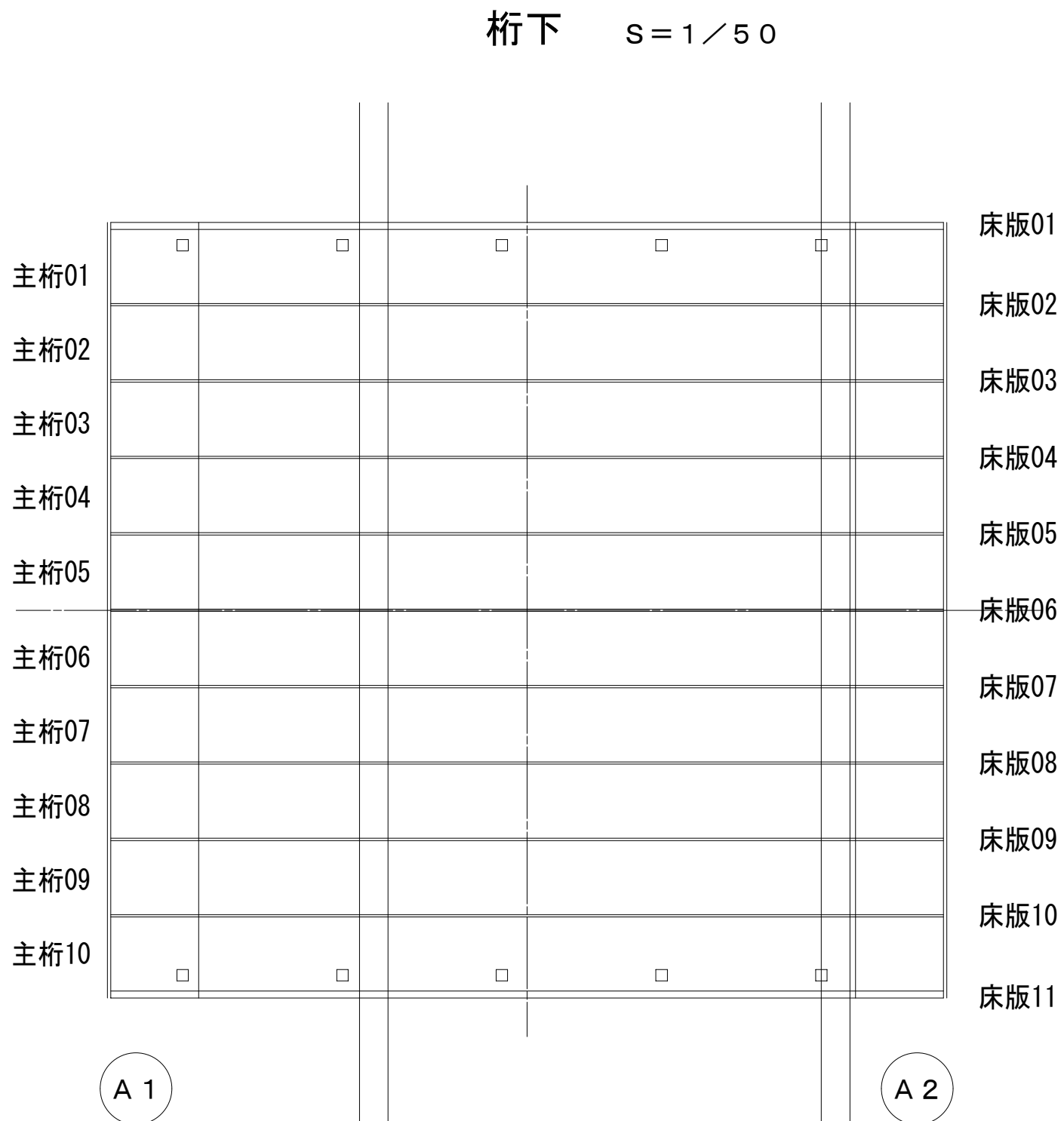
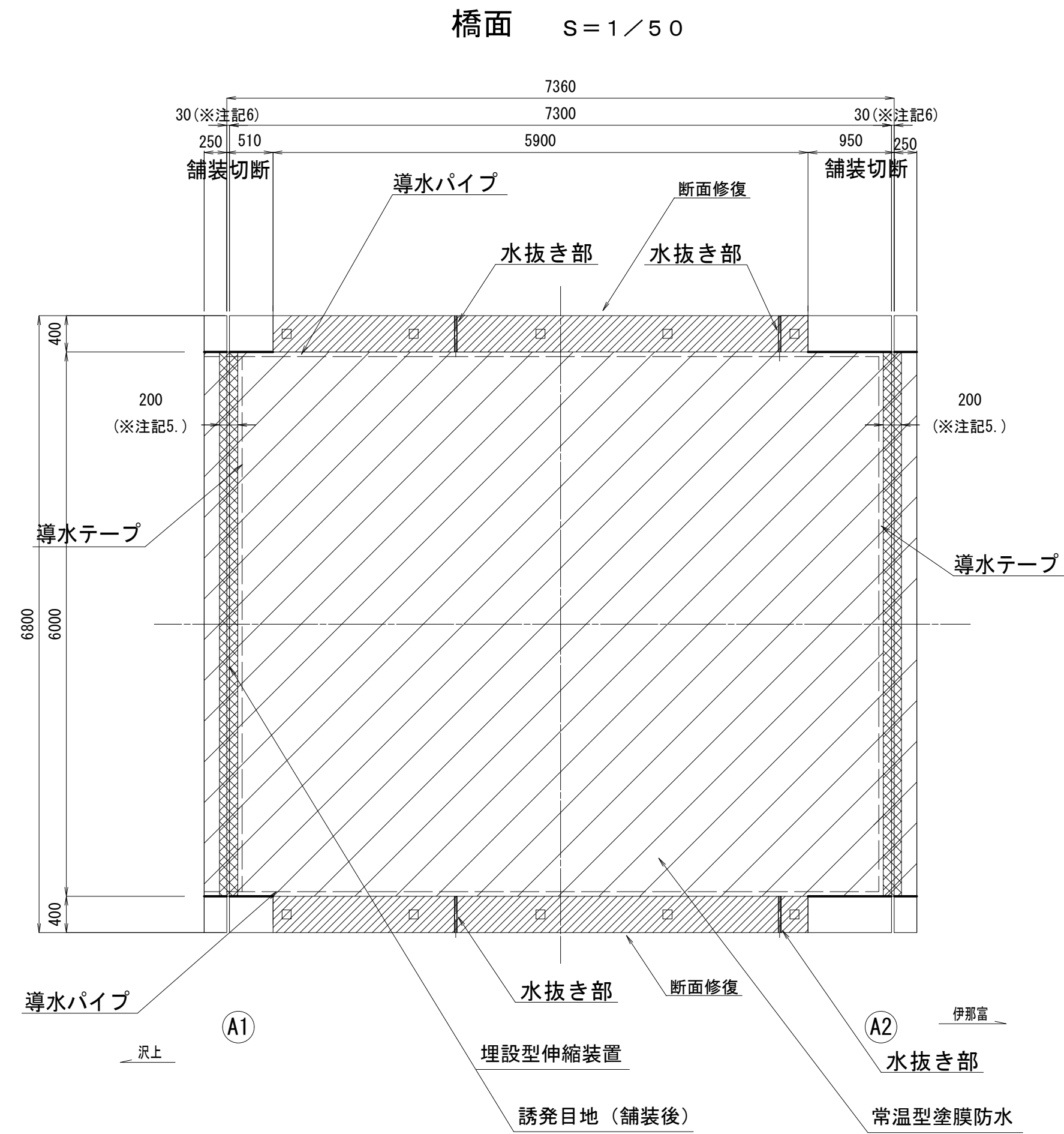
施工順序（案）



- 注）1. 施工中は西天水路道路は通行止めにする。  
2. 通行止めの範囲は別図の標識配置図を参照すること  
3. 通行止め区間に農道とマンション出入り口道路などがあるためまわり道看板を適宜設置すること。

令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事				
番号	6/21	施工計画図	縮尺	1/50
町道1号線他 箕輪町 西開橋他6橋（西開橋）				
所長	課長	照査	設計	
箕輪町役場 建設課				
設計会社	(株)エース	管理技術者	赤羽 千男	
測量会社		照査技術者	治郎丸 啓	
調査会社		主任技術者		

西天4号橋補修概要図



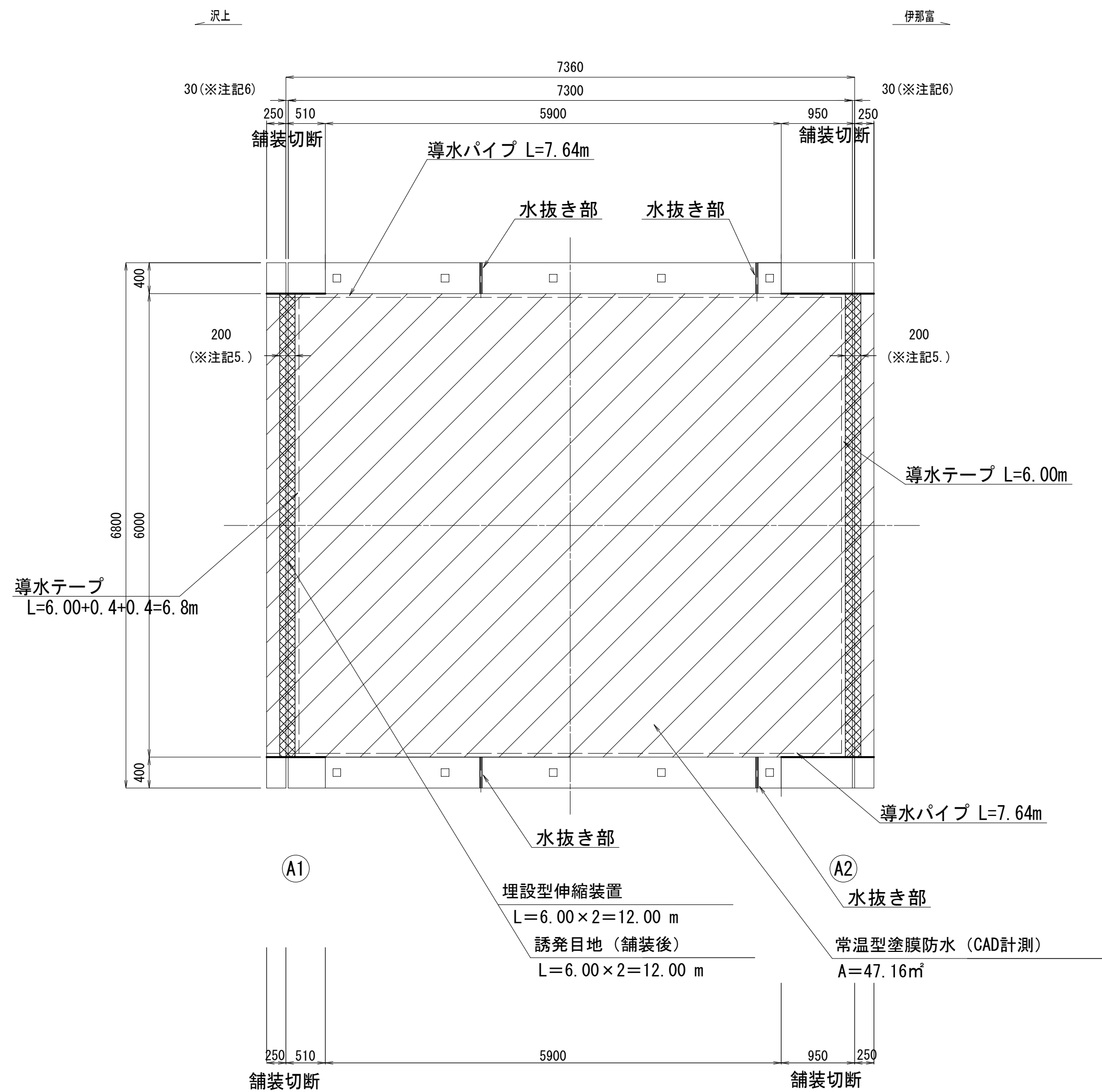
設計条件	
橋種	プレキャストPC床版橋
架設	不明
橋格	不明
橋長	7.360 m
桁長	7.300 m
支間長	6.900 m
幅員構成	0.40+6.00+0.40=6.80 m
勾配	横断勾配: 1.5%直線 縦断勾配
設計荷重	主荷重 100% 添架物荷重 -
地震係数	水平震度 kh=
斜角	θ=90°

令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事				
番号	7/21	西天4号橋補修概要図	縮尺	図示
町道1号線他				
箕輪町 西開橋他3橋				
所長	課長	照査	設計	
箕輪町役場 建設課				
設計会社	(株)エース	管理技術者	赤羽 千男	
		照査技術者	治郎丸 啓	
測量会社		主任技術者		
調査会社		主任技術者		



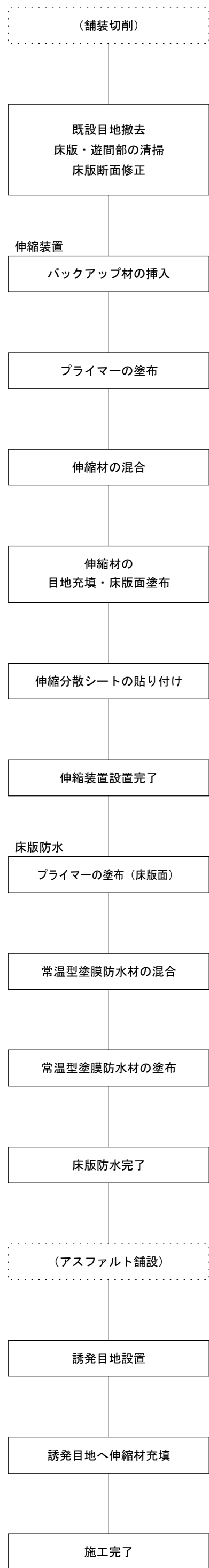
## 西天4号橋補修図その1

平面图



名称	計算式	単位	数量
埋設型伸縮装置	6.00+6.00	m	12.00
常温型塗膜防水		m <sup>2</sup>	46.73

## 施工フロー図



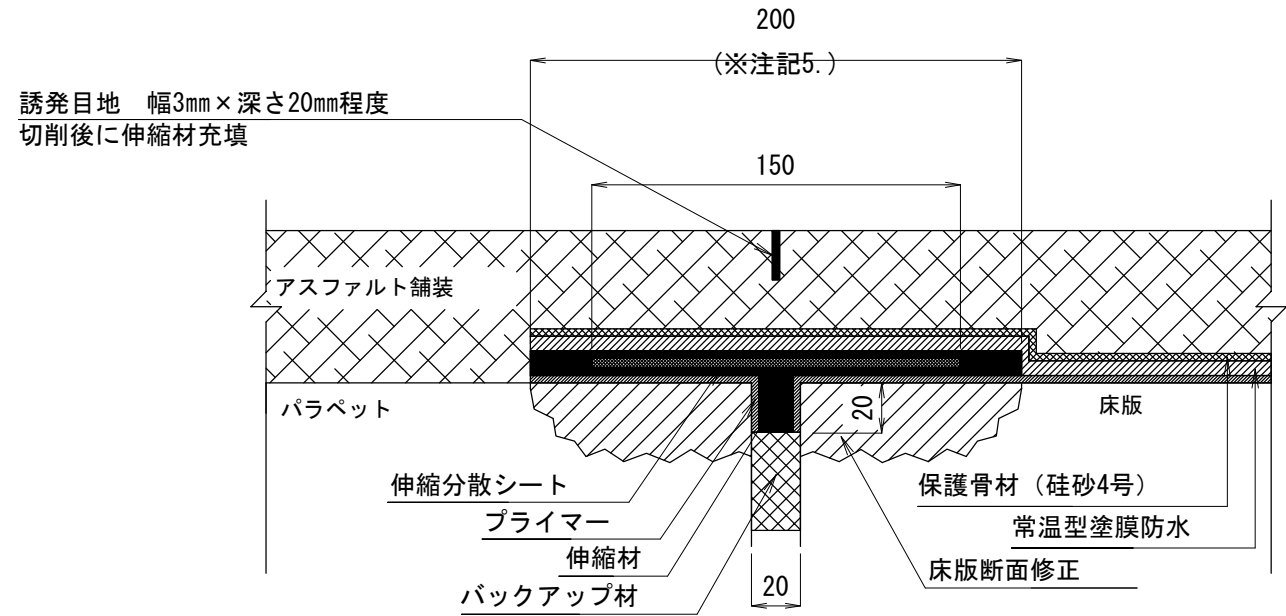
※施工前、各工種とも現地詳細調査を実施し施工寸法及び数量を確定すること。

## 伸縮装置及び床版防水の一体化工法詳細図

伸縮装置材料表 <補修>			1 m当たり		
名 称	材 質	単位	数量	備 考	
伸縮材	主 剤：ゴムアスファルト剤 硬化剤：ウレタン樹脂化合物	kg	1.00	約25%含む	
伸縮材（誘発目地）	同 上	kg	0.06	約20%含む	
プライマー	シリコン系化合物	kg	0.045	約20%含む	
伸縮分散シート	アスファルトメッシュシート	m	1.10	約10%含む	
バックアップ材	汎用プラスチックフォーム	m	0.55	約10%含む	

※伸縮材は常温型塗膜防水と一体化する同系材料。  
※バックアップ材は適宜切断して使用する（1本2mが4m相当）

### 伸縮装置断面図



※注記

- 伸縮装置設置工の数量は、調査結果を元に算出している。施工に際しては現場状況に合わせて適宜変更のこと
- 伸縮性及び止水性を有する処理を目的とするため、伸縮性を確認できる材料を選定のこと  
下記に参考仕様を示す

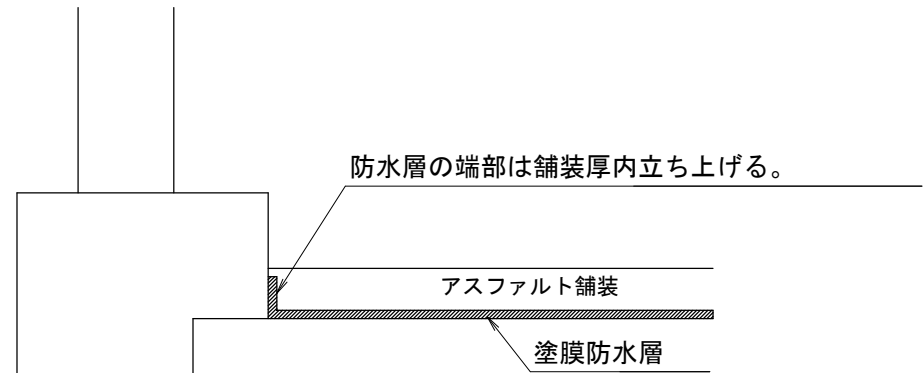
一体化	遊間部止水層が床版防水層と一体化した伸縮装置として機能すること	
伸縮追従性	±4mm繰り返して剥離・破損がないこと	6000回
	±10mm繰り返して剥離・破損がないこと	15回

3. 伸縮剤は、現場条件への対応性が良好なことから、ウレタン系ゴムアスファルト乳剤を選定している
4. 伸縮剤との一体化のため、橋面防水工の材料にはウレタン系ゴムアスファルト乳剤を必ず使用すること
5. 設置面（W=20mm）の高さは、同レベルで不陸がない状態まで断面修正（レベル調整）されていること
6. 既設遊間幅が適用範囲外の場合は、適用範囲まで遊間幅を調整すること ※適用範囲：10～20mm
7. 床版断面修正の適用範囲はw200、t=30mmまでとする

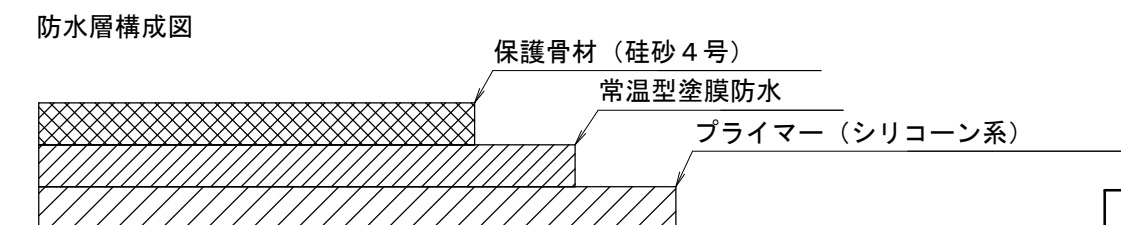
常温型塗膜防水材料＜補修＞				1㎡当たり
名 称	材 質	単 位	数 量	備 考
常温型塗膜防水材料	主 剤：ゴムアスファルト乳剤 硬化剤：ウレタン樹脂化合物	kg	1.50	0.25%含む
プライマー	シリコン系化合物	kg	0.18	0.20%含む
保護骨材	珪砂 4号	kg	0.77	0.10%含む

※常温型塗膜防水材は伸縮装置と一体化する同系材料。

### 防水層詳細図



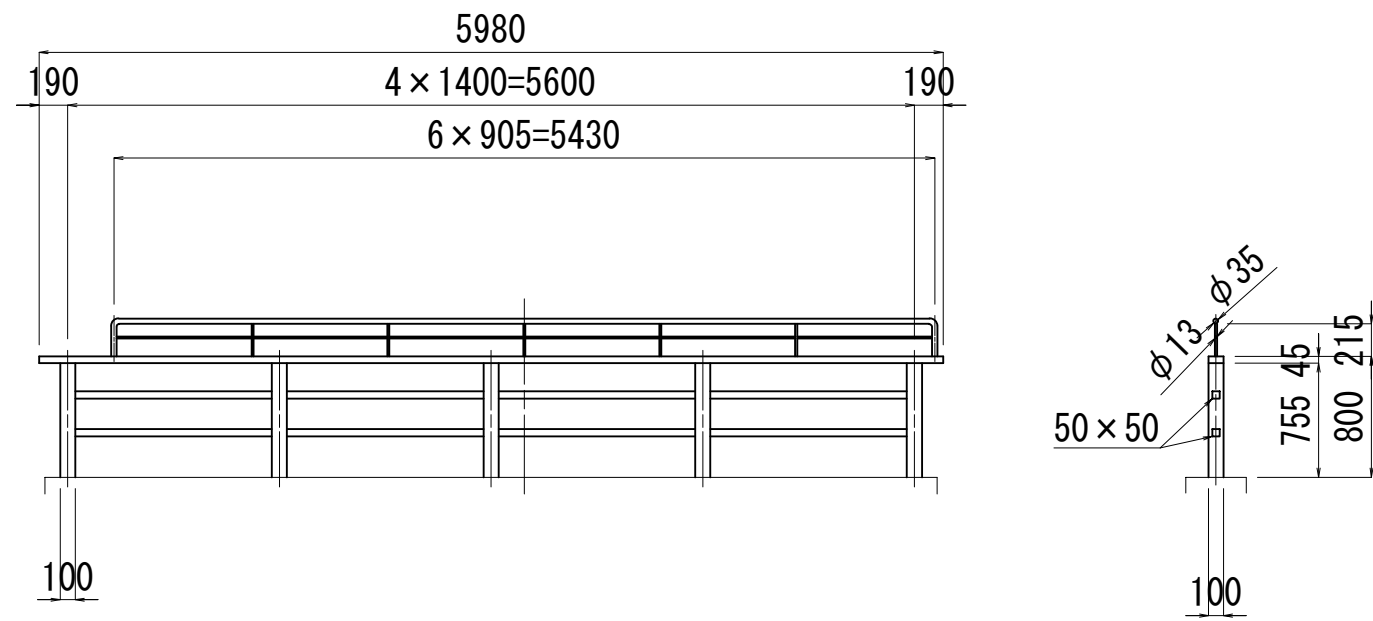
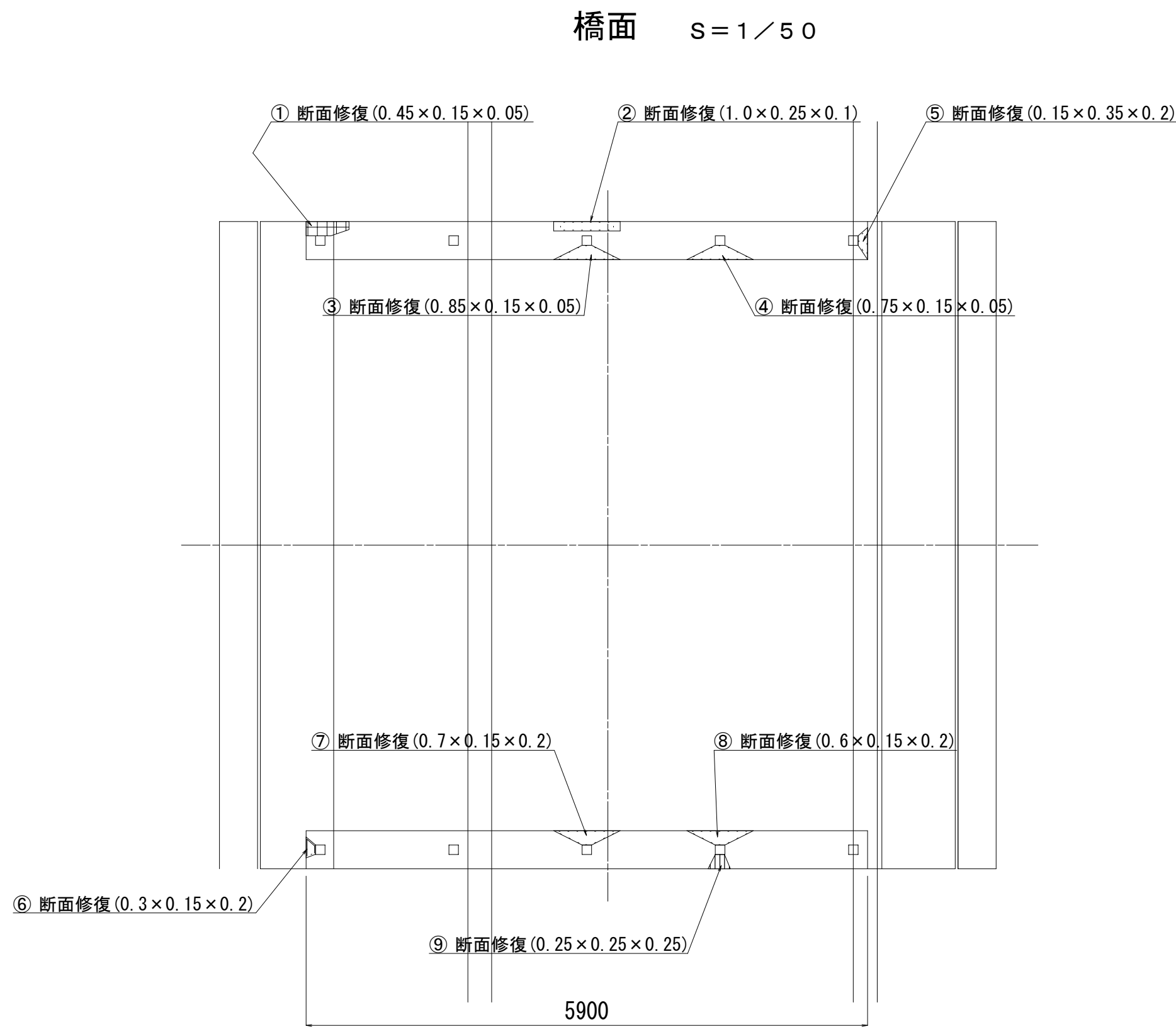
※注記  
端部処理については別途排水計画に基づき設計した排水資材を選定し  
その配置を定める事



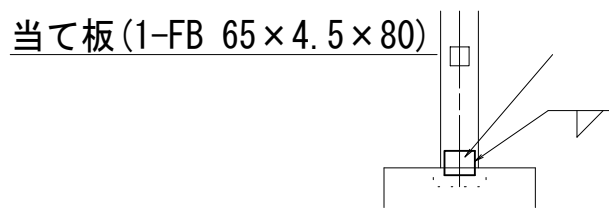
令和元年度 社会資本整備総合交付事業 橋梁補修工事				
番号	8/21	西天4号橋補修(その1)	縮尺	1/50
<p style="text-align: center;"><b>町道1号線他</b></p> <p style="text-align: center;"><b>箕輪町 西開橋他3橋</b></p>				
所長		課長	照査	設計
<p style="text-align: center;"><b>箕輪町役場 建設課</b></p>				
設計会社	(株)エース		管理技術者	赤羽 千男
測量会社			照査技術者	治郎丸 啓
調査会社			主任技術者	



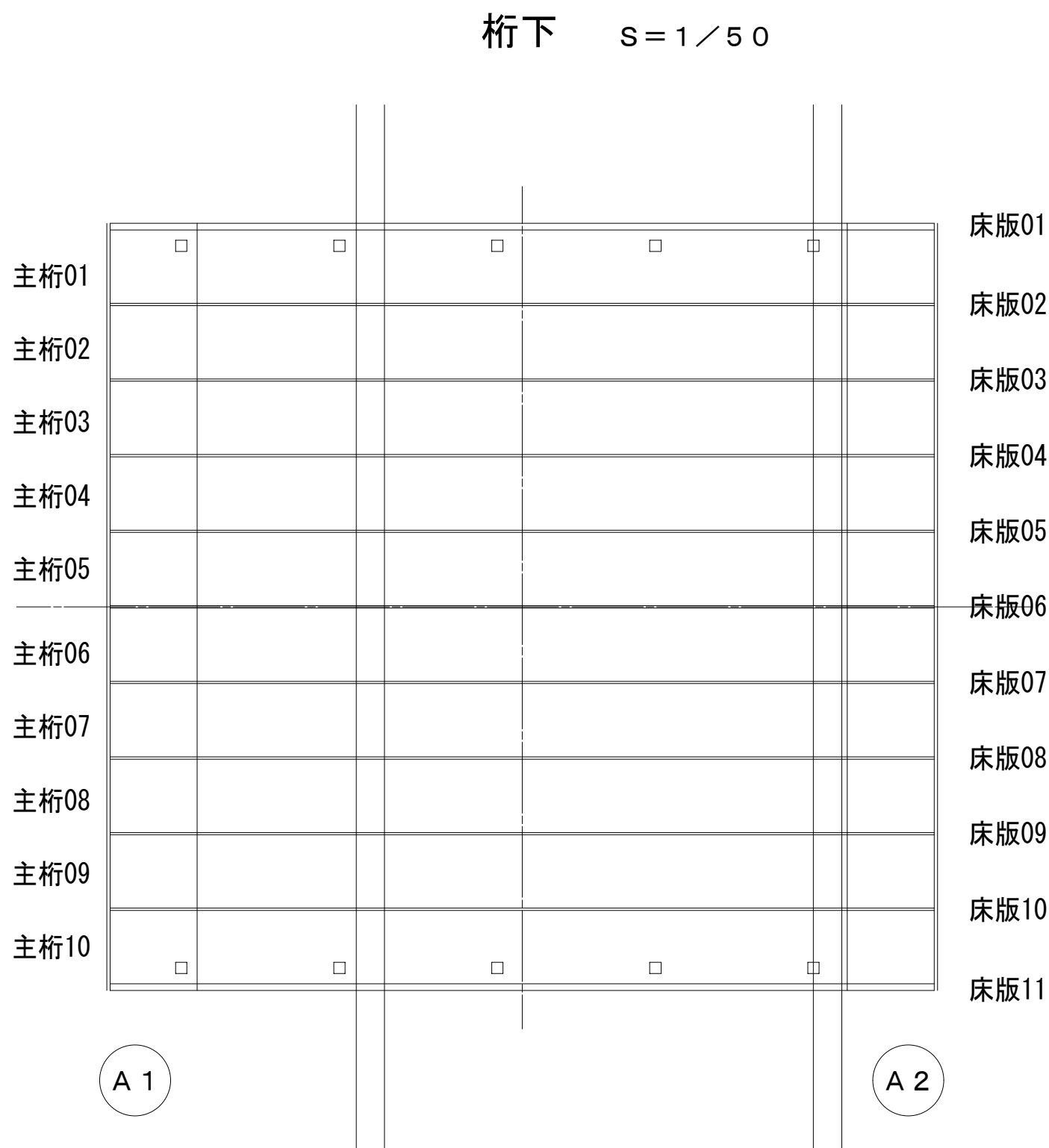
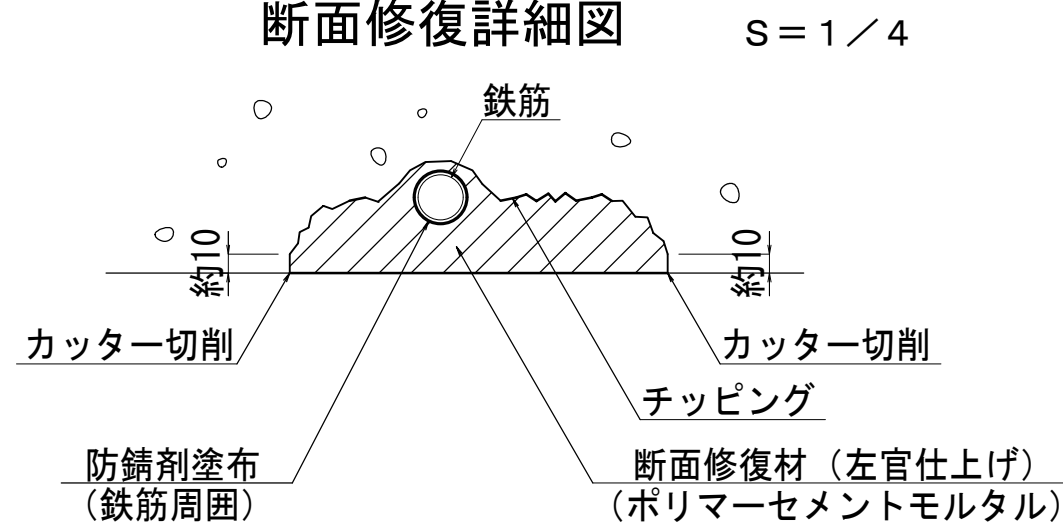
西天4号橋補修図その2



支柱基部補修図



断面修復詳細図



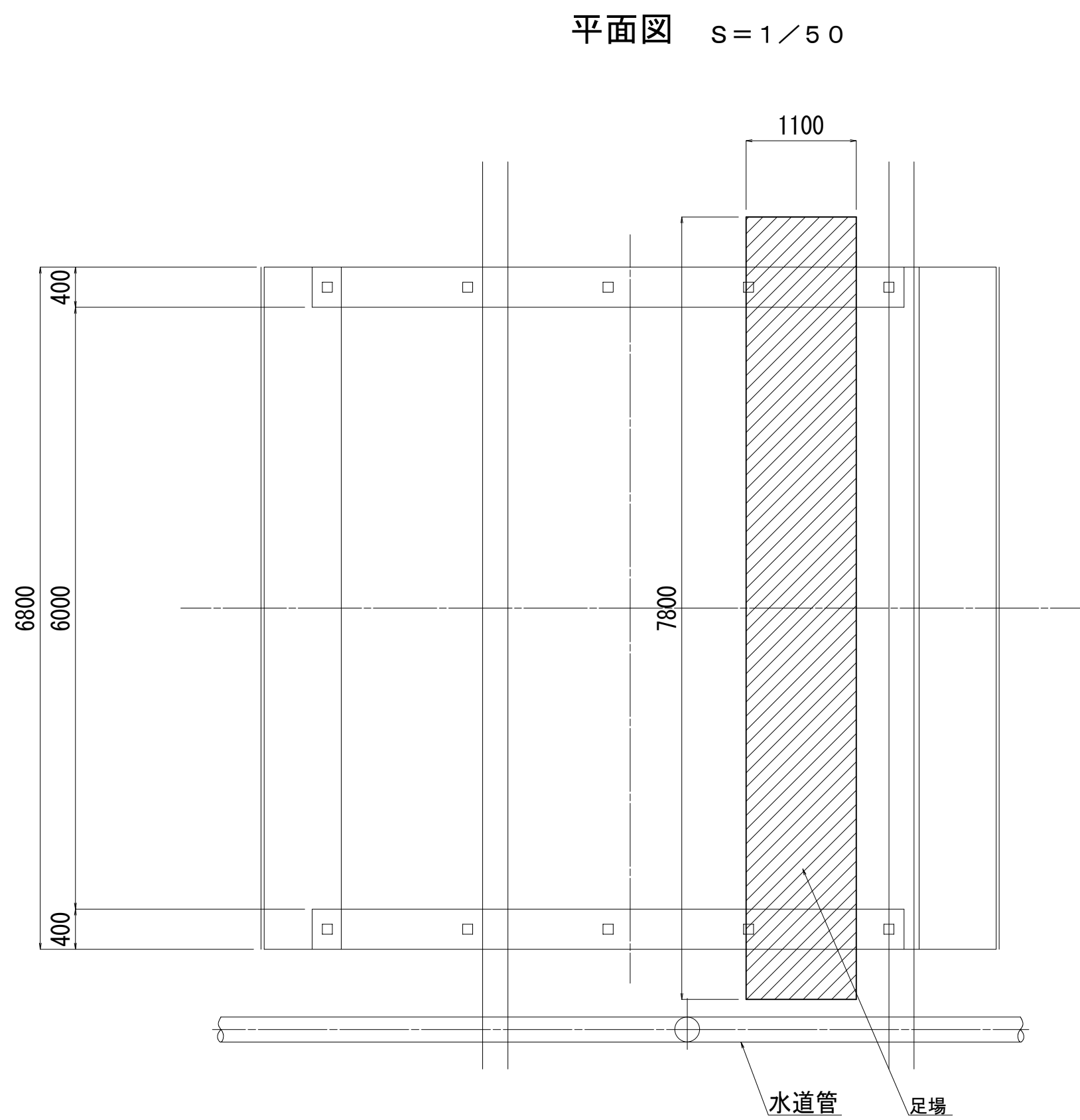
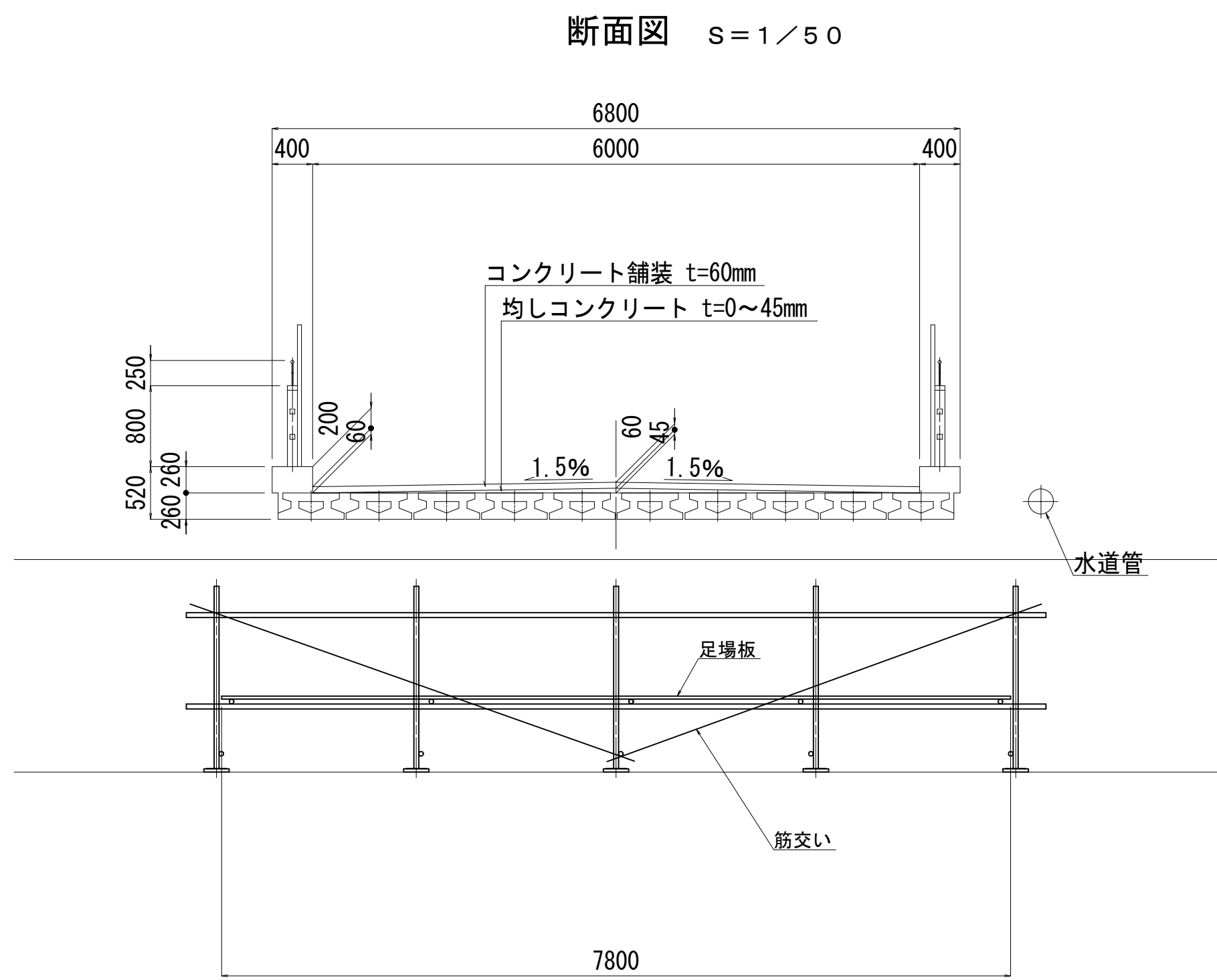
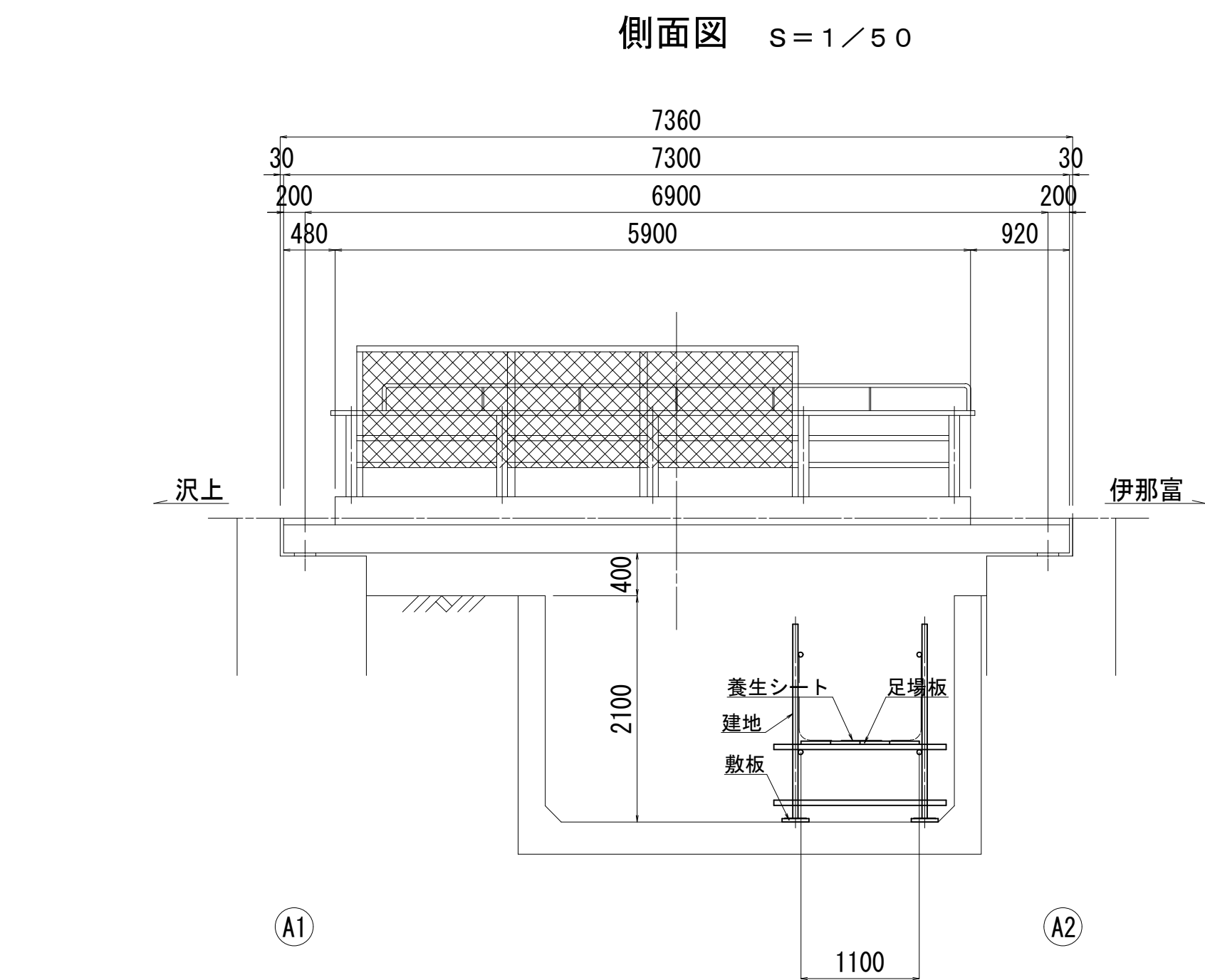
断面修復集計表

番号	幅 (m)	高さ (m)	箇所数	面積 (m2)	厚さ (m)	体積 (m3)
1	0.45	0.15	1	0.068	0.05	0.0034
2	1.00	0.25	1	0.250	0.10	0.0030
3	0.85	0.15	1	0.128	0.05	0.0064
4	0.75	0.15	1	0.113	0.05	0.0057
5	0.15	0.35	1	0.053	0.20	0.0106
6	0.30	0.15	1	0.045	0.20	0.0090
7	0.70	0.15	1	0.105	0.20	0.0210
8	0.60	0.15	1	0.090	0.20	0.0180
9	0.25	0.25	1	0.063	0.25	0.0158
合計				0.915		0.1149

注記) 1. 施工寸法は、現地実測の上決定のこと。

令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事					
番号	9/21	西天4号橋補修図その2		縮尺	図示
町道1号線他					
箕輪町 西開橋他3橋					
所長		課長		照査	設計
箕輪町役場 建設課					
設計会社	(株)エース			管理技術者	赤羽 千男
				照査技術者	治郎丸 啓
測量会社				主任技術者	
調査会社				主任技術者	

西天4号橋足場図



令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事				
番号	10/21	西天4号橋足場図	縮尺	図示
町道1号線他				
箕輪町 西開橋他3橋				
所長	課長	照査	設計	
箕輪町役場 建設課				
設計会社	(株)エース	管理技術者	赤羽 千男	
		照査技術者	治郎丸 啓	
測量会社		主任技術者		
調査会社		主任技術者		

## 西天4号橋補修図その3

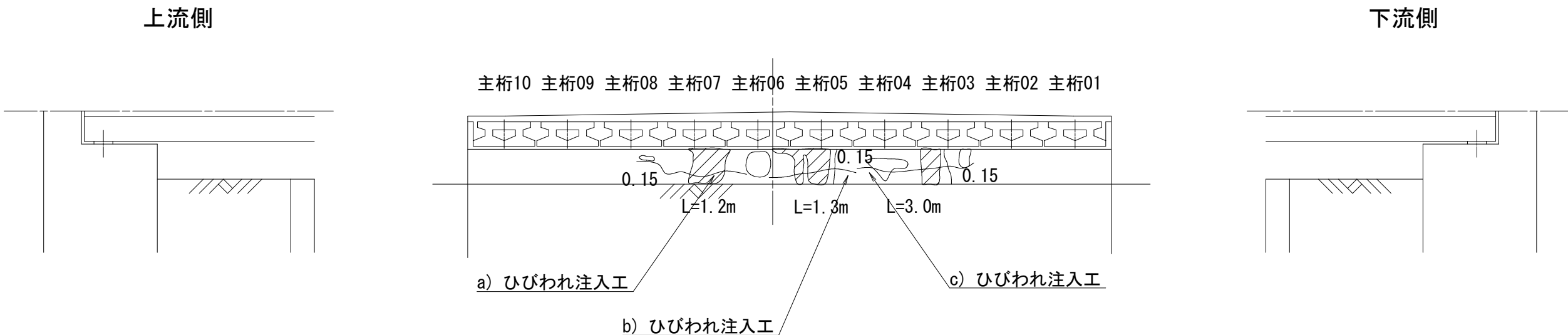
断面修復集計表

番号	幅 (m)	高さ (m)	箇所数	面積 (m <sup>2</sup> )	厚さ (m)	体積 (m <sup>3</sup> )
1	6.80	0.37	1	2.516	0.05	0.1258
合計				2.516		0.1258

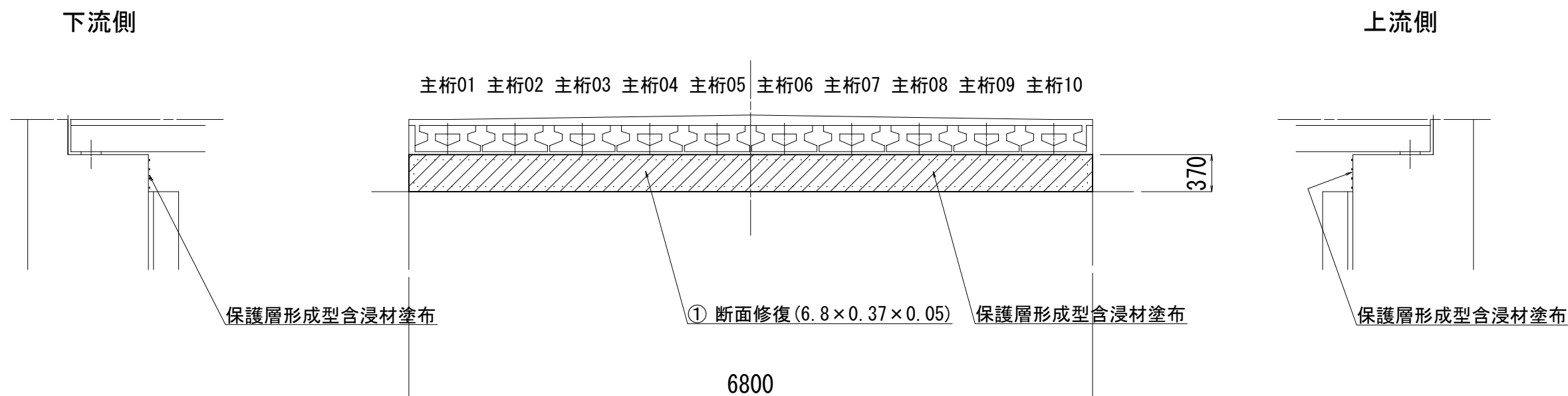
ひびわれ集計

ひびわれ長さ (m)		
番号	ひびわれ注入工	ひびわれ充填工
a	1. 2	
b	1. 3	
c	3. 0	
合計	5. 5	

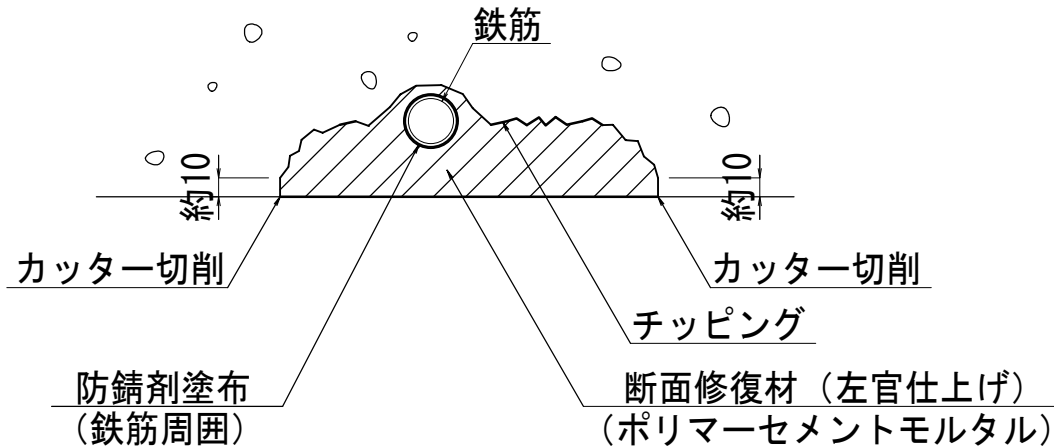
A 1 橋台  $S=1/50$



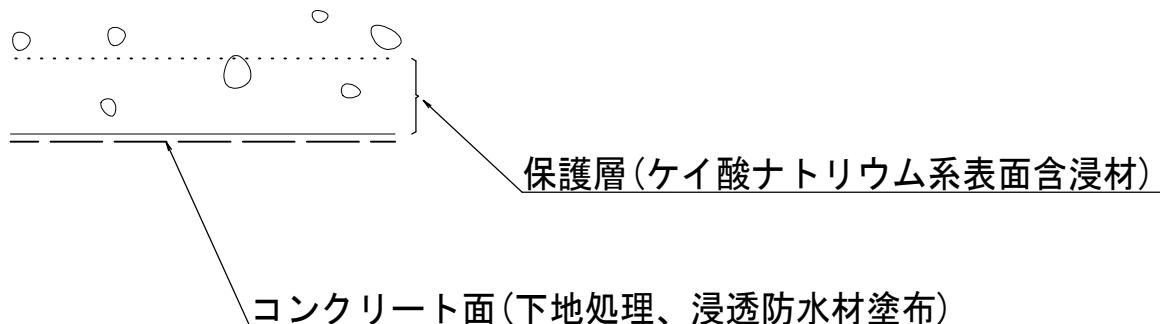
A 2橋台  $S=1/50$



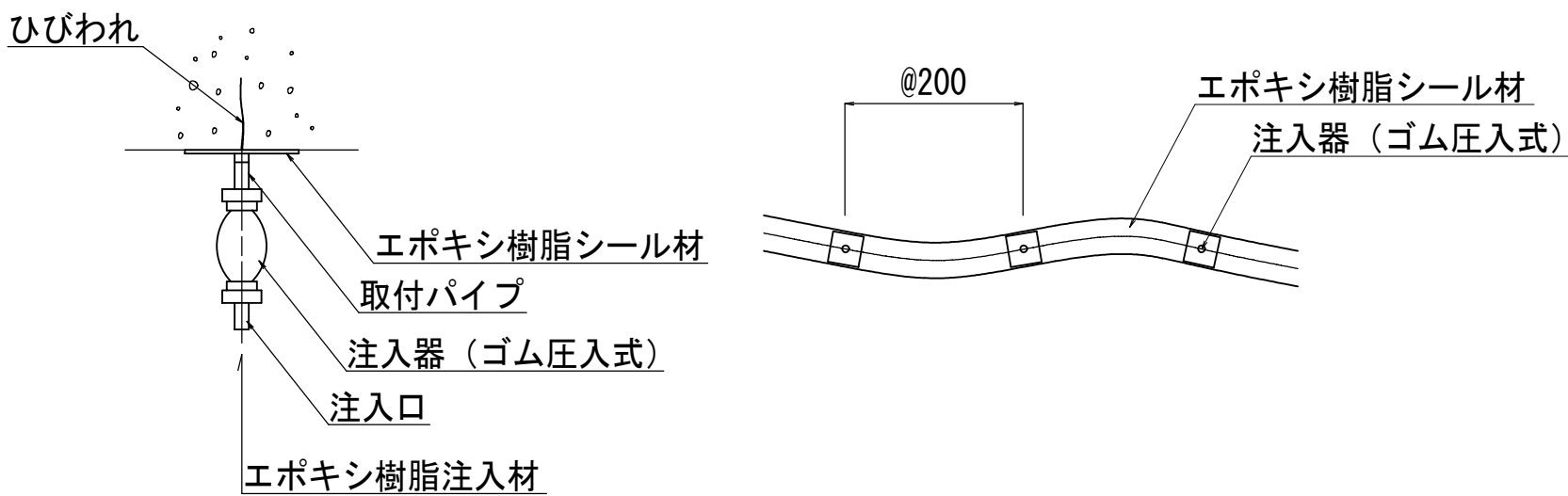
断面修復詳細図 S=1/



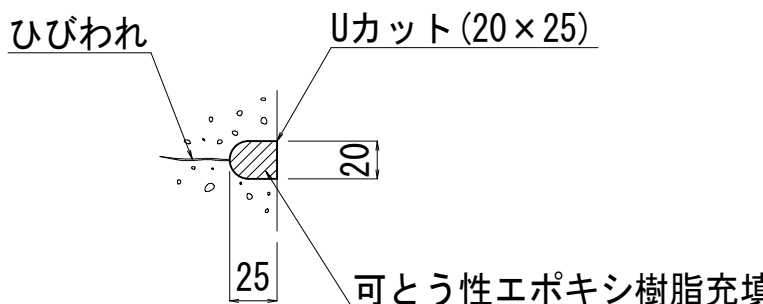
## コンクリート表面保護詳細図 (保護層形成型)



ひびわれ注入工詳細図 S=1/4  
(717ひわれ幅0.5mm未満)



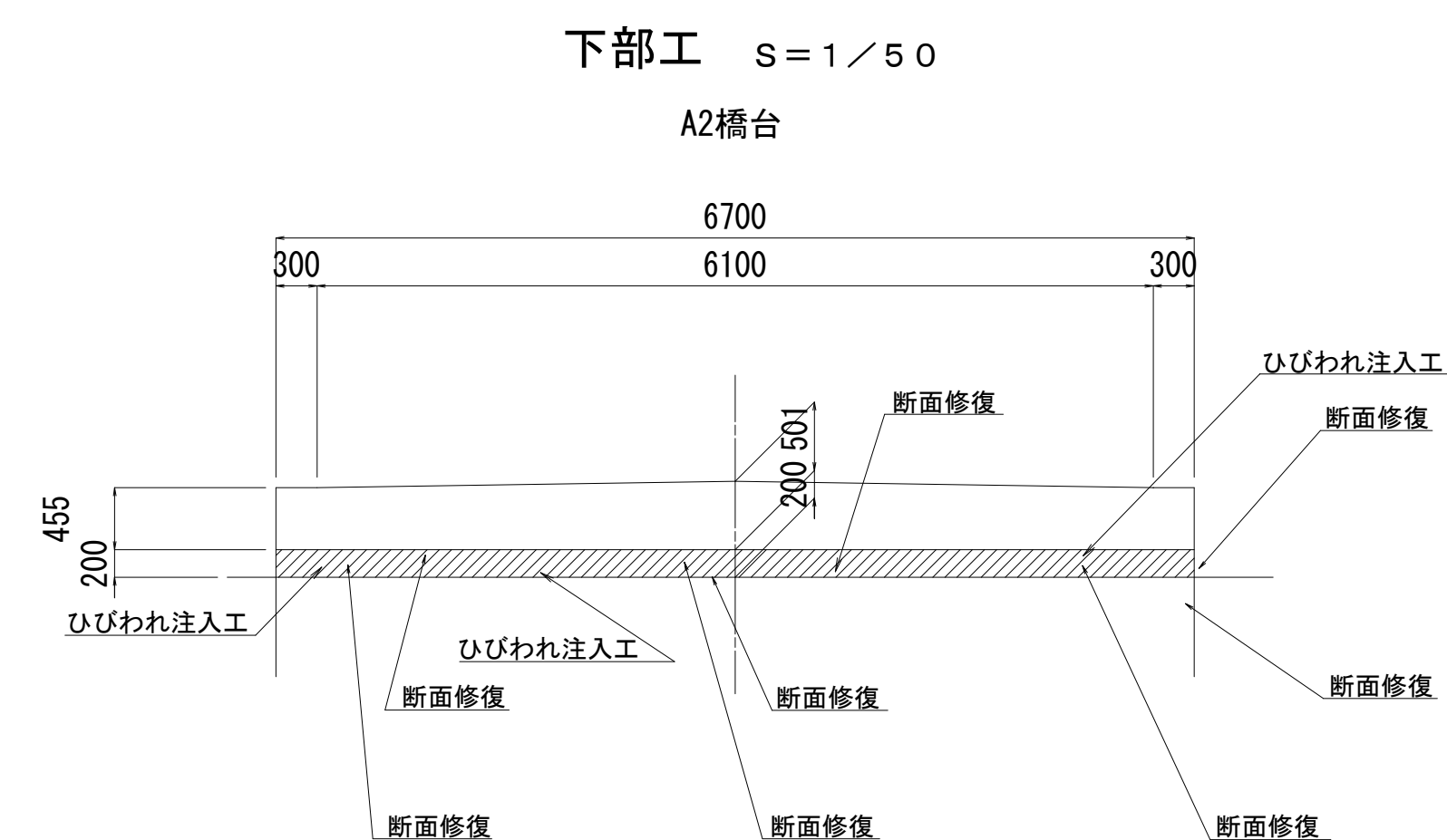
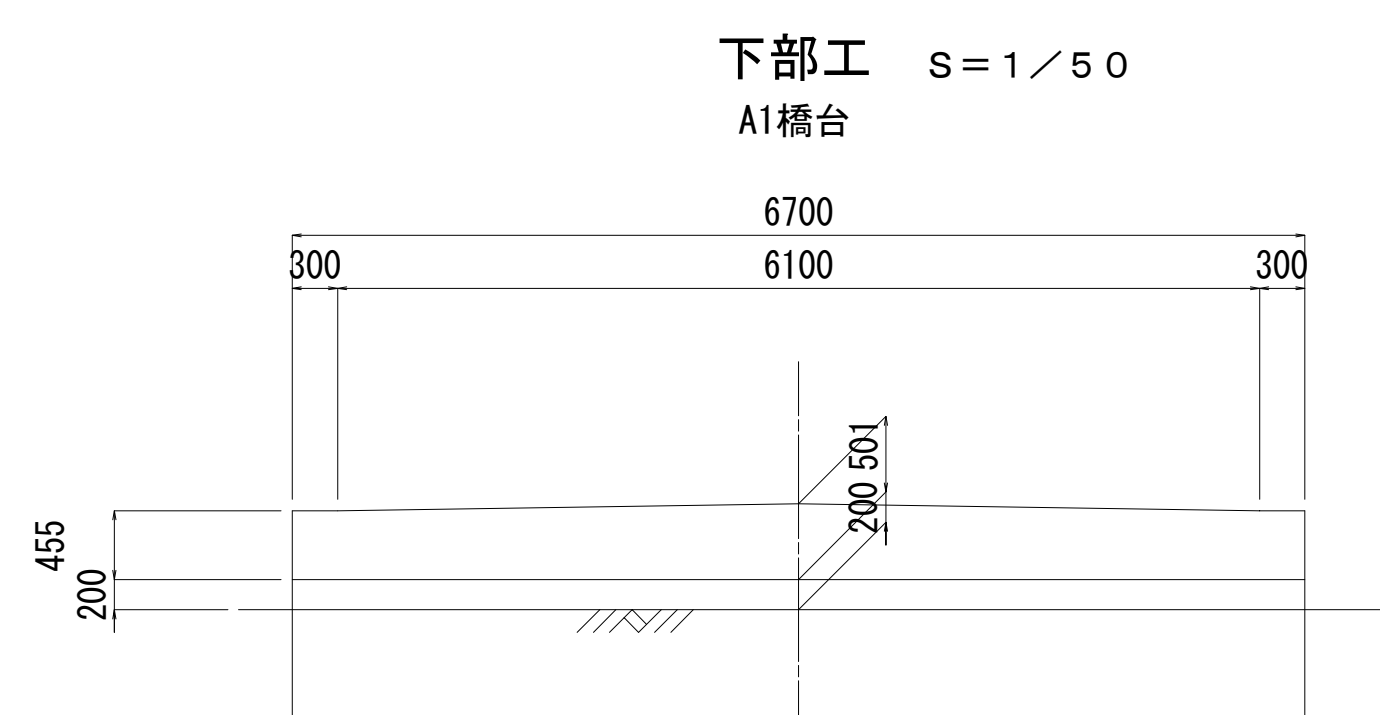
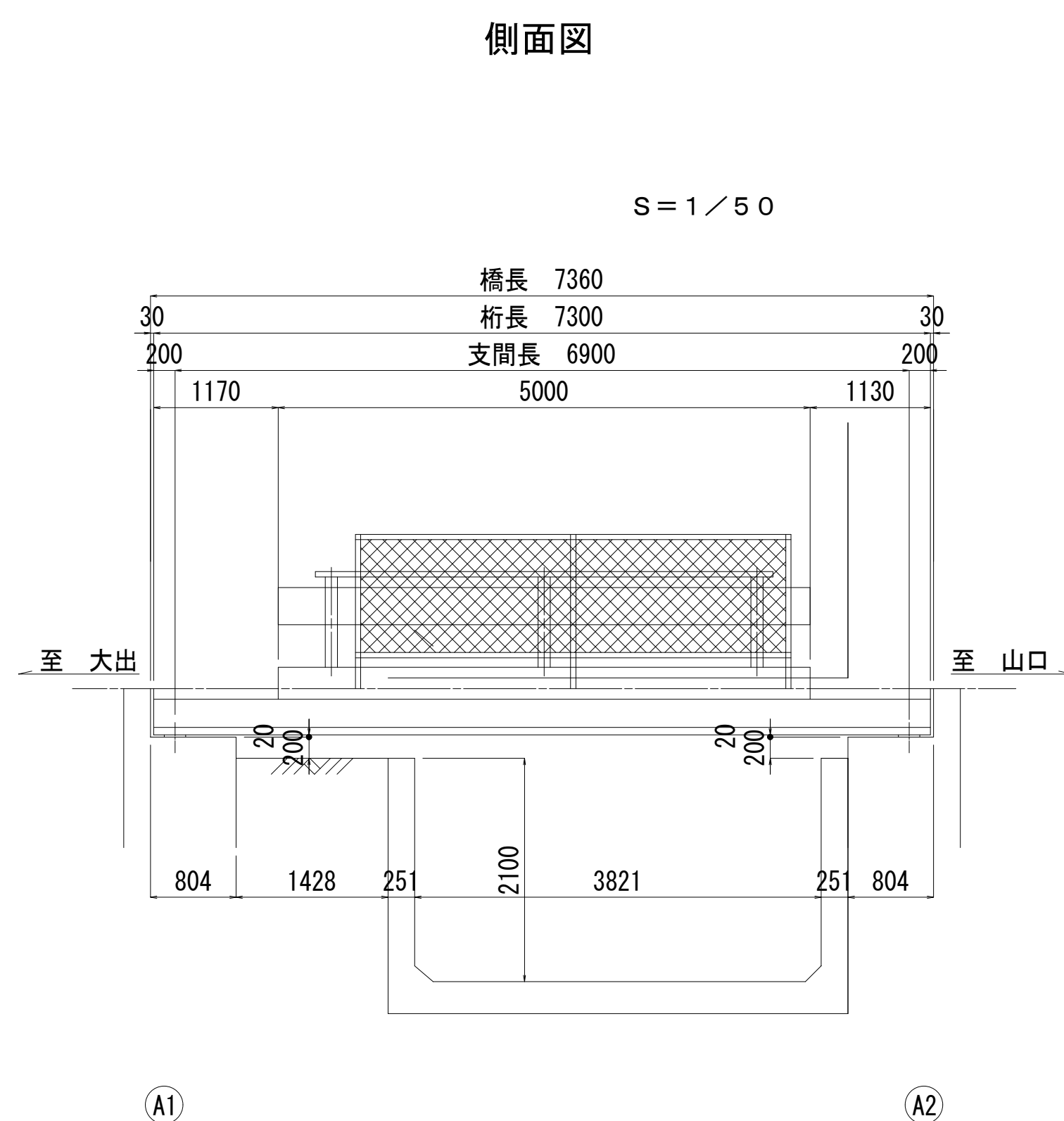
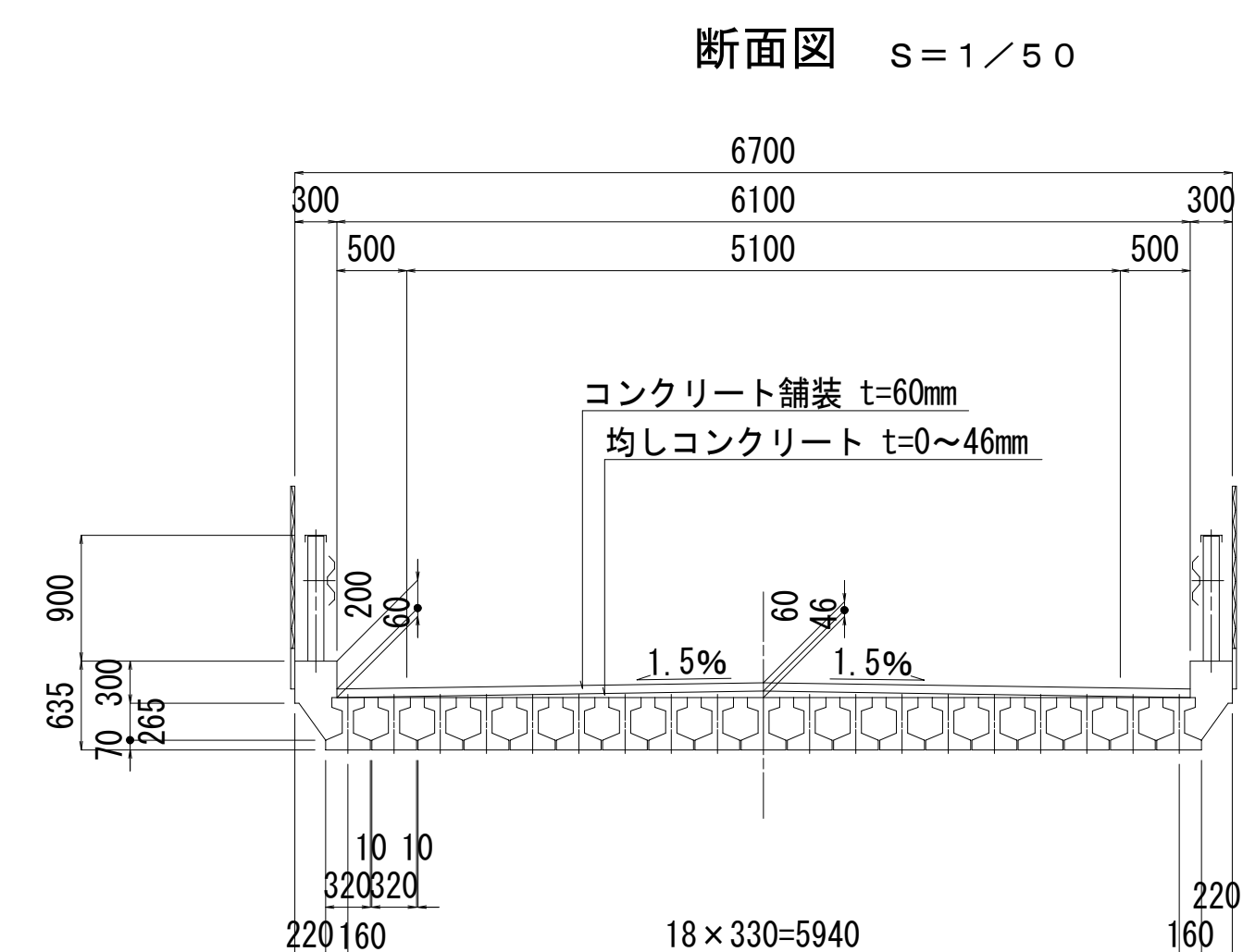
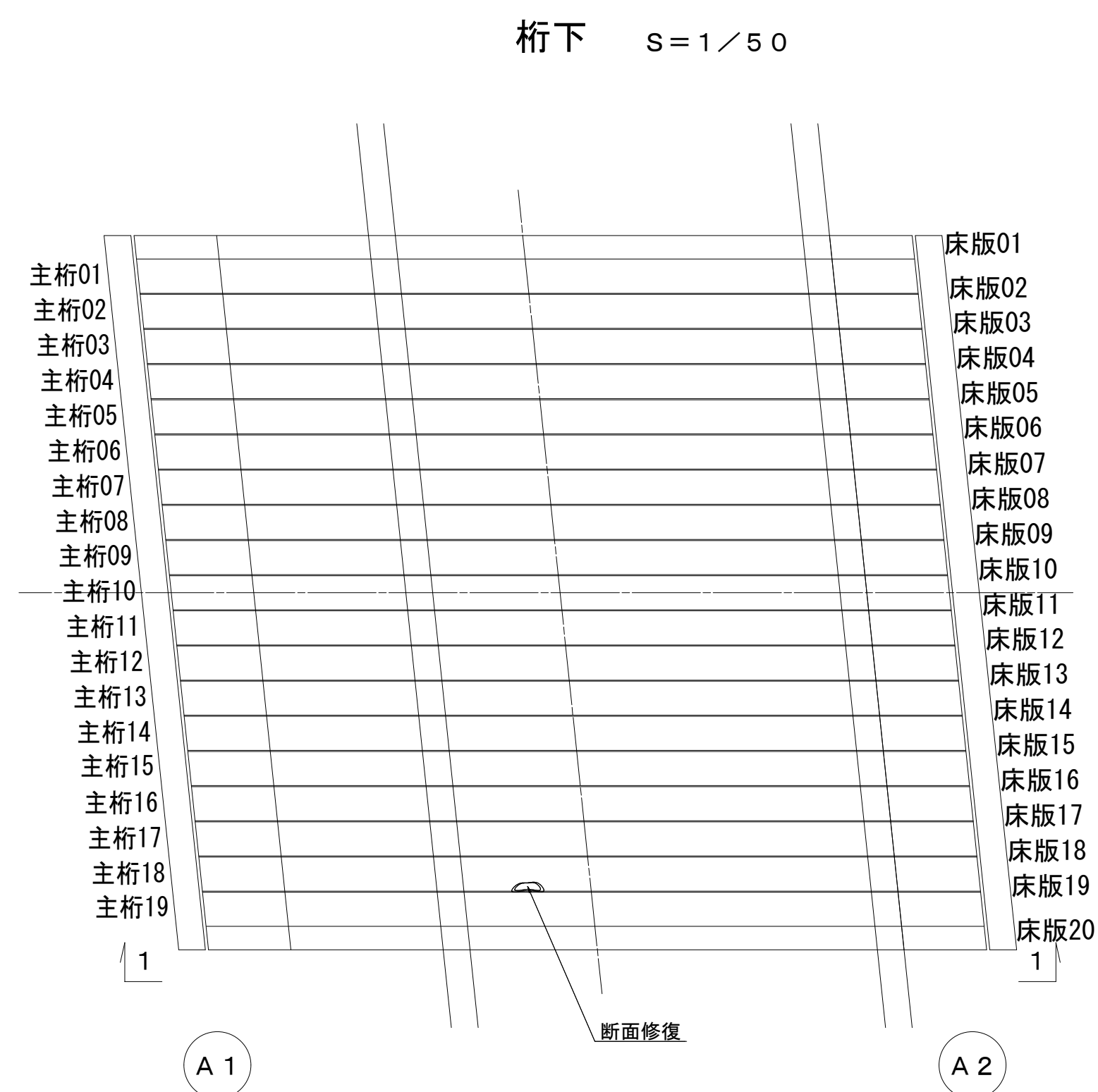
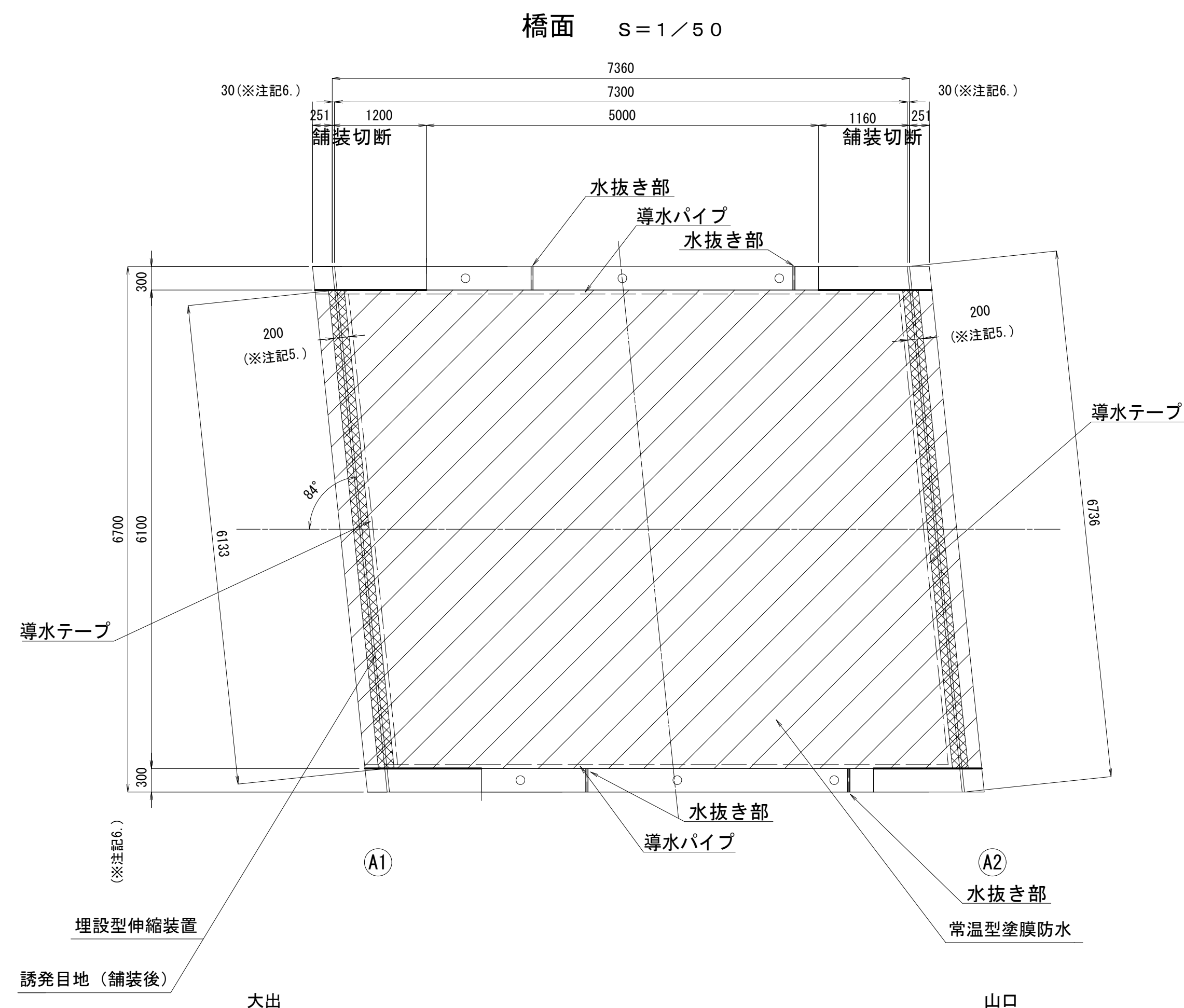
ひびわれ充填工詳細図 S = 1 /  
(ひびわれ幅0.5mm以上)



- 注記) 1. 補修対象は0.2mm以上のひびわれとする。  
2. ひびわれ幅0.5mm未満はひびわれ注入工、ひびわれ幅0.5mm以上はひびわれ充填工とする。  
3. 施工に際しては、ひびわれ幅、ひびわれ長さを実測の上、計上のこと。  
4. 施工方法は、現地実測の上決定のこと。

令和2年度 社会資本整備総合交付事業 橋梁修繕工事				
番号	11/21	西天4号橋補修図 その3	縮尺	図示
町道1号線他				
箕輪町 西開橋他3橋				
所長	課長	照査	設計	
箕輪町役場 建設課				
設計会社	(株) エース	管理技術者	赤羽 千男	
		照査技術者	治郎丸 啓	
測量会社		主任技術者		
調査会社		主任技術者		

## 西天8号橋補修概要図

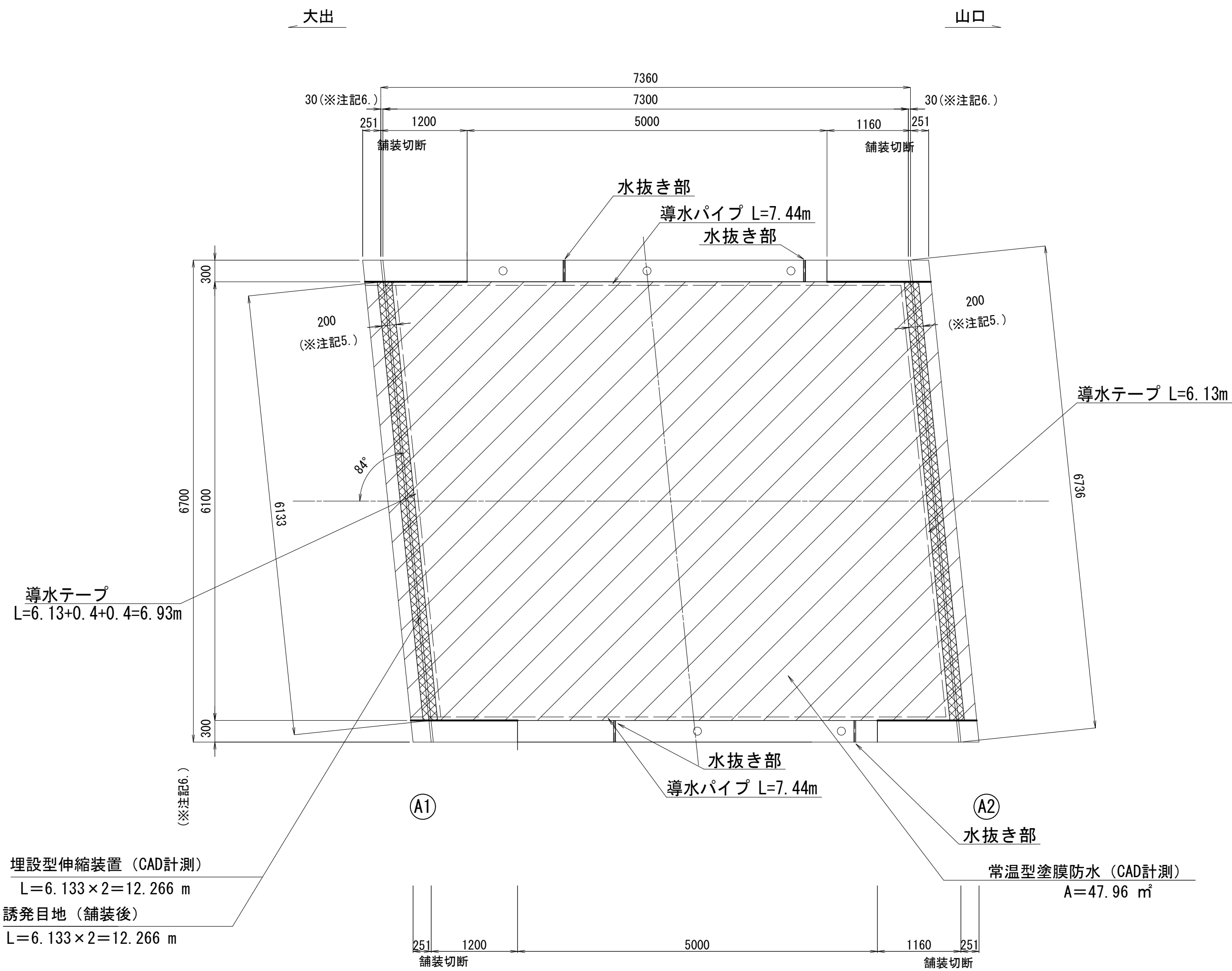


設 計 条 件	
橋 種	プレキャストＰＣ床版橋
架 設	不明
橋 格	不明
橋 長	7.360 m
桁 長	7.300 m
支 間 長	6.900 m
幅員構成	0.30+6.10+0.30=6.70 m
勾 配	横断勾配：1.5%直線 縦断勾配
設計荷重	主荷重 100% 添架物荷重 一
地震係数	水平震度 kh=
斜 角	$\theta=90^{\circ}$

令和1年度 社会実習組織総合交付金事業 集積修工事				
番号	12/1	西天寺橋補修要図	縮尺	図示
町道1号線他				
箕輪町 西開橋他3橋				
所長		課長	照査	設計
箕輪町役場 建設課				
設計会社	(株) エース	管理技術者	赤羽 千	
測量会社		照査技術者	治郎丸	
調査会社		主任技術者		
		主任技術者		

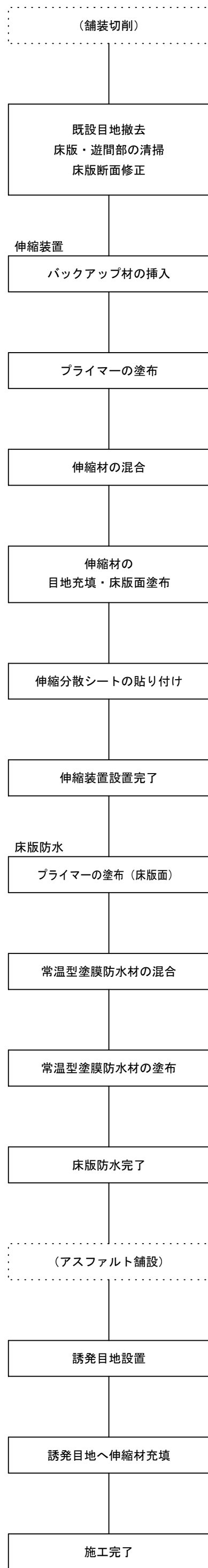
## 西天8号橋補修図その1

平面图



名称	計算式	単位	数量
埋設型伸縮装置		m	12.266
常温型塗膜防水		m <sup>2</sup>	47.96

## 施工フロー図



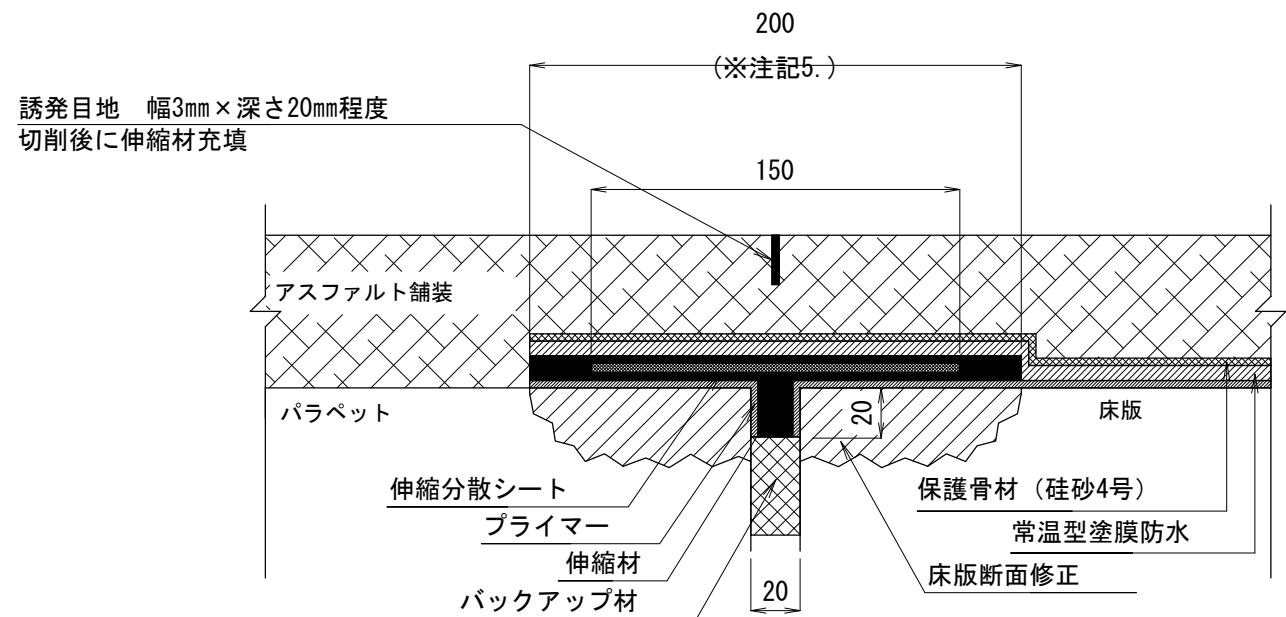
※施工前、各工種とも現地詳細調査を実施し施工寸法及び数量を確定すること。

## 伸縮装置及び床版防水の一体化工法詳細図

伸縮装置材料表 <補修>		1 m当たり		
名 称	材 質	単 位	数 量	備 考
伸縮材	主 剤：ゴムアスファルト乳剤 硬化剤：ウレタン樹脂化合物	kg	1.00	約25%含む
伸縮材（誘発地目）	同 上	kg	0.06	約20%含む
プライマー	シリコーン系化合物	kg	0.045	約20%含む
伸縮分散シート	アスファルトメッシュシート	m	1.10	約10%含む
バックアップシート	汎用ポリエチレンシート	m	0.55	約10%含む

※伸縮材は常温型塗膜防水と一体化する同系材料。  
※バックアップ材は適宜切断して使用する（1本2mが4m相当）

### 伸縮装置断面図



※注記

- 伸縮装置設置工の数量は、調査結果を元に算出している。施工に際しては現場状況に合わせて適宜変更のこと
- 伸縮性及び止水性を有する処理を目的とするため、伸縮性を確認できる材料を選定のこと  
下記に参考仕様を示す

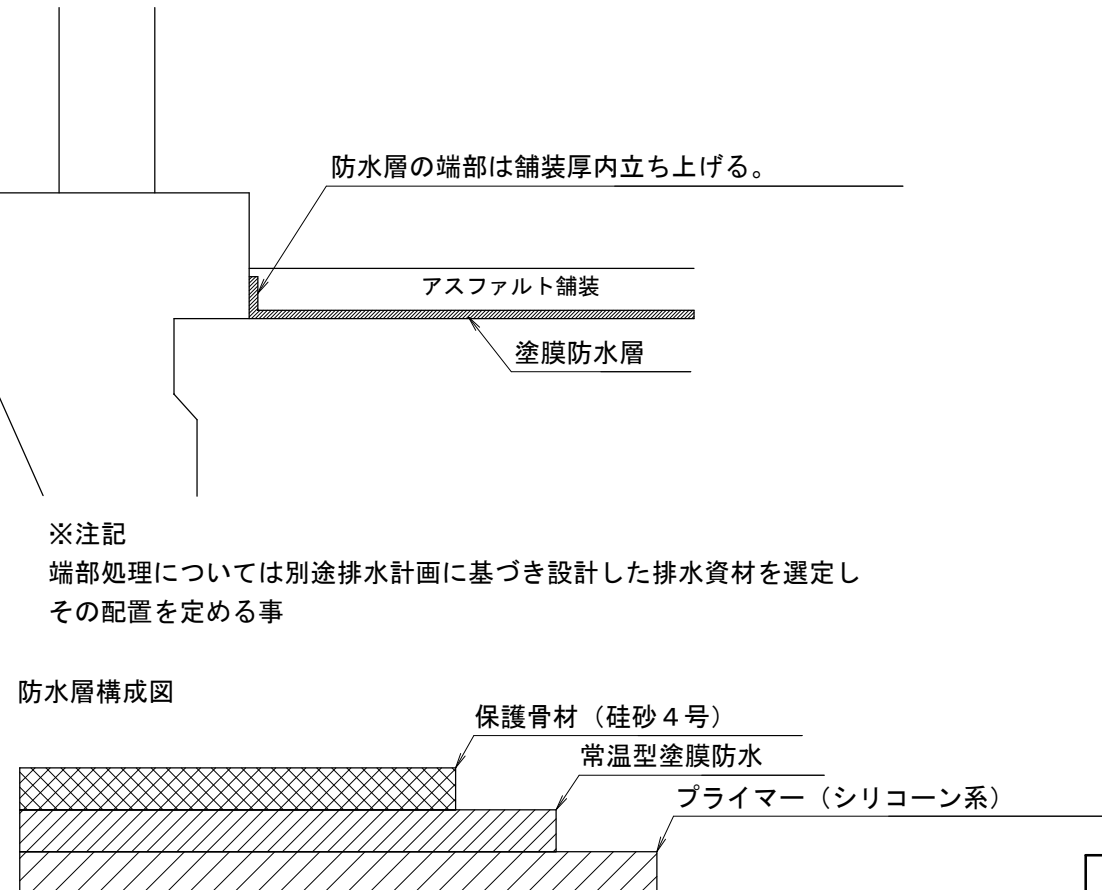
一体化	遊間部止水層が床版防水層と一体化した伸縮装置として機能すること	
伸縮追従性	±4mm繰り返して剥離・破損がないこと	6000回
	±10mm繰り返して剥離・破損がないこと	15回

3. 伸縮剤は、現場条件への対応性が良好なことから、ウレタン系ゴムアスファルト乳剤を選定している
4. 伸縮剤との一体化のため、橋面防水工の材料にはウレタン系ゴムアスファルト乳剤を必ず使用すること
5. 設置面（W=200）の高さは、同レベルで不陸がない状態まで断面修正（レベル調整）されていること
6. 既設道間幅が適用範囲外の場合は、適用範囲まで道間幅を調整すること ※適用範囲：10～20mm
7. 板版断面修正の適用範囲はw200、t=30mmまでとする

常溫型塗膜防水材料表<補修>					1㎡当たり
名 称	材 質	単 位	数 量	備 考	
常溫型塗膜防水材	主 剤：ゴムアスファルト乳剤 硬化剤：ウレタン樹脂化合物	kg	1.50	0.25%含む	
プライマー	シリコーン系化合物	kg	0.18	0.20%含む	
保護骨材	珪砂 4号	kg	0.77	0.10%含む	

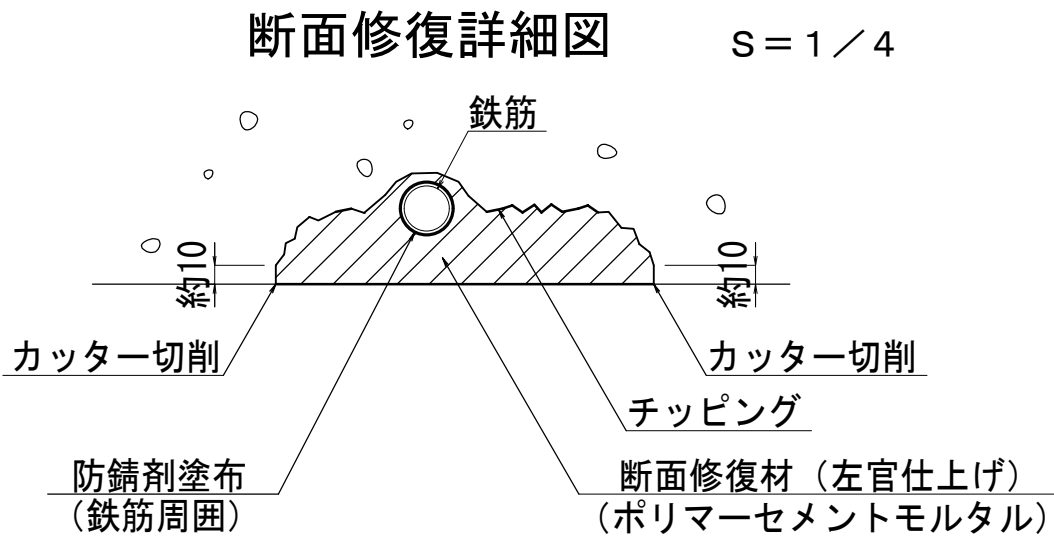
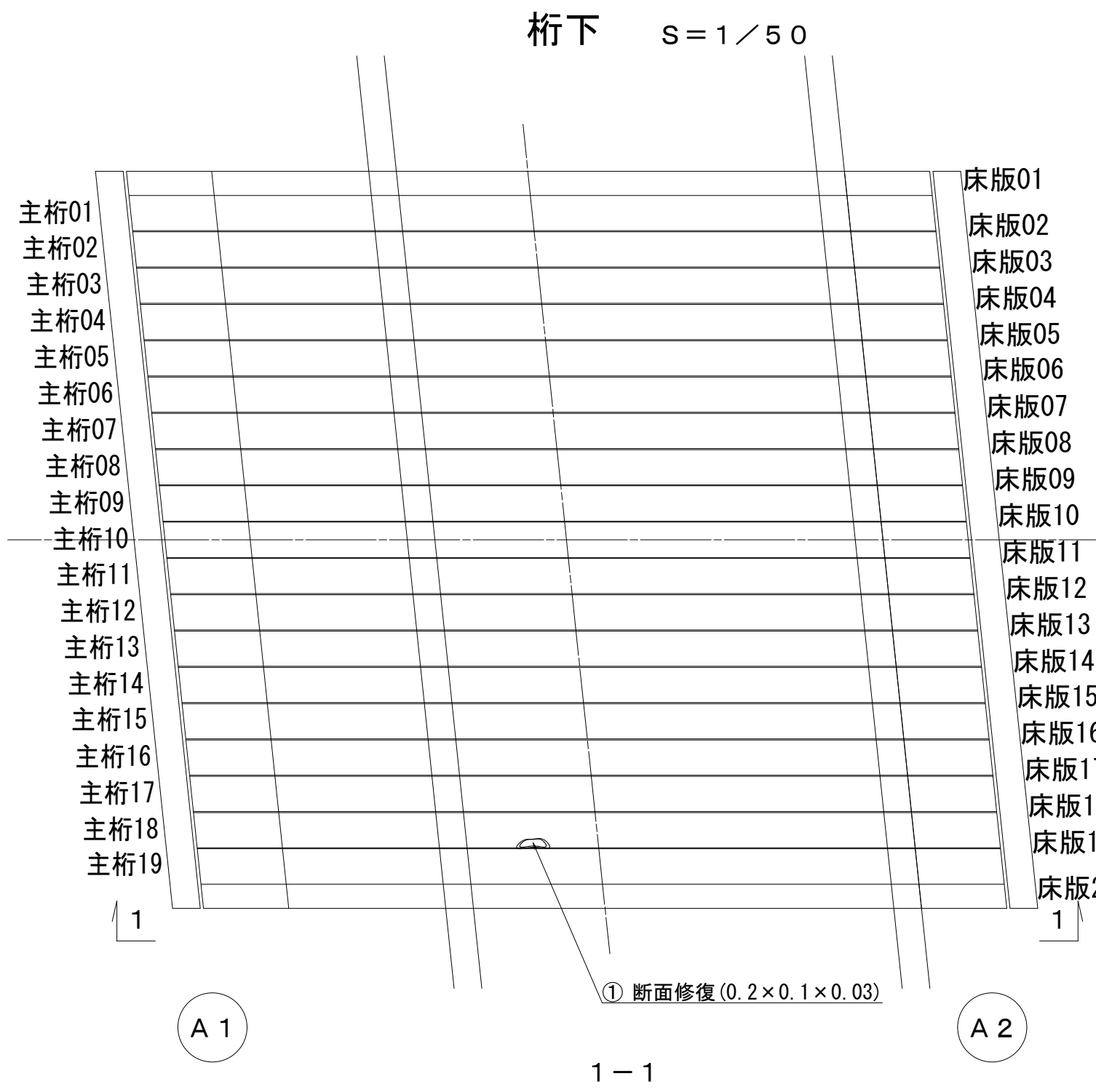
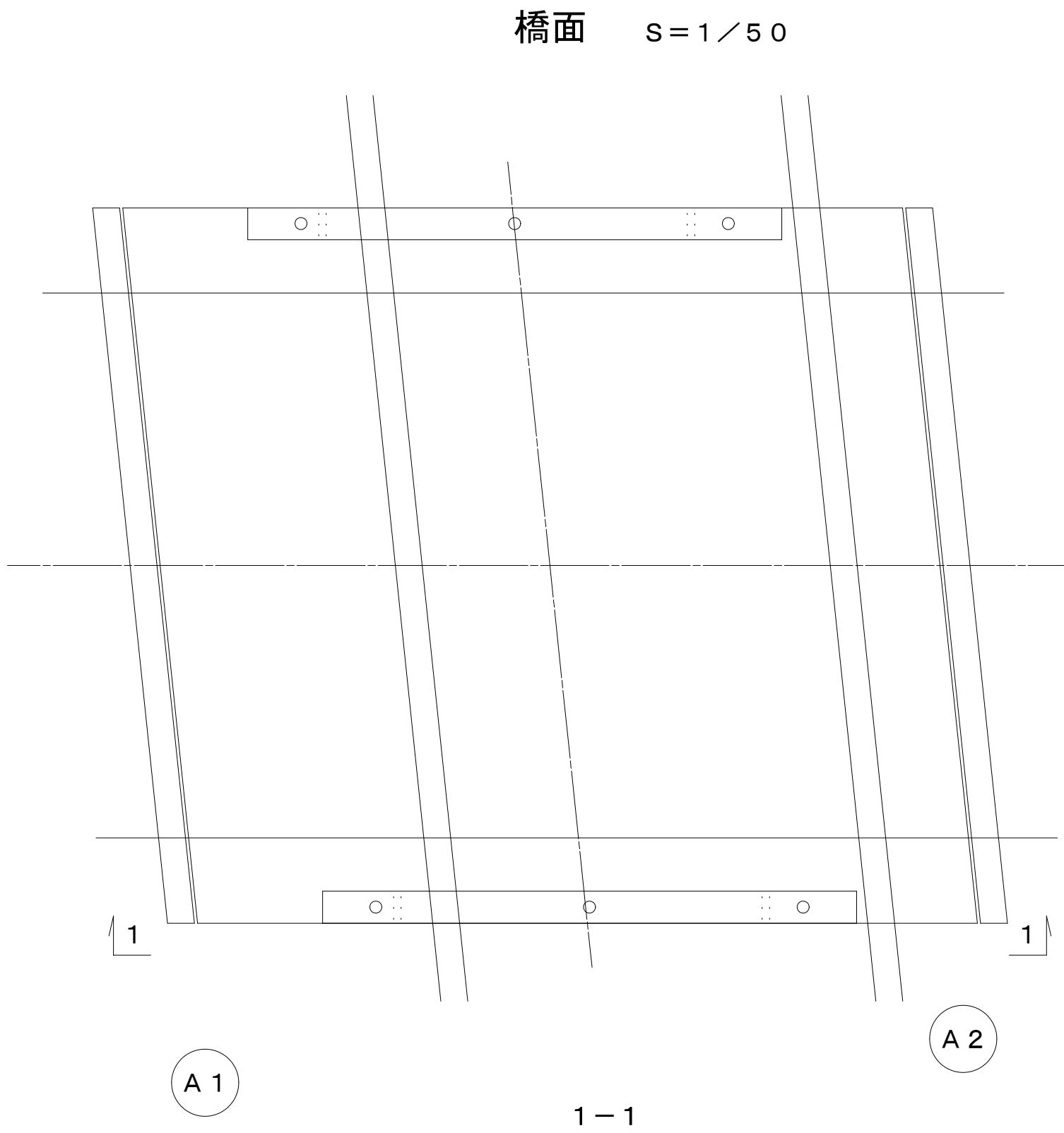
※常温型塗膜防水材は伸縮装置と一体化する同系材料。

## 防水層詳細図



令和2年度 社会資本整備総合交付事業 橋梁補修工事			
番号	13/21	西天8号橋補修工事の1	縮尺 1/50
<div style="text-align: center;"> <b>町道1号線他</b>  <b>箕輪町 西開橋他3橋</b> </div>			
所長	課長	照査	設計
<div style="text-align: center;"> <b>箕輪町役場 建設課</b> </div>			
設計会社	(株)エース	管理技術者	赤羽 千男
測量会社		照査技術者	佐郎丸 啓
調査会社		主任技術者	

西天8号橋補修図その2



断面修復集計表

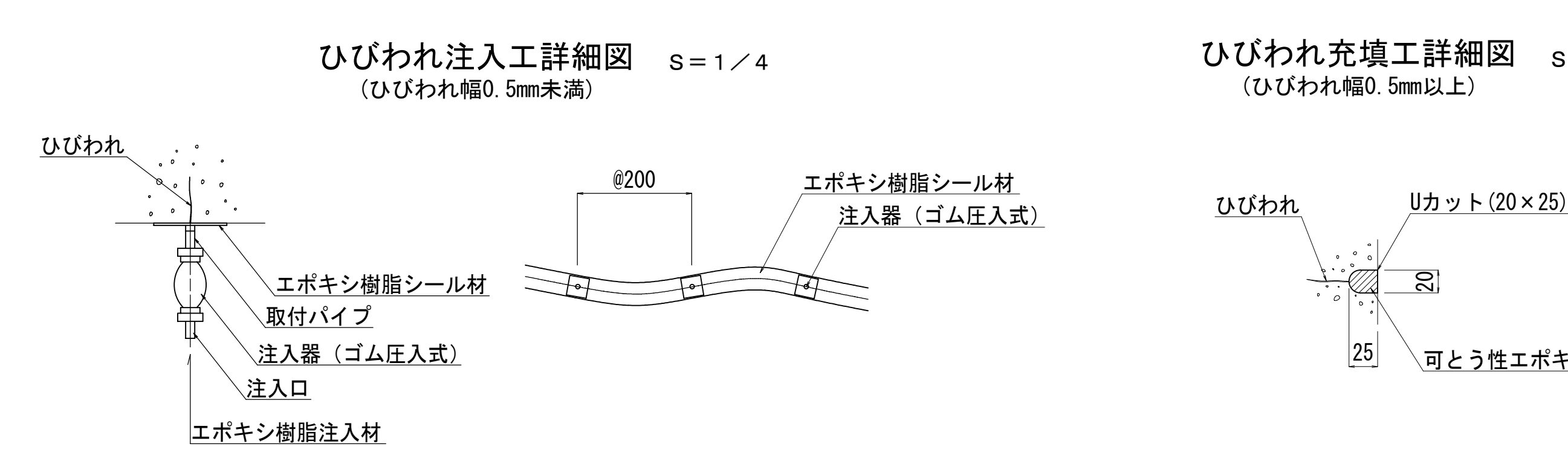
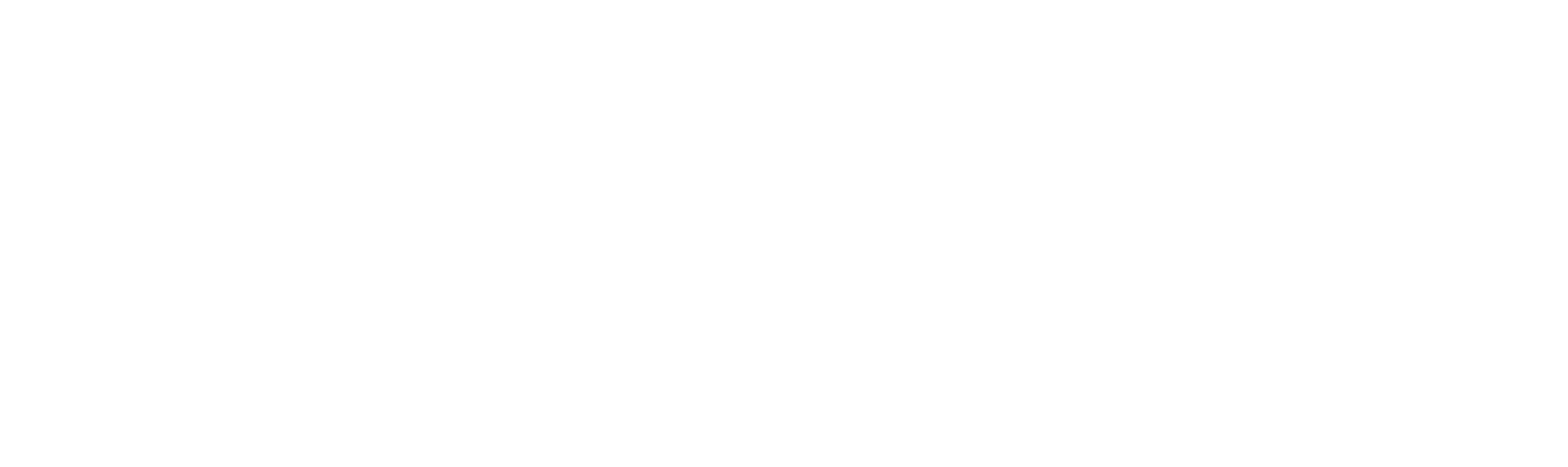
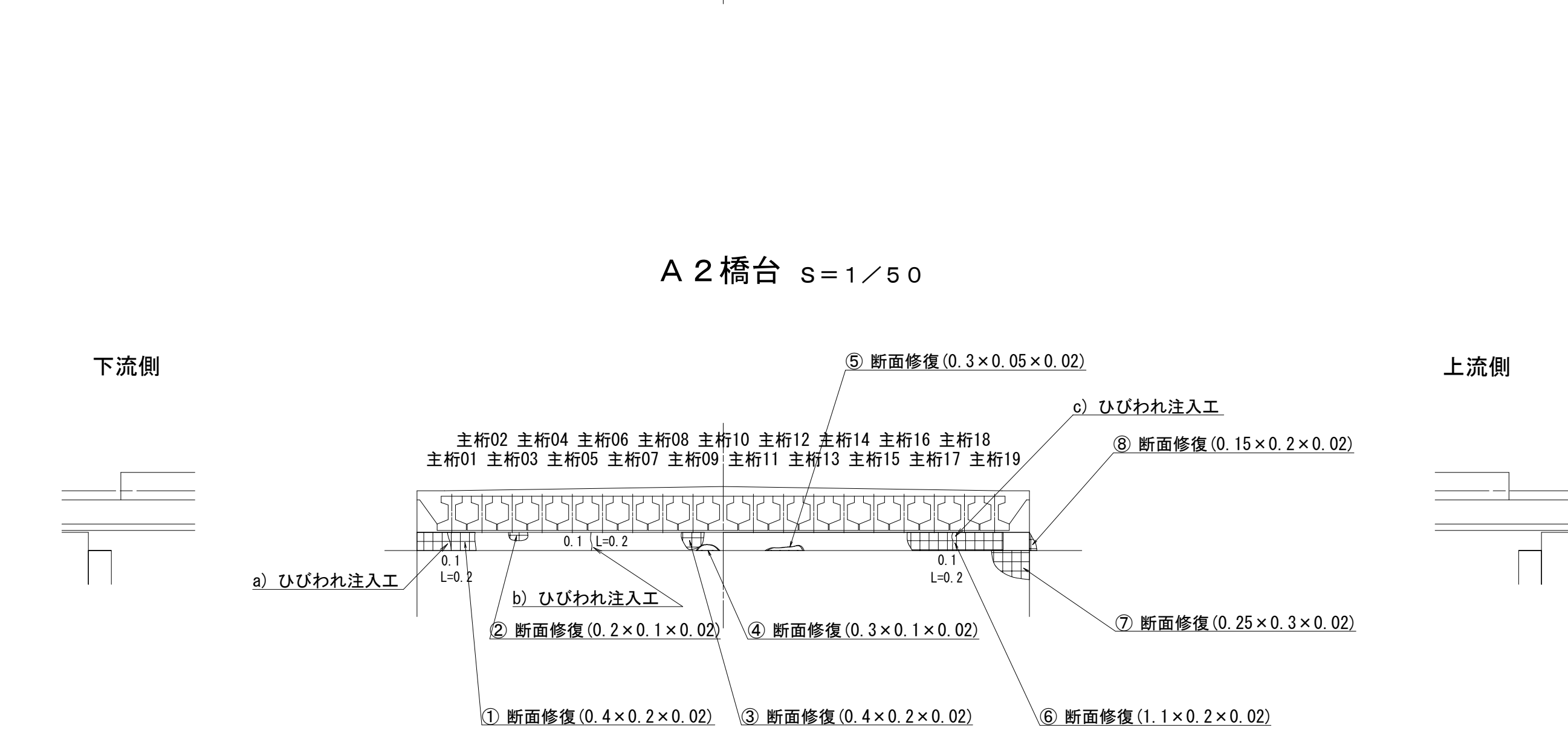
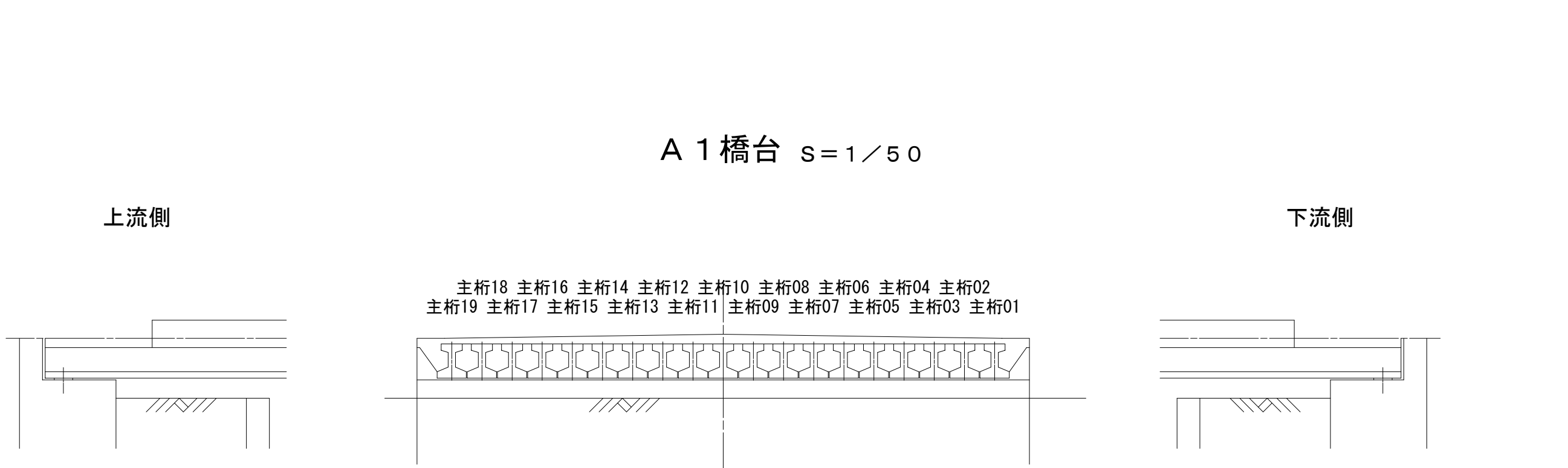
番号	幅 (m)	高さ (m)	箇所数	面積 (m2)	厚さ (m)	体積 (m3)
1	0.20	0.10	1	0.020	0.03	0.0006
合計				0.020		0.0006

令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事					
番号	14/21	西天8号橋補修図その2	縮尺	図示	
町道1号線他					
箕輪町 西開橋他3橋					
所長	課長	照査	設計		
箕輪町役場 建設課					
設計会社	(株)エース	管理技術者	赤羽 千男		
		照査技術者	治郎丸 啓		
測量会社		主任技術者			
調査会社		主任技術者			

注記) 1. 施工手法は、現地実測の上決定のこと。



西天8号橋補修図その3

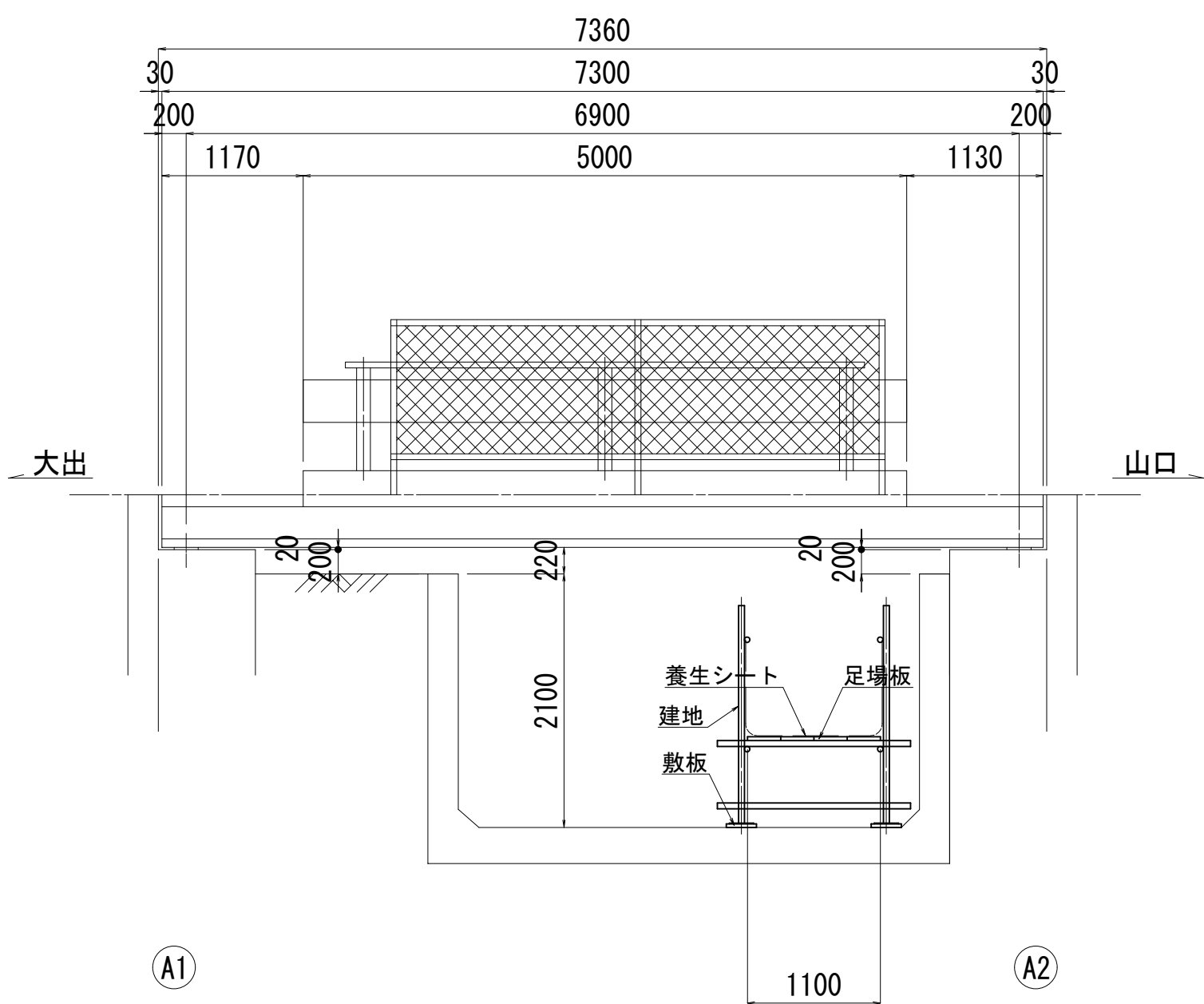


注記) 1. 補修対象は0.2mm以上のひびわれとする。  
2. ひびわれ幅0.5mm未満はひびわれ注入工、ひびわれ幅0.5mm以上はひびわれ充填工とする。  
3. 施工に際しては、ひびわれ幅、ひびわれ長さを実測の上、計上のこと。  
4. 施工寸法は、現地実測の上決定のこと。

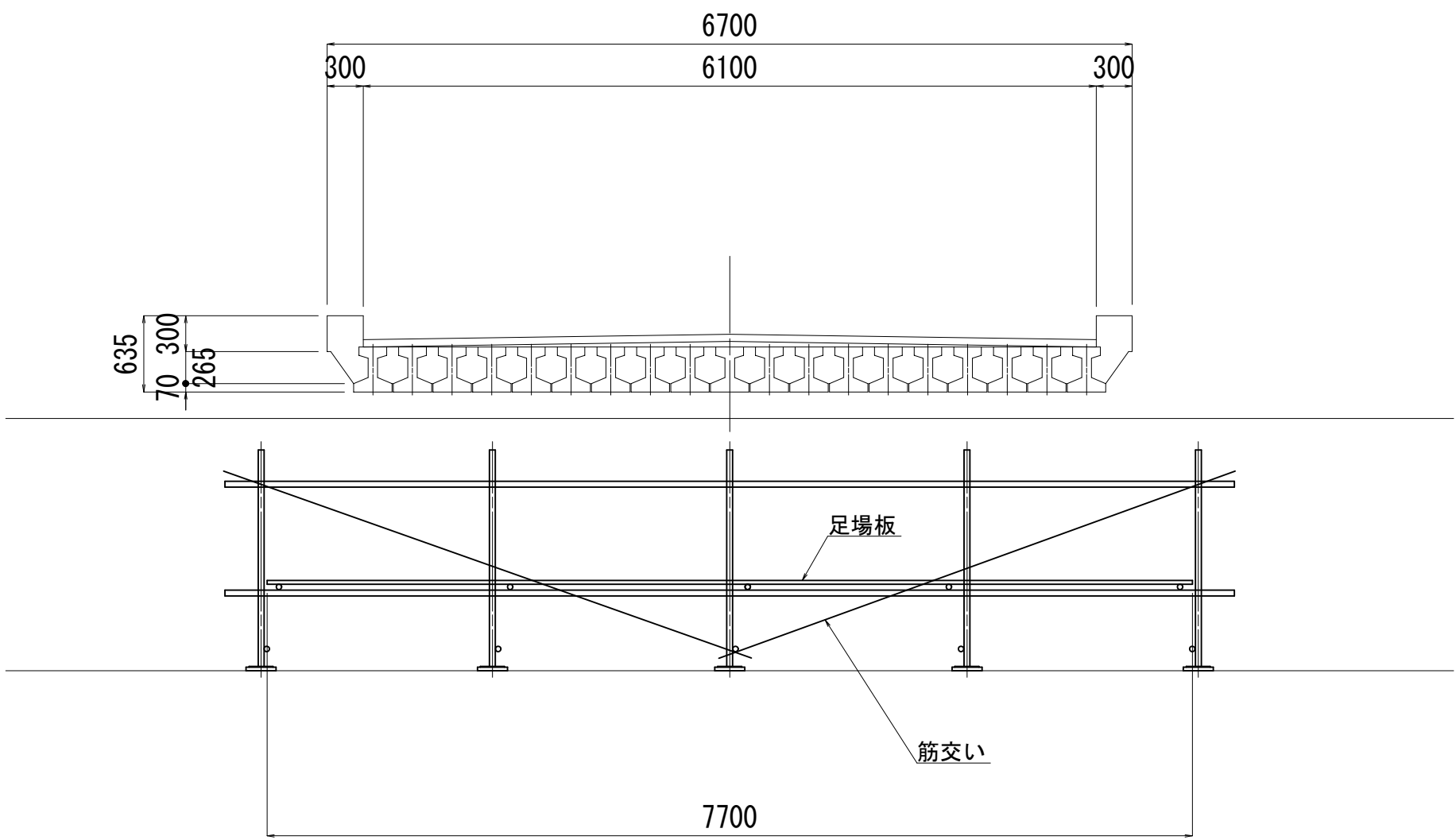
令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事					
番号	15/21	西天8号橋補修図その3		縮尺	図示
町道1号線他 箕輪町 西開橋他3橋					
所長	課長	照査	設計		
箕輪町役場 建設課					
設計会社	(株)エース	管理技術者	赤羽 千男		
		照査技術者	治郎丸 啓		
測量会社		主任技術者			
調査会社		主任技術者			

西天8号橋足場図

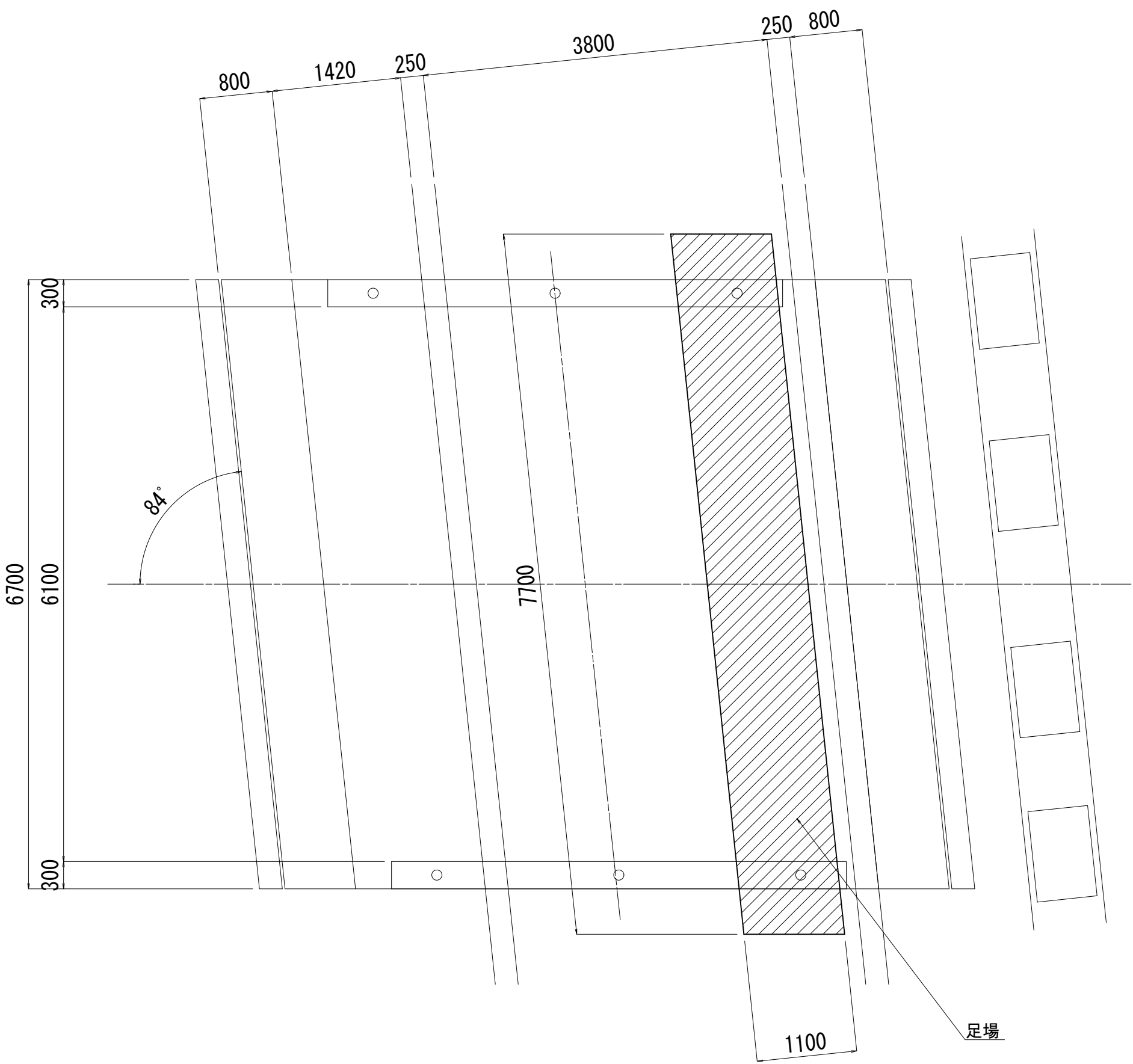
側面図 S = 1 / 5 0



断面図 S = 1 / 5 0

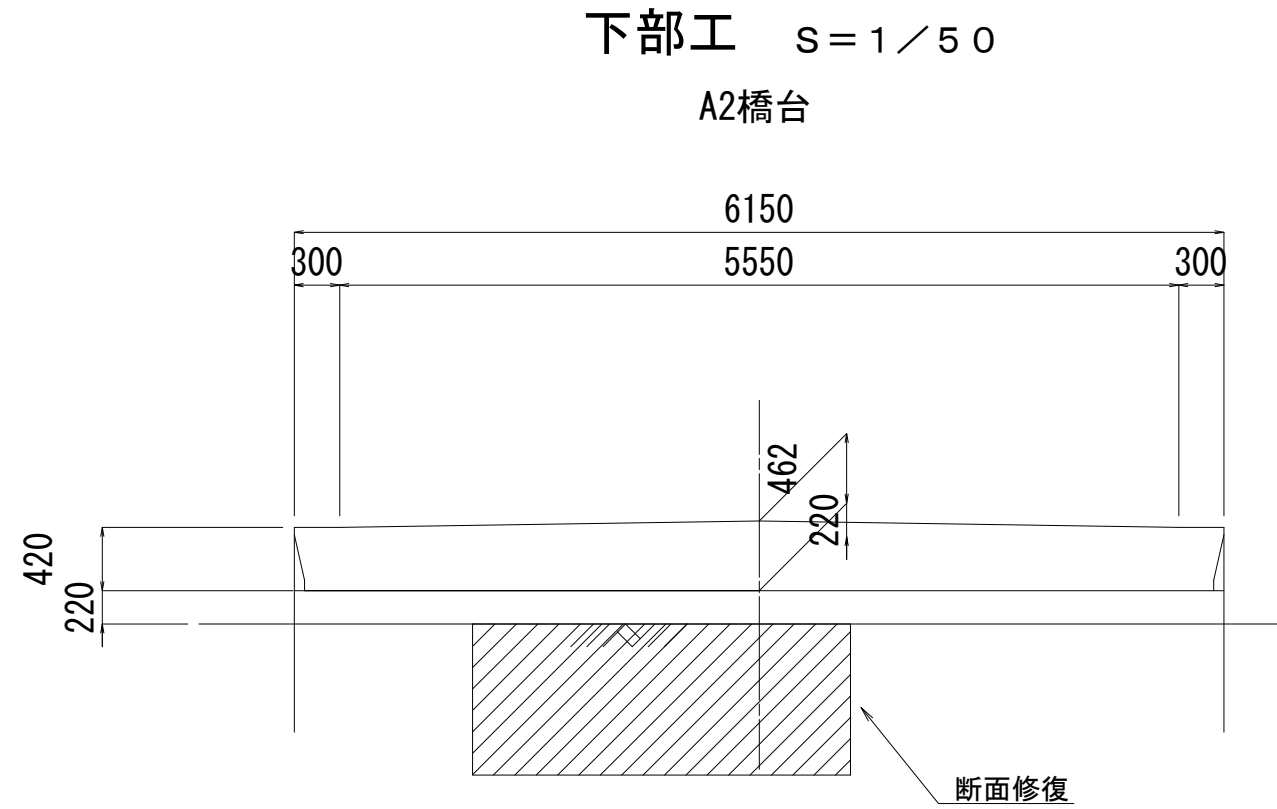
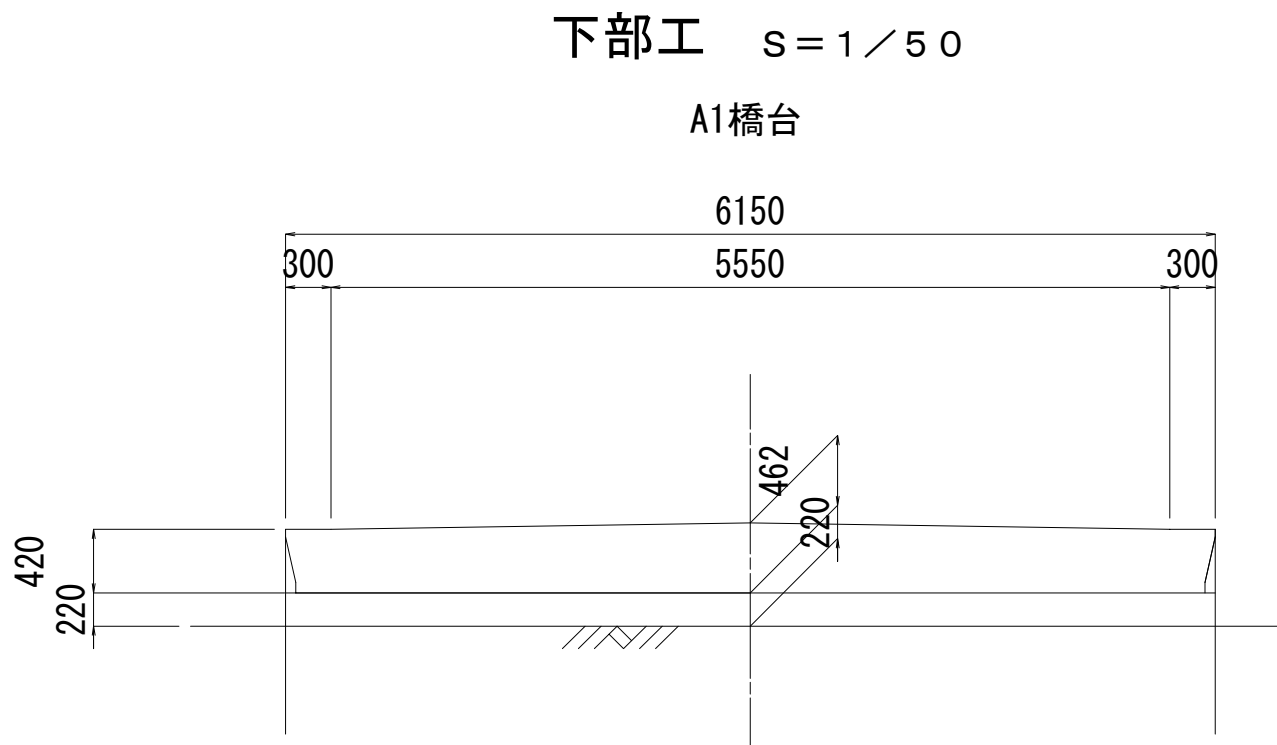
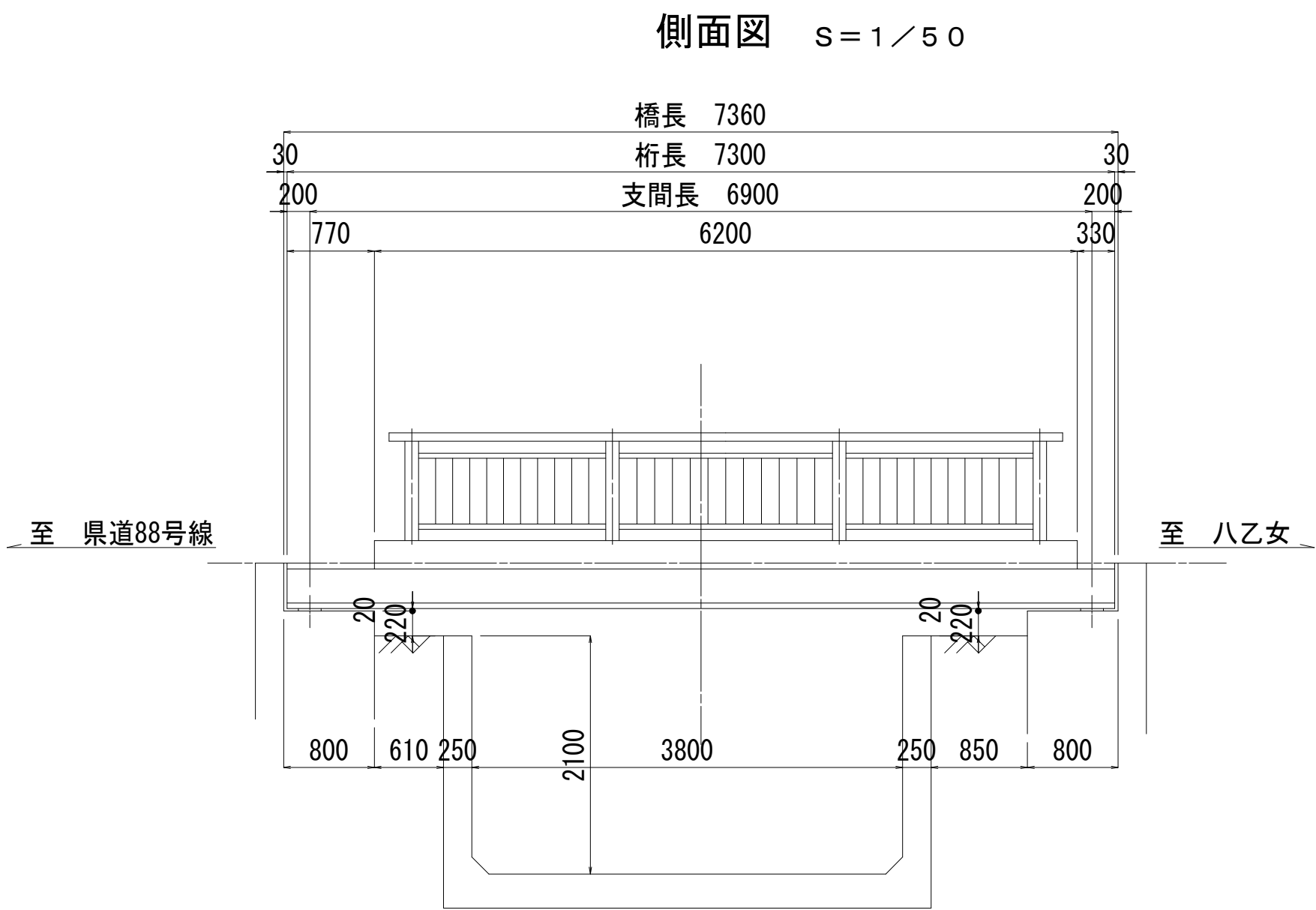
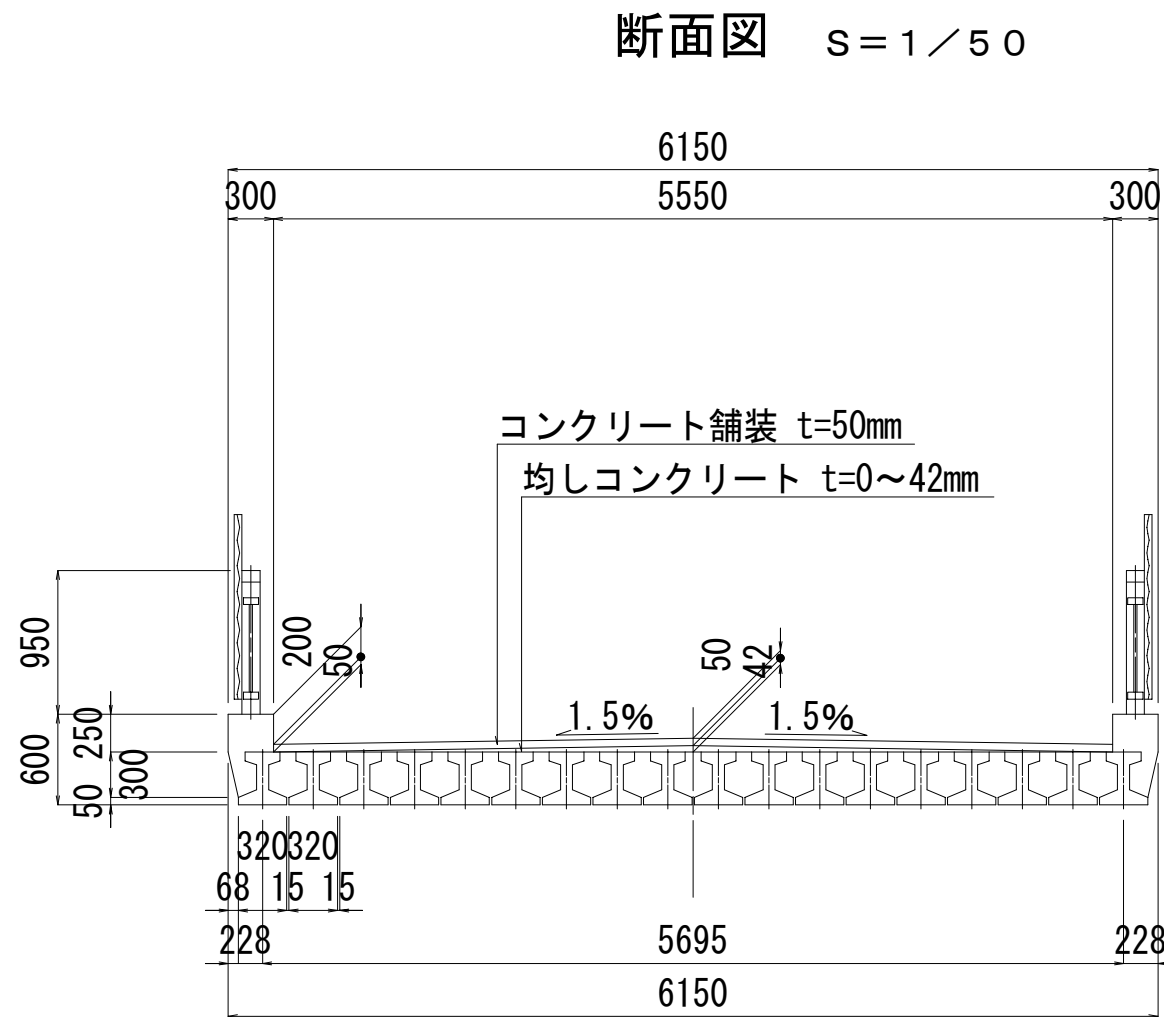
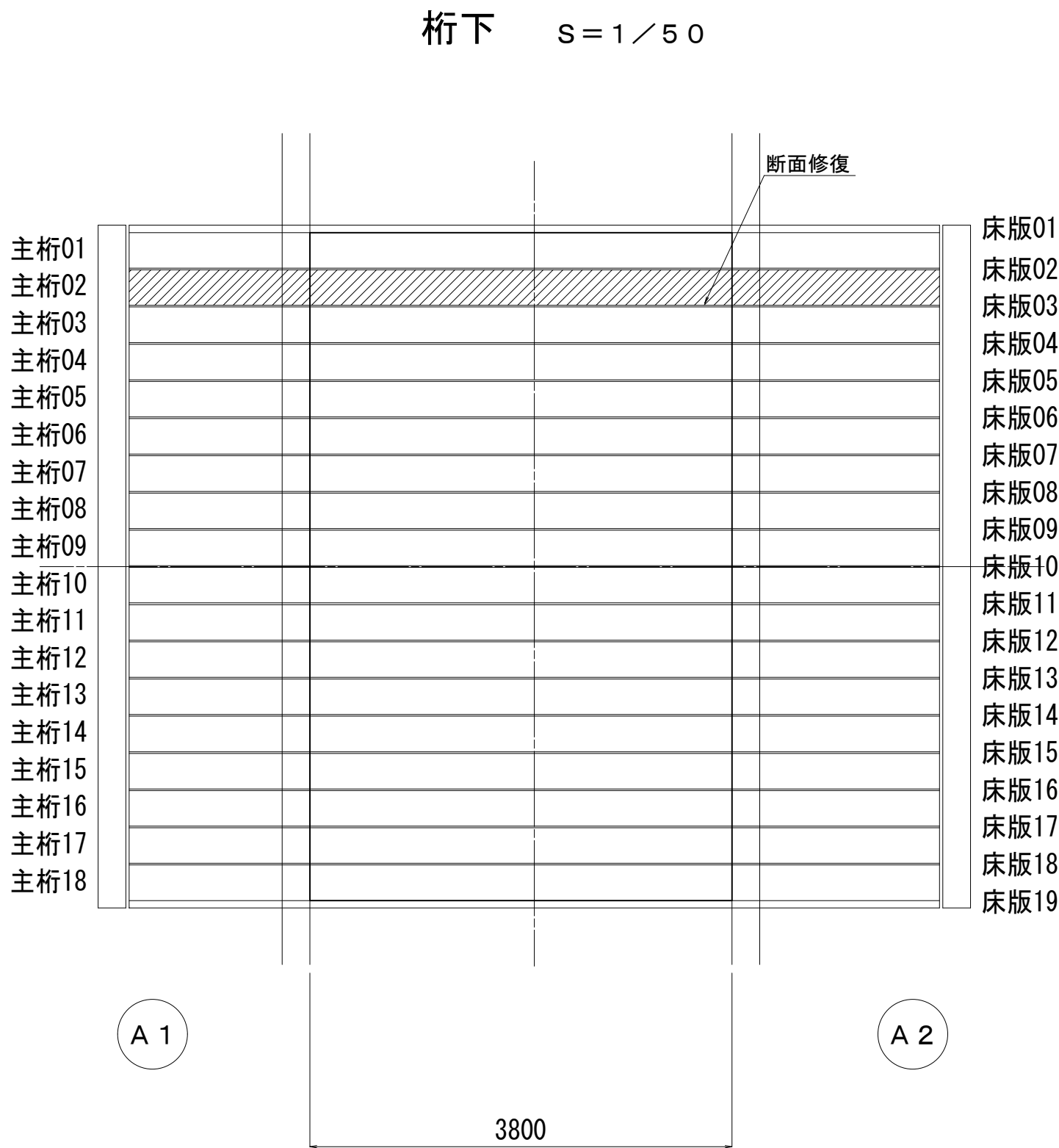
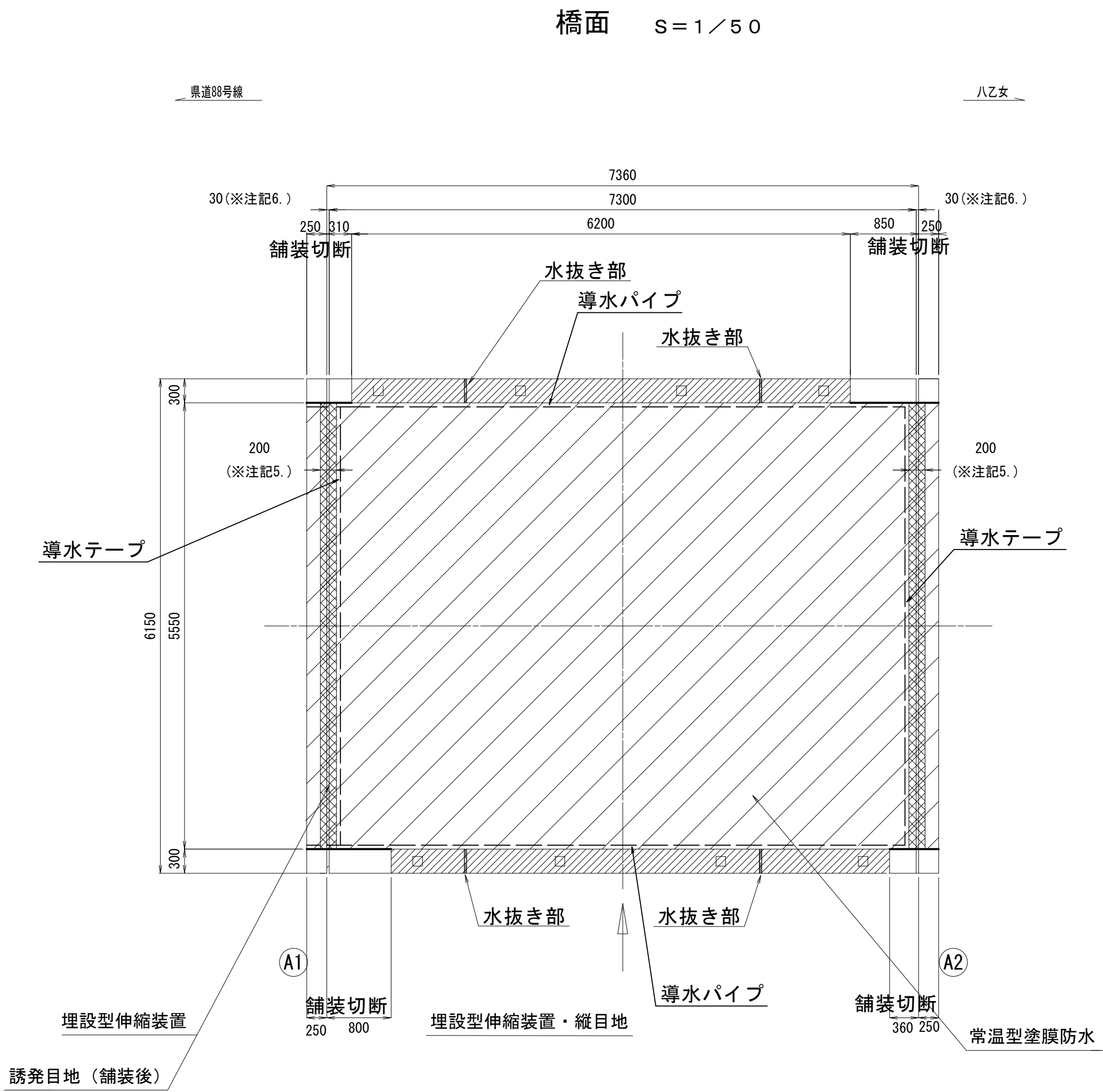


平面図 S = 1 / 5 0



令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事				
番号	16/21	西天8号橋足場図	縮尺	図示
町道1号線他				
箕輪町 西開橋他3橋				
所長	課長	照査	設計	
箕輪町役場 建設課				
設計会社	(株)エース	管理技術者	赤羽 千男	
		照査技術者	治郎丸 啓	
測量会社		主任技術者		
調査会社		主任技術者		

西天10号橋補修概要図

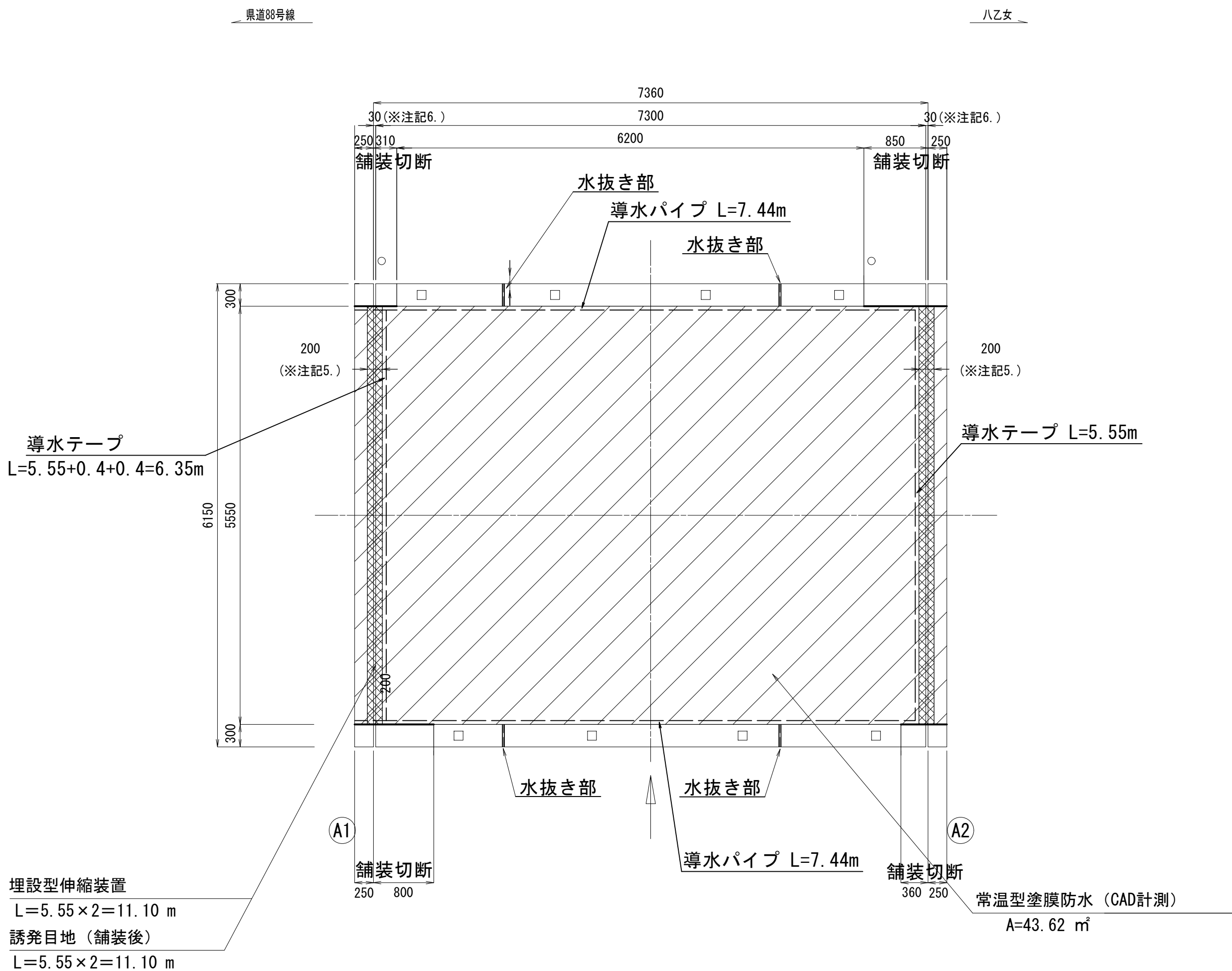


設計条件 <sup>①</sup>	
橋種	プレキャストPC床版橋
架設	不明
橋格	不明
橋長	7.360 m
桁長	7.300 m
支間長	6.900 m
幅員構成	0.30+5.55+0.30=6.15 m
勾配	横断勾配：1.5%直線
	縦断勾配
設計荷重	主荷重 100%
	添架物荷重 —
地震係数	水平震度 kh=
斜角	$\theta=90^\circ$

令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事				
番号	17/21	西天10号橋補修概要図	縮尺	図示
町道1号線他				
箕輪町 西開橋他6橋(西天10号橋)				
所長	課長	照査	設計	
箕輪町役場 建設課				
設計会社	(株)エース	管理技術者	赤羽 千男	
		照査技術者	治郎丸 啓	
測量会社		主任技術者		
調査会社		主任技術者		

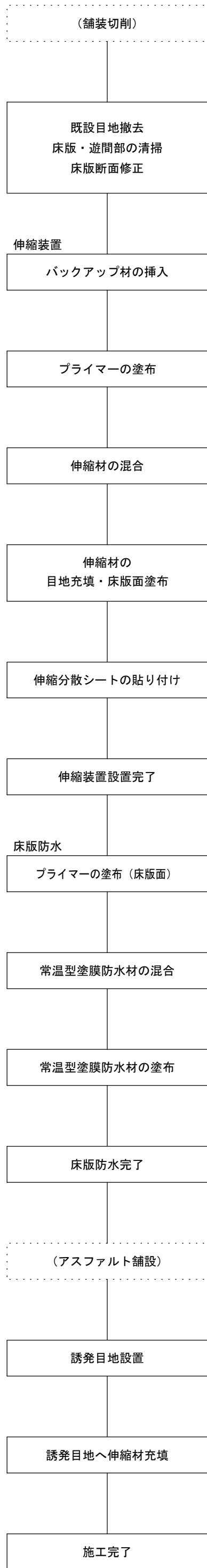
## 西天10号橋補修図その1

平面图



名称	計算式	単位	数量
埋設型伸縮装置	5.55+5.55	m	11.10
常温型塗膜防水		m <sup>2</sup>	43.62

## 施工フロー図



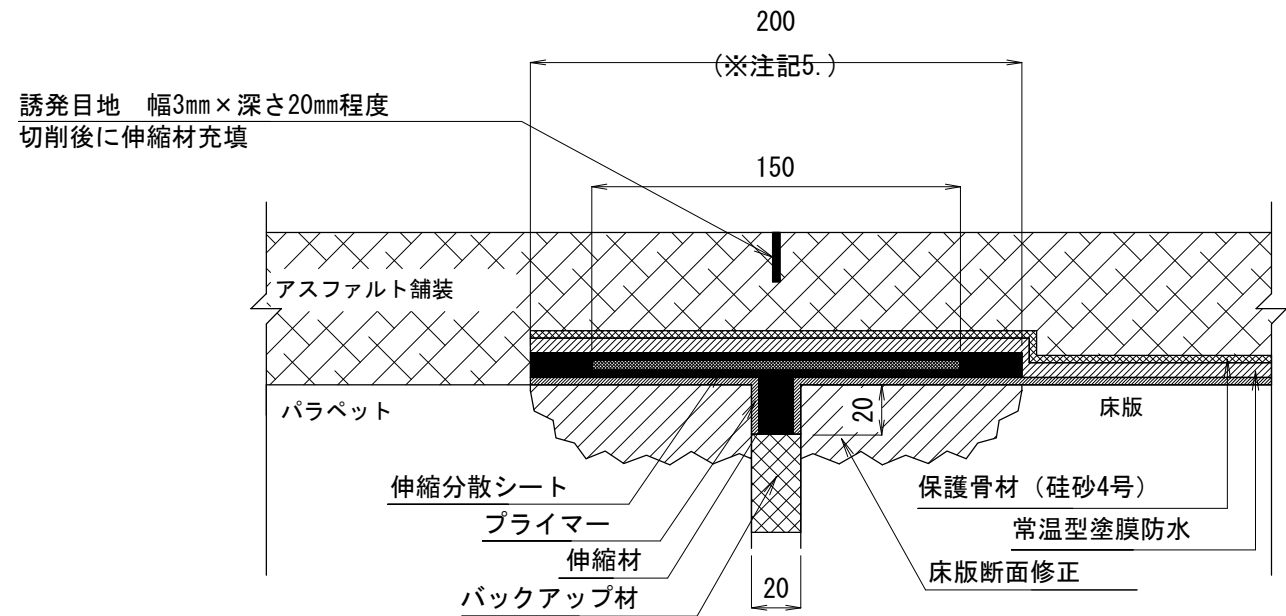
※施工前、各工種とも現地詳細調査を実施し施工寸法及び数量を確定すること。

## 伸縮装置及び床版防水の一体化工法詳細図

伸縮装置材料表 <補修>		1 m当たり		
名 称	材 質	単位	数量	備 考
伸縮材	主 剤：ゴムアスファルト乳剤 硬化剤：ウレタン樹脂化合物	kg	1.00	約25%含む
伸縮材（誘発地目）	同 上	kg	0.06	約20%含む
プライマー	シリコン系化合物	kg	0.045	約20%含む
伸縮分散シート	アスファルトメッシュシート	m	1.10	約10%含む
バックアップシート	汎用ポリエチレンシート	m	0.55	約10%含む

※伸縮材は常温型塗膜防水と一体化する同系材料。  
※バックアップ材は適宜切断して使用する（1本2mが4m相当）

### 伸縮裝置断面図



※注記

1. 伸縮装置設置工の数量は、調査結果を元に算出している。施工に際しては現場状況に合わせて適宜変更のこと
2. 伸縮性及び止水性を有する処理を目的とするため、伸縮性を確認できる材料を選定のこと  
下記に参考仕様を示す

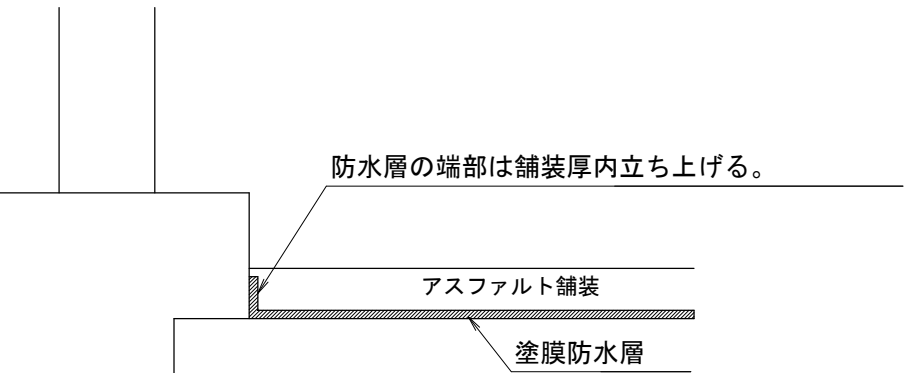
一体化	遊間部止水層が床防水層と一体化した伸縮装置として機能すること	
伸縮追従性	±4mm繰り返して剥離・破損がないこと	6000回
	±10mm繰り返して剥離・破損がないこと	15回

3. 伸縮剤は、現場条件への対応性が良好なことから、ウレタン系ゴムアスファルト乳剤を選定している
4. 伸縮剤との一体化のため、橋面防水工の材料にはウレタン系ゴムアスファルト乳剤を必ず使用すること
5. 設置面（W=200）の高さは、同レベルで不陸がない状態まで断面修正（レベル調整）されていること
6. 既設設置間幅が適用範囲外の場合は、適用範囲まで中間幅を調整すること ※適用範囲：10～20mm
7. 板版断面修正の適用範囲はw200、t=30mmまでとする

常温型塗膜防水材料表<補修>				1㎡当たり
名 称	材 質	単 位	数 量	備 考
常温型塗膜防水材	主 剤：ゴムアスファルト乳剤 硬化剤：ウレタン樹脂化合物	kg	1.50	0.125%含む
プライマー	シリコン系化合物	kg	0.18	0.120%含む
保護砂材	珪砂 4号	kg	0.77	0.110%含む

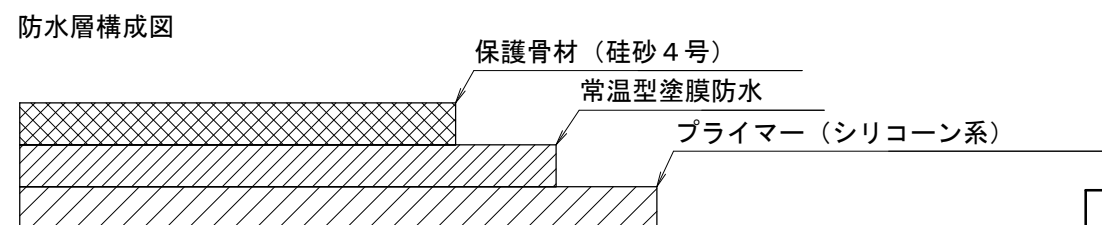
※常温型塗膜防水材は伸縮装置と一体化する同系材料。

### 防水層詳細図



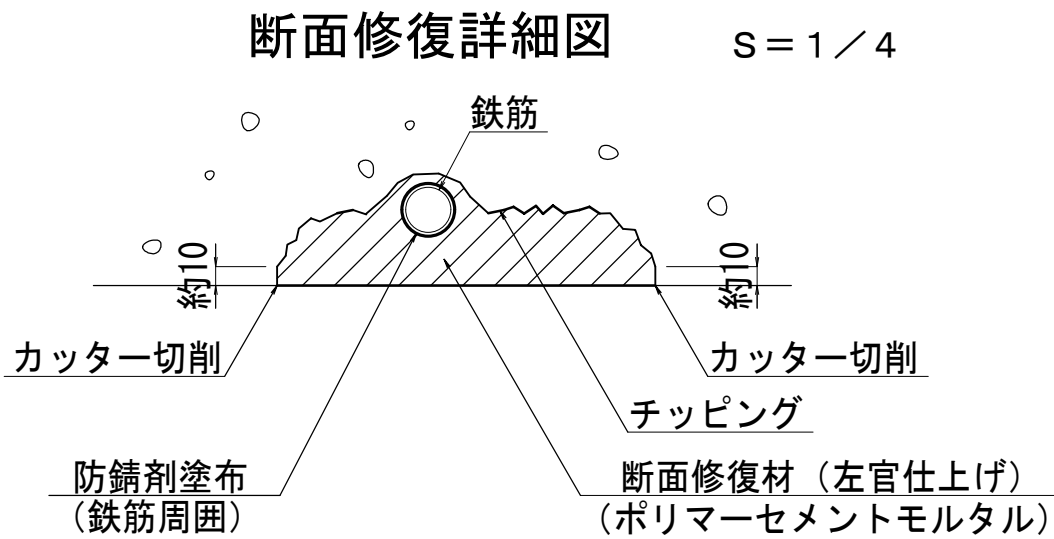
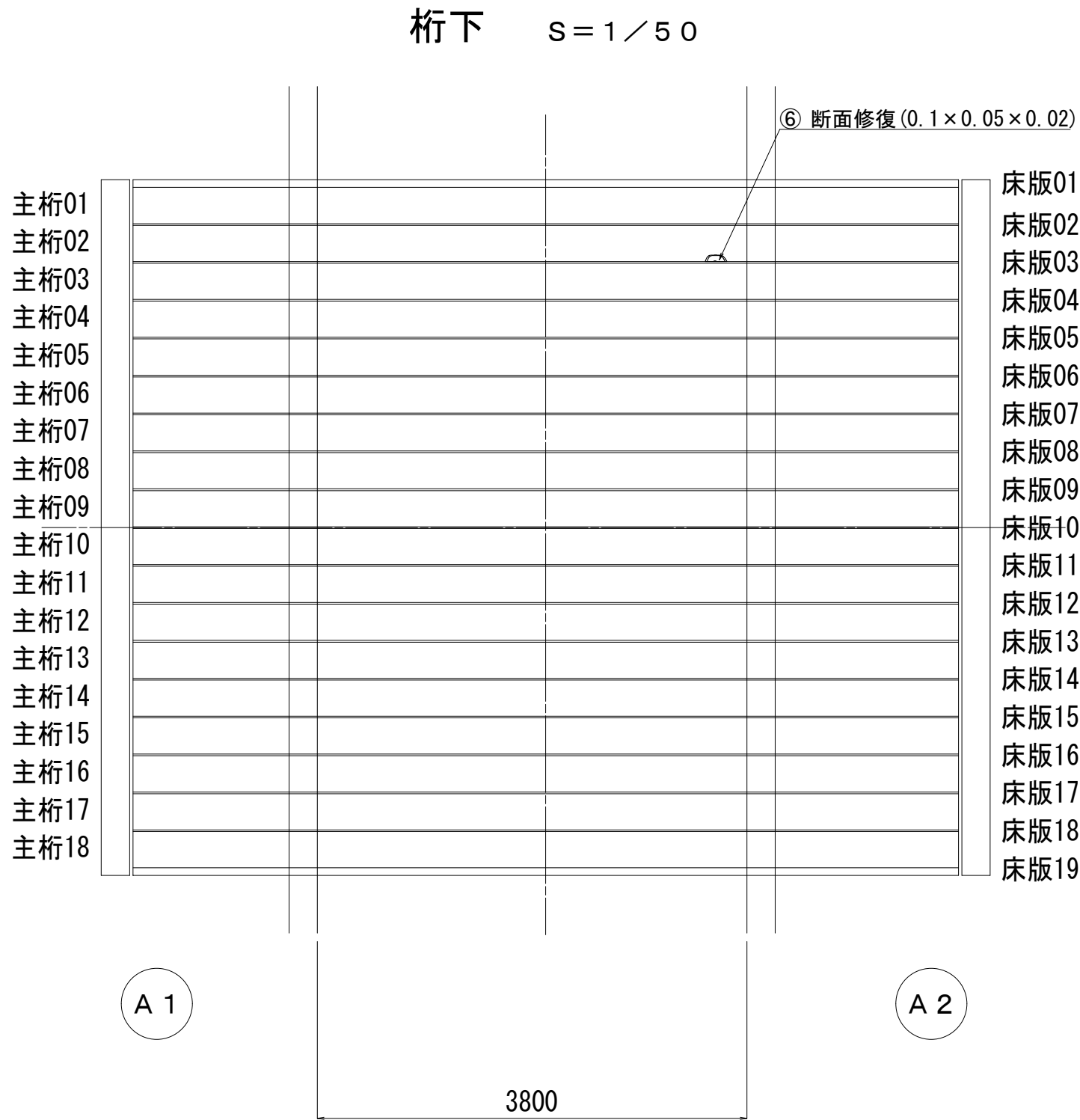
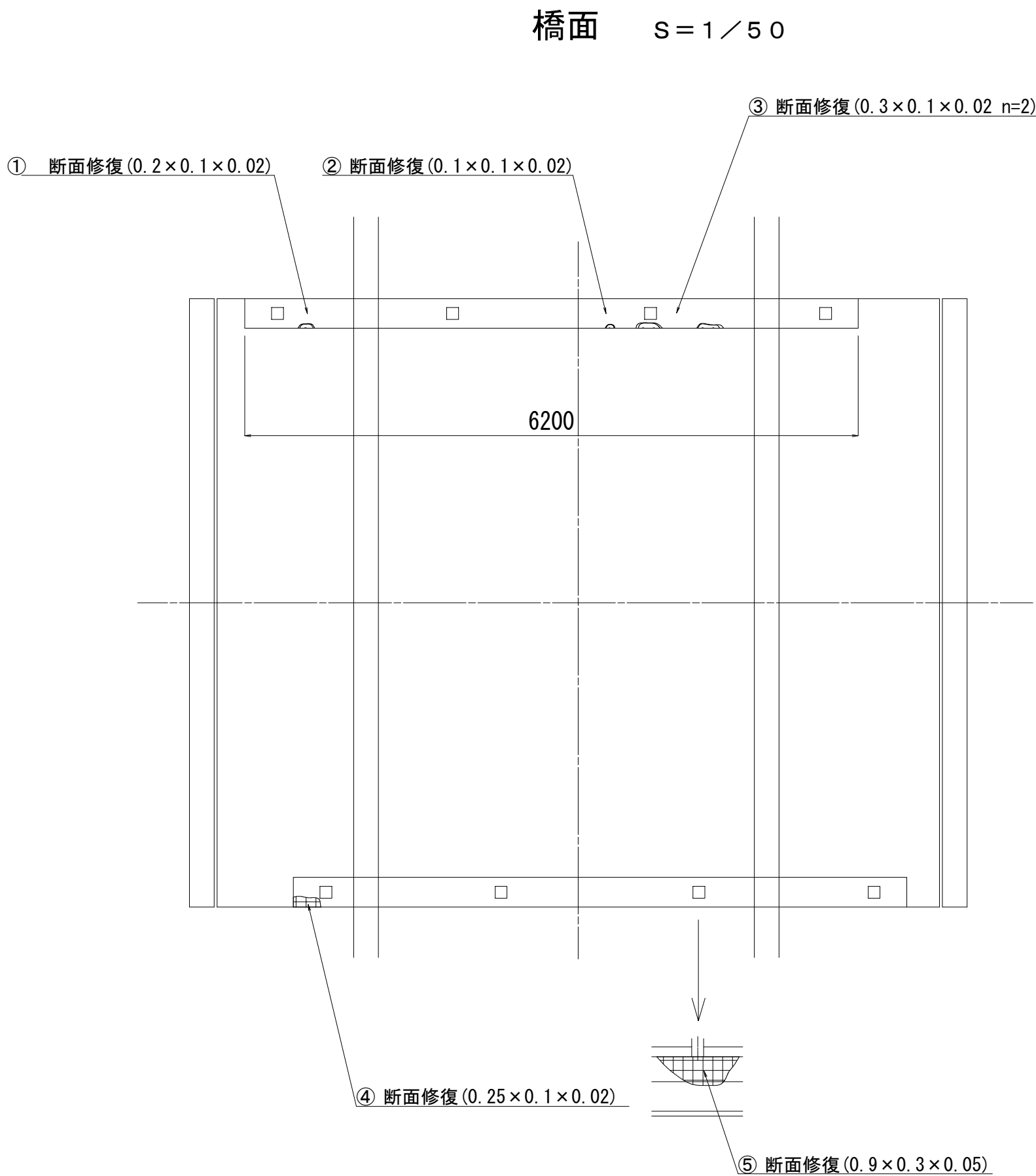
※注記

端部処理については別途排水計画に基づき設計した排水資材を選定し、その配置を定める事



令和元年度 社会資本整備総合交付事業 橋梁補修工事			
番号	18/21	西岡10号橋樑補修その1	縮尺 1/50
町道1号線他			
箕輪町 西開橋他3橋			
所長	課長	照査	設計
箕輪町役場 建設課			
設計会社	(株)エース	管理技術者 照査技術者	赤羽 千男 治郎丸 啓
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	

西天10号橋補修図その2

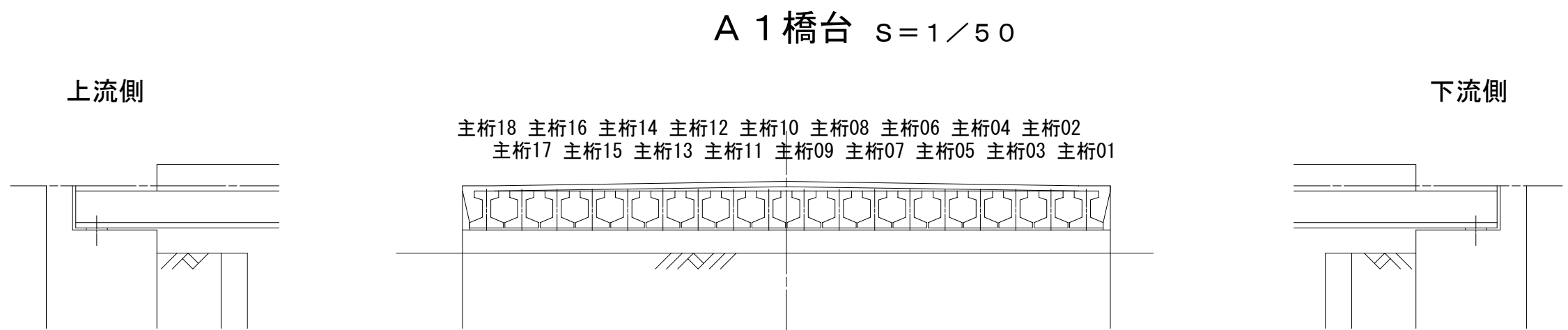


断面修復集計表						
番号	幅 (m)	高さ (m)	箇所数	面積 (m2)	厚さ (m)	体積 (m3)
1	0.20	0.10	1	0.020	0.02	0.0004
2	0.10	0.10	1	0.010	0.02	0.0002
3	0.30	0.10	2	0.060	0.02	0.0012
4	0.25	0.10	1	0.025	0.02	0.0005
5	0.90	0.30	1	0.270	0.05	0.0135
6	0.10	0.05	1	0.005	0.02	0.0001
合計				0.390		0.0159

注記) 1. 施工寸法は、現地実測の上決定のこと。

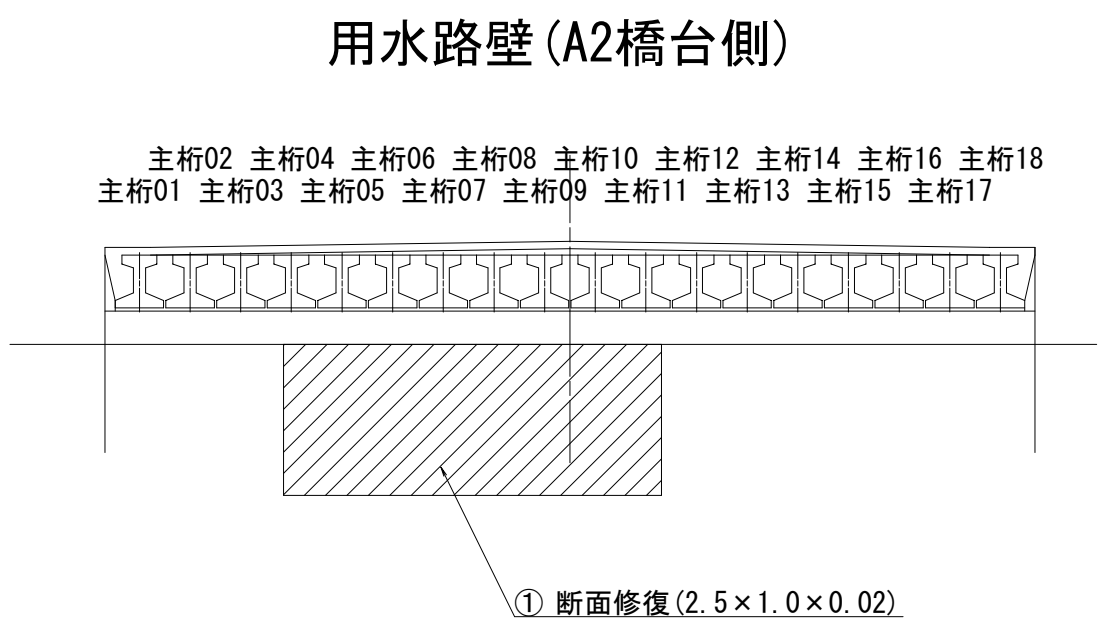
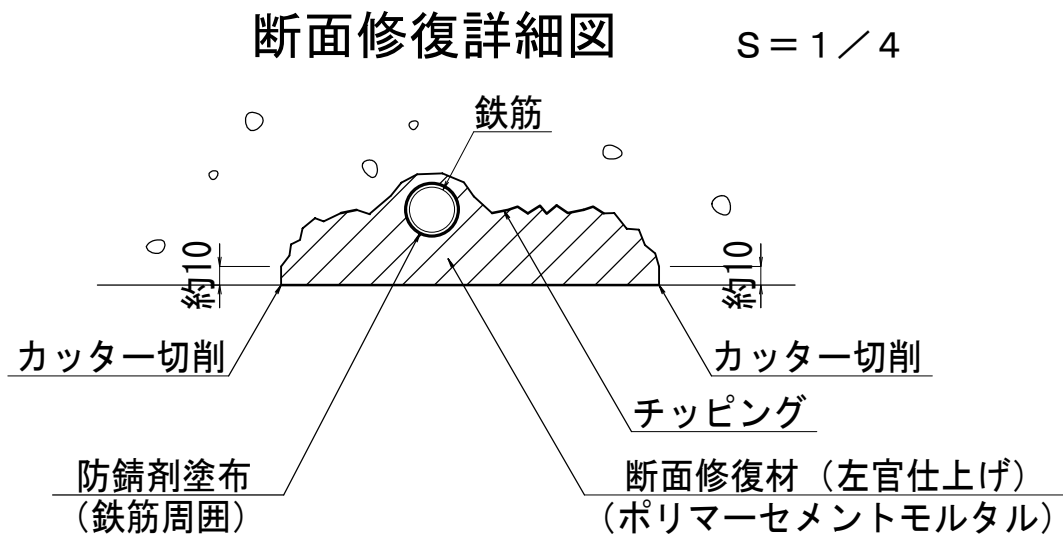
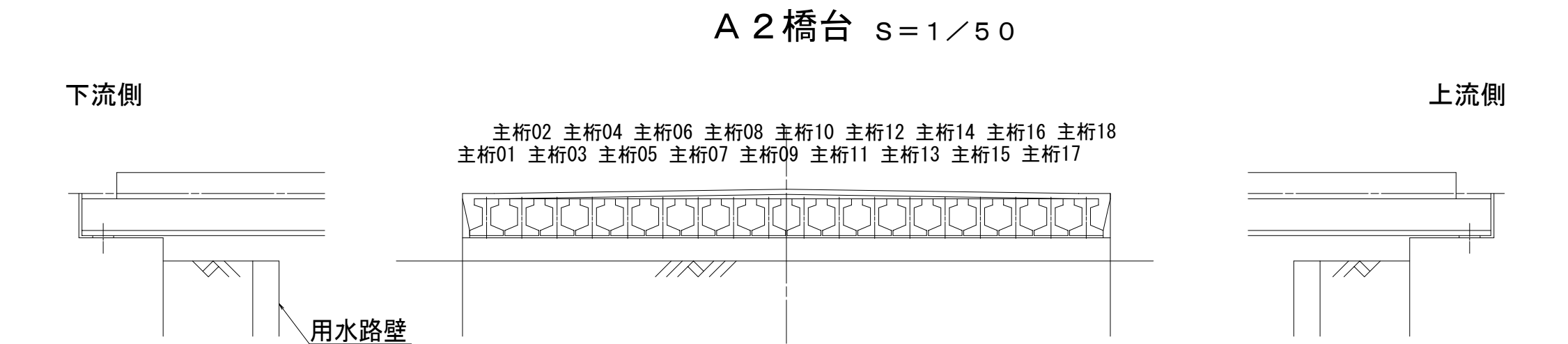
令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事				
番号	19/21	西天10号橋補修図その2	縮尺	図示
町道1号線他				
箕輪町 西開橋他3橋				
所長	課長	照査	設計	
箕輪町役場 建設課				
設計会社	(株)エース	管理技術者	赤羽 千男	
		照査技術者	治郎丸 啓	
測量会社		主任技術者		
調査会社		主任技術者		

西天10号橋補修図その3



断面修復集計表

番号	幅 (m)	高さ (m)	箇所数	面積 (m2)	厚さ (m)	体積 (m3)
1	2.50	1.00	1	2.500	0.02	0.0500
合計				2.500		0.0500

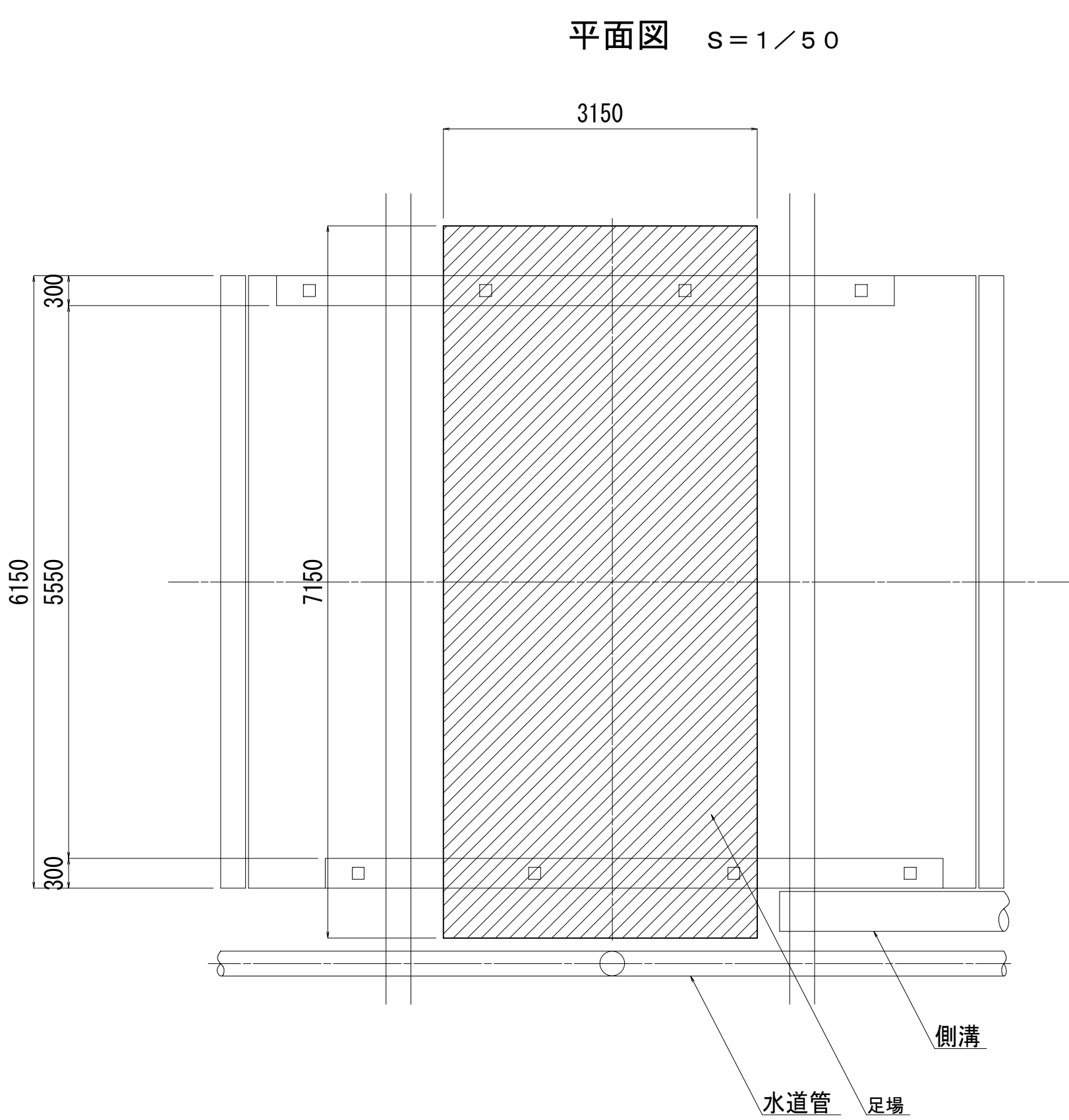
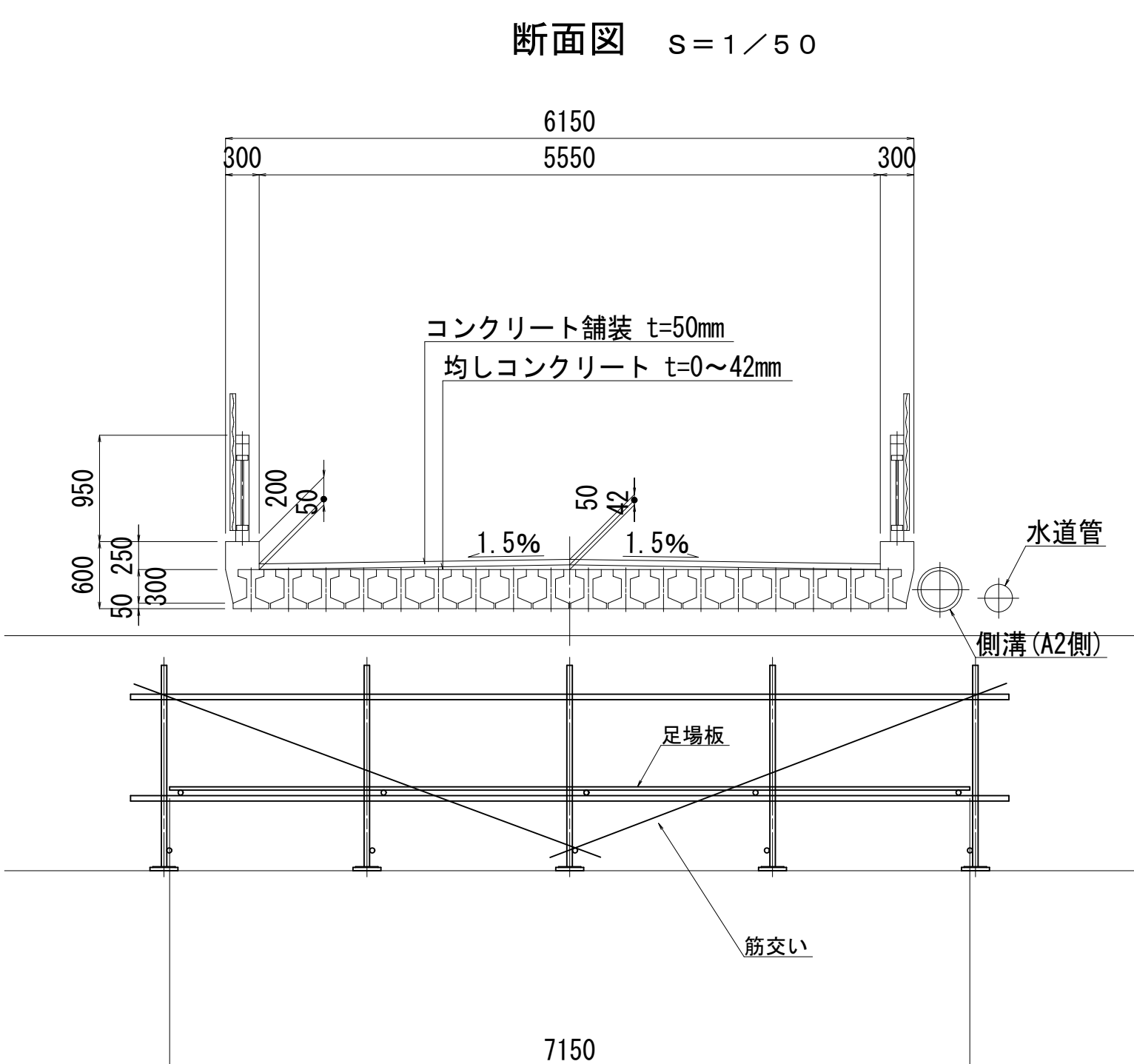
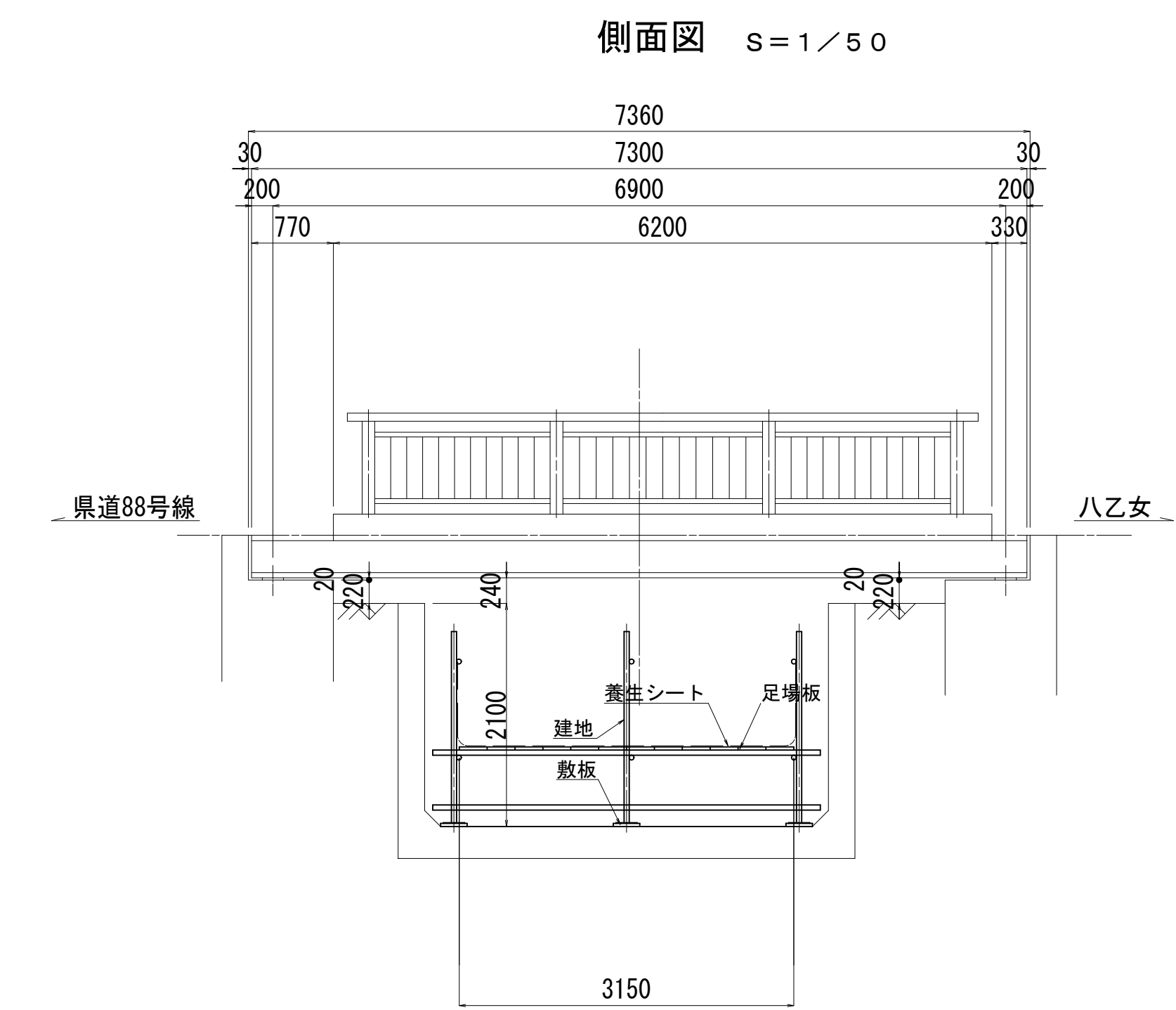


- 注記) 1. 補修対象は0.2mm以上のひびわれとする。  
2. ひびわれ幅0.5mm未満はひびわれ注入工、ひびわれ幅0.5mm以上はひびわれ充填工とする。  
3. 施工に際しては、ひびわれ幅、ひびわれ長さを実測の上、計上のこと。  
4. 施工寸法は、現地実測の上決定のこと。

令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事				
番号	20/21	西天10号橋補修図その3	縮尺	図示
町道1号線他 箕輪町 西開橋他3橋				
所長	課長	照査	設計	
箕輪町役場 建設課				
設計会社	(株)エース	管理技術者	赤羽 千男	
		照査技術者	治郎丸 啓	
測量会社		主任技術者		
調査会社		主任技術者		

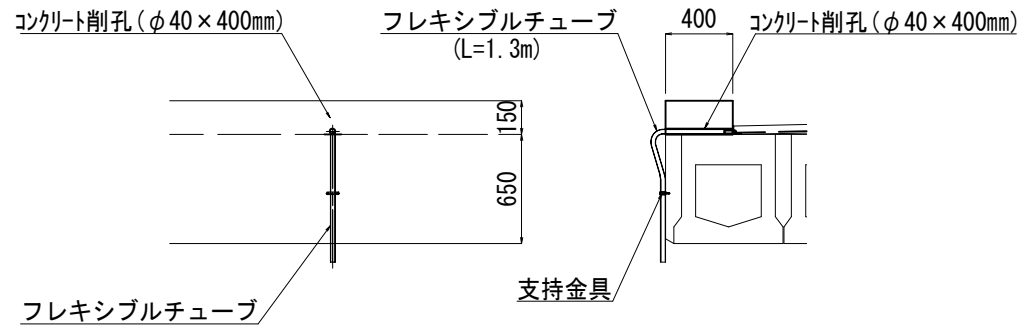


西天10号橋足場図

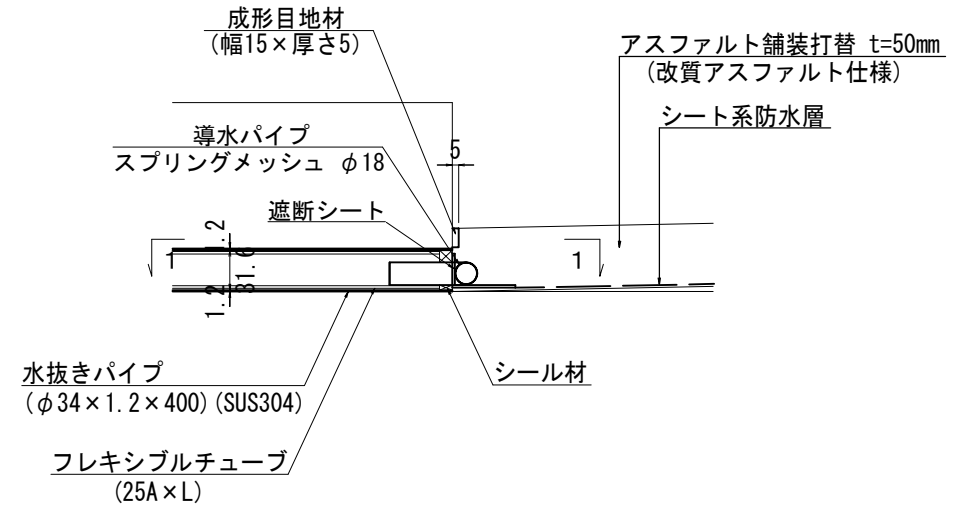


令和2年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁補修工事				
番号	21/21	西天10号橋足場図	縮尺	図示
町道1号線他				
箕輪町 西開橋他3橋				
所長	課長	照査	設計	
箕輪町役場 建設課				
設計会社	(株)エース	管理技術者	赤羽 千男	
		照査技術者	治郎丸 啓	
測量会社		主任技術者		
調査会社		主任技術者		

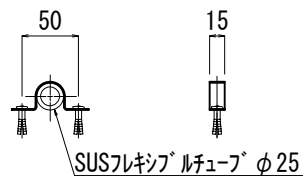
## 水抜き部 S = 1 / 3 0



## 床版防水詳細図 S = 1 / 4



## 支持金具① 詳細図 S = 1 / 5



- 1-固定バンド 25A (SUS304)  
2-アンカー M6×30 (SUS304) (芯棒打ち込み式)

